

二一三九

法學士破川雄嶺曾著

英米契約法

東京書林 東洋館發兌

定價壹圓



英米契約法

上卷目次

第壹編 契約ノ成立

第壹章 單純契約

第壹款 合意ヨリ成ル單純契約

契約ノ種類

合意約束及契約ノ解

合意ヲ表明スルコト

約因ノ大意

無効契約及可得消効契約

喚諾及應諾

(一)

法學士 砂川雄峻 著述

(二)

契約結了前ノ掛合

喚諾ノ消滅

喚諾者期限ヲ定メタル片

喚諾者期限ヲ定メサル片

喚諾ヲ取消シタル片

喚諾者死シタル片

對手喚諾ヲ拒絶シタル片

書狀ヲ以テ應諾ヲナスコト

喚諾ノ讓與

既行約因ニ對スル契約

○ 詐欺其他不法ノ手段ヲ以テ約因ヲ得タル場合

第貳款 契約

原告被告ノ爲メニ金圓ヲ仕拂フタルコトヨリ生スル准契約

被告原告ノ爲メニ金圓ヲ受取リタルコトヨリ生スル准契約

竊盜及詐欺取財ノ場合

強制脅迫ニ遭フテ金圓ヲ仕拂フタル場合

事實ノ錯誤ニヨリ金圓ヲ仕拂フタル場合

事實ヲ知り得ヘキ充分ナル手段アリテ誤ツテ金圓ヲ渡シタル場

合

法律ノ錯誤ニヨリ金圓ヲ渡シタル場合

金圓仕拂ノ約因消失シタル場合

己ニ成立チタル負債ヨリ生スル准契約

決算ヨリ生スルモノ

裁判ヨリ生スルモノ

(三)

(四) 第貳章 捺印契約

捺印證書認方

捺印契約ノ効力ヲ生スル時

直截證書及鋸齒證書

拘束證書

捺印契約ノ約因

捺印契約ノ要償

第參章 記録契約

裁判契約

公證契約

商人特別契約

第四章 成文契約

双方ノ合意ヲ以テ成文トナシタル契約

布告ニヨリテ成文トナシタル契約

數個ノ證書ニ認メタル契約

一部ノミ證書ニ認メタル契約

成文契約ハ證書外ノ證據ヲ以テ變更増減スヘカラサル事
證書外ノ證據ヲ以テ變更増減シ得ヘキモノ

約因

契約ヲ結ヒタルコト

結約ノ時日

契約證書トナスノ意ナクシテ文書ヲ認メタルコト

詐欺錯誤若シクハ脅迫ニ因ツテ契約ヲ結ヒタルコト

(五)

前起條件

(六)

習慣

附屬ノ事實

證書ノ文言及標號

契約人及目的物ニ相違ナキコト

内裏曖昧及外表曖昧

法律ニ違背シタルコト

契約證書ノ解釋

第五章 詐欺條列

第壹款 契約ノ種類

管財人ノ約束

他人ノ過失負債若シクハ不行跡ノ責ニ任スル約束

婚姻ヲ約困トスル合意

地所ニ關スル契約

一年内ニ履行スヘカラスル合意

代金十磅以上ノ物品ノ賣買契約

第貳款 詐欺條例ニ定メタル要件

覺書及手扣

署名

承領

請取

物品買主ノ手ニ在ル場合

物品第三者ノ手ニ在ル場合

物品賣主ノ手ニ在ル場合

(七)

確證物及内拂

(八) 第六章 契約ノ効力ヲ毀傷スルモノ

第壹款 錯誤

第壹項 總說

錯誤ト詐欺脅迫等トノ關係

錯誤ノ効果

原則ノ例外

事實ノ錯誤及法律ノ錯誤

第貳項 合意ヲ妨グル錯誤

本項ニ於テ論スヘキ錯誤

取引ノ性質ニ關スル本源ノ錯誤

對手ニ關スル本源ノ錯誤

目的物ニ關スル本源ノ錯誤

確定目的物ニ關スル錯誤

目的物ノ種類品位及分量ニ關スル錯誤

第參項 文章ノ錯誤

習慣法並ニ衡平法ニ通用スヘキ解釋ノ規則ヲ以テ改正スヘキ

錯誤

衡平法ニ特別ナル解釋ノ規則ヲ以テ改正スヘキ錯誤

廣濶ナル文章ノ意義ヲ制限スルコト

契約履行ノ時日

衡平法ニ特別ナル制裁ヲ以テ救済スヘキ錯誤

第貳款 詐欺

事實ノ詐欺

事實ヲ告ケサル詐

(九)

(一)

詐欺者ノ意志

詐欺ノ事實ト契約トノ關係

詐欺契約ノ全部ニ涉ラサル場合

被欺者事實ヲ了知スル場合

代理人ノ詐欺

第三者ノ詐欺

契約ノ取消

契約人當初ノ位地ニ復スル能ハサル場合

契約ヲ取消シテ第三者ノ利益ヲ害スルヲ得サルコト

請合

確定賣品ノ請合

不確定賣品ノ請合

第參款 脅迫及威迫

第三者ノ脅迫

脅迫ノ効果

威迫

第貳編 契約人

第壹章 總論

契約人ノ員數

共帶契約

爲約者共帶ナル場合

受約者共帶ナル場合

連帶契約

(一)

(二一)

解釋ノ規則

共帶契約人及各別契約人相互ノ關係

第貳章 契約人ノ能力

第壹款 政治上ノ不能力

外國人

外國ノ帝王及政府

外國公使

犯罪人

第貳款 幼年者

幼年者契約上ノ責任並ニ契約ノ追認

幼年者私犯上ノ責任

必要品ニ關スル幼年者ノ責任

(三一)

幼年者契約上ノ權利

契約ニ從ヒ幼年者ノ仕拂フタル金圓

第參款 有夫ノ婦

專有財産ニ關スル有夫ノ婦ノ契約

詐欺ニ關スル有夫ノ婦ノ責任

有夫ノ婦ノ契約上ノ權利

有夫ノ婦ノ能力ヲ有スル場合

離婚及分居ノ効果

夫妻間ノ契約

夫ノ代理人トナリテ契約ヲ取結フコト

第四款 瘋癲人及泥醉人

第五款 會社

(四一)

會社ノ能力

捺印證書ヲ以テ結約スルコト

例外

會社ニ代リテ結約スヘキ者

代理權ノ追認

第參章 代理人

第壹款 代理ノ性質

第貳款 代理ヲ委任スルコト及代理人ノ種類

第壹項 本人及代理人トナルヘキ者

代理人トナルヘキ者

本人トナルヘキ者

第貳項 代理ノ事件

商業上ノ代理人

總理代人部理代人ノ別

第四項 代理ヲ委任スル方法

豫メ委任スルコト

捺印證書ヲ以テ委任スルコト

無印證書又ハ口頭ヲ以テ委任スルコト

默任スルコト

追認

追認スヘキ事柄

追認ノ方法

第參款 本人及代理人ト第三者トノ關係

第壹項 總論

(五一)

本人ヨリ代理人へ附與シタル代理權

本人ト第三者トノ間ニ於テ附與シタリト見做スヘキ代理權

第貳項 代理人ノ結ヒシ契約ニ關スル本人並ニ代理人ノ權利義務

代理人代理權ヲ有スル場合

對手代理人タルコトヲ知ル場合

本人ノ氏名ヲ告ケタル場合

本人ノ氏名ヲ告ケサル場合

對手代理人タルコトヲ知ラサル場合

自ラ代理人ナリト稱スト雖實際代理權ヲ有セサル場合

本人ノ氏名ヲ告ケタル場合

本人ナリト指名シタル人本人トナリ得ヘキ場合

第參項 代理人ノ種類

本人ナリト指名シタル人本人タルヘカヲサル場合

本人ノ氏名ヲ告ケサル場合

印度契約條例

第四款 代理人ノ解任

第壹項 本人若シクハ代理人ノ意ヲ以テ解任スルコト

本人ノ意ヲ以テ解任スルコト

代理人ノ意ヲ以テ解任スルコト

第貳項 法律上ノ解任

英米契約法

法學士 砂川雄峻 著

第一編 契約ノ成立

第一章 單純契約

第一款 合意ヨリ成ル單純契約

○契約ノ種類

英米法律ニ於テハ契約ヲ區別シテ三種トス

一 單純契約

二 捺印契約

三 記録契約

捺印契約トハ爲約者^{プロミッサー}契約證書ニ捺印シテ結ヒタル契約ヲ云フ
記録契約トハ^{コントラクト、チフ、レコード、}記録裁判所ノ記録ニ因リ生スル契約ヲ云フ

合意ヨリ成ル單純契約

(一)

(二)

シテナルコトヲ云フ
單純契約トハ右二種ノ契約ニアラサル契約ヲ云フ之ヲ分ツテ二種トス

一 合意ヨリ成ル單純契約

二 准契約

合意ヨリ成ル契約トハ契約人雙方ノ合意一致ヲ以テ結ヒタル契約ヲ云フ

准契約トハ其實契約ニアラスト雖モ法律上契約ト見做シ契約ト同様ナル取扱ヲナスモノヲ云フ例ハ他人ノ物品ヲ奪取シタル者ハ之ヲ所有主ヘ返還スルノ契約ヲナシタルコト無ク却テ之ヲ返還セサル決心アリト雖モ法律ハ返還ノ契約ヲナシタルモノト見做スカ如シ此契約ヲ稱シテ准契約ト云フ本章第二欸ニ詳ナリ

合意ヨリ成ル單純契約ヲ分ツテ二種トス即左ノ如シ

一 明諾契約

二 黙諾契約

明諾契約トハ明ニ文書若シクハ言語ヲ以テ契約人互ニ合意ヲ表明シテ結ヒタル契約ヲ云フ例ハ甲者書狀ヲ以テ乙者ヘ已所有ノ南部産栗毛馬壹頭ヲ金三百圓ニテ賣渡シ度旨ヲ申入レシニ乙者亦書狀ヲ以テ申込ノ代價ニテ右馬ヲ買求ムベシト回答シテ成立タルカ如シ又右ノ取引ヲ書狀ニテセス口頭ヲ以テ爲シタルモ同シ

約契純單ル成リヨ意合

(三)

黙諾契約トハ双方合意スト雖モ文書若シクハ言語ヲ以テ之ヲ表明セス唯タ行爲ヲ以テ之ヲ爲シタルモノヲ云フ其明諾契約ト異ナルトコロハ合意ヲ陽ニ表明セサルニアリ例ハ米屋ヘ上白三斗持來ルヘシト申付タルモ其代金ヲ拂フコトヲ文書又ハ言語ヲ以テ告ケスト雖モ之ヲ拂フノ意アリ此代金仕拂ノ契約ヲ稱シテ黙諾契約ト云フ

明諾契約、黙諾契約及ヒ准契約ノ區別ヲ明ニスルコト甚タ緊要ナリト

(四)

約契純單ル成リヨ意合

ス黙諾契約ト明諾契約トハ真正ノ合意一致アルコトニ付テ相似タリト雖モ其合意一致ヲ文書又ハ言語ヲ以テ表明スルトモセザルトニ於テ異ナリ又准契約ト黙諾契約トハ合意一致ノ有無ニ於テ差異アリト雖モ合意一致ヲ文書言語ヲ以テ表明セザル點ニ於テハ同一ナリトス

○合意約束及ヒ契約ノ解

合意トハ數人ノ内一人若シクハ一人以上餘人ノ爲メ或ル事ヲ爲シ若シクハ爲サ、ルコトニ該數人ノ承諾スルコトヲ云フ

約束トハ他人ノ請求ニ應シ若シクハ他人ノ利益ノ爲メニ事ヲ爲シ或ハ爲サ、ルコトノ意志ヲ表明スルヲ云フ約束ヲナシタルモノヲ爲約者ト稱シ約束ヲ受ケタル者ヲ受約者ト稱ス

法律上踐行セシムルヲ得ヘキ同意及ヒ約束ヲ稱シテ契約ト云フ

通常俗間ニ所謂合意ト法律ニ所謂合意トハ少シク異ナルトコロアリ

(五)

約契純單ル成リヨ意合

法律ニ所謂合意ハ左ノ數件ヲ具備スルモノヲ云フ

一合意人承諾

二同一ノ事物ニ付キ同時ニ承諾スル事

三道德上ノ權利義務ニアラスシテ法律上ノ權利義務ニ關シ合意スル事

四合意人法律上ノ權利義務ヲ生スルノ意志アル事

五合意人ノ權利義務ニ關スル事

右ノ要件ヲ例解スルコト左ノ如シ

甲者乙者ハ馬一頭ヲ賣却センコトヲ申入レ明日中ニ回答スヘシト云ヒ置ケリ然ルニ乙者二日ヲ經テ回答セリ此場合ニハ甲者ノ承諾ハ乙者ハ申入レシ日ト其翌日ニアリ而シテ乙者ノ承諾ハ又タ其翌日ニアリ故ニ右ニ掲ケシ第二ノ要件ヲ欠クモノトス

合意ヨリ成ル純契約

(六)

明日共ニ向島ニ遊歩スベシト合意シ或ハ三四歳ノ子供ニ向テ明日菓子ヲ與フベシト告ケ双方合意スルモ法律上其約束ニ束縛セラル、ノ意ナク又束縛スルノ意ナキカ故ニ第四ノ要件ヲ欠クモノトス
重罪裁判ニ於テ裁判長並ニ陪席判事共ニ被告人ハ有罪ナリト合意スルモ其合意シタル權理義務ハ合意人即チ判官ノ權理義務ニ關セスシテ被告人ノ權利義務ニ關スルカ故ニ第五ノ要件ヲ欠クモノトス

○合意ヲ表明スル事

合意ヲ表明スルニ二法アリ第一ハ喚諾應諾相合シテ合意スルモノナリ喚諾トハ契約人ノ中一方ヨリ契約ヲ結ハントトテ發言シ又ハ申出ツルヲ云ヒ應諾トハ其發言若シクハ申出テ承諾スルヲ云フ以下喚諾應諾ノ項ニ詳ナリ從來米英兩國ニ於テモ合意ヲナスニハ此第一法ノ外ニ方法ナシトセシガ昨年英國ニ於テ有名ナル法律家狀師フレデリッ

合意ヨリ成ル純契約

(七)

ク、ボロツク氏更ニ一法ヲ發見セリ之ヲ第二法トス即チ喚諾應諾ナクシテ二人若シクハ數人一時ニ合意スル法方ナリ例ヘハ甲者乙者兩人ノ間ニ地所ノ賣買ヲナサントスルニ際シ互ニ自己ノ利益ヲ謀リテ相談調ハス依テ兩人協議ノ上丙者ニ依頼シテ契約ノ事項ヲ定メ契約證書ヲ認メシメ若シ甲乙兩人ノ意ニ協フトキハ之ヲ採用スヘシト約シ而シテ丙者證書ヲ認メタルニ甲乙兩人直ニ承諾シテ署名セリ此場合ニ於テハ孰ヨリ喚諾ヲナセシトモ言ヒ難シ前キニ甲者或ハ乙者ヨリ丙者ヲシテ證書ヲ認メシムヘシト發言即チ喚諾セシコトアルニモセヨソハ丙者ヲシテ證書ヲ認メシムル合意ノ喚諾ニシテ地所賣買ノ合意ノ喚諾ニアラス

○約因

約因トハ羅馬法ニ所謂コーザ佛法ニ所謂コーラス(原)ト大同小異ナルモ

(八)

約契純單ル成リヨ意合

ノナリ後段ニ於テ詳説スヘシト雖モ茲ニ之ヲ概言セハ約因トハ契約ノ代價印ヲ報酬ヲ云フ約因ニ四種アリ爲ス事爲サ、ル事爲スコトノ約束及ヒ爲サ、ルコトノ約束是ナリ故ニ契約ヲ受クルニ當リ其契約ニ酬ユルカ爲メニ契約ヲ受ケシ者即受約者ハ右ニ掲ケシ四種ノ約因ノ中一ヲ爲スコトヲ要ス且約因ハ契約人ノ利益トナルカ然ラサレハ被契約人ノ損害トナルコトヲ要ス

○無効契約及ヒ可得消効契約

俗人ハ勿論法律學者ト雖モ往々無効契約ト可得消効ノ契約トヲ混同スルコトアリ無効契約トハ最初ヨリ何人ニ對シテモ効力ナキモノニシテ可得消効契約トハ一方ノ者其効力ヲ消滅スルコトヲ得ル契約ナリ法律ニ違背シタル契約即チ共ニ竊盜ヲ爲スヘシト誓ヒシ契約ノ如キハ無効ニシテ法律ノ眼ヲ以テ見ルルハ契約ナキト同様ナリ又幼年

約契純單ル成リヨ意合

(九)

者ノ契約ハ幼年者丁年ニ達シタル片其効力ヲ確認シ或ハ消滅スルコトヲ得ベシ故ニ之ヲ可得消効契約ト稱ス天ニ昇ル契約及有夫ノ婦ノ契約ハ無効ニシテ詐欺若シクハ脅迫ノ爲メニ結ヒタル契約ハ可得消効ナリ此ノ如ク簡單ニ説明チナストキハ甚タ明瞭ニシテ此二種ノ契約ヲ混同スヘクモ思ハレサレトモ事實法理ノ錯雜ナル場合ニ於テハ學士判官ト雖モ誤見少ナカラス往々惑フコトアリ讀者此區別ヲ記念シテ適用ヲ誤ラサル様注意スルコト最モ緊要ナリ

○喚諾及ヒ應諾

契約チナスニハ其初メ多クハ一方ヨリ對手ヘ發言即チ申込ヲ爲ス此發言即チ申込ヲ稱シテ喚諾ト云フ例ヘハ我所有ノ馬ヲ賣却スベシ汝ノ所有ノ馬ヲ買取ルヘシ等ノ發言ノ如シ此發言即チ喚諾ハ口頭ヲ以テスルモ書狀ヲ以テスルモ電報ヲ以テスルモ或ハ新聞廣告ヲ以テス

(〇一)

約契純單ル成リヨ意合

ルモ可ナリ
 喚諾シタル事柄ニ合意ノ意志ヲ顯ハスヲ應諾ト云フ我馬ヲ金五百圓
 ニテ賣却スヘシト喚諾シタル并金五百圓ニテ汝ノ馬ヲ買取ルヘシト
 云フハ應諾ナリ喚諾應諾相合スレハ則チ契約ヲナス米屋ニ米一石ヲ
 注文スルハ喚諾ニシテ米屋ヨリ其注文ニ應シ米一石ヲ持チ來ルハ應
 諾ト契約ノ履行ト兼子タルナリ新聞紙ヲ以テ某月某日我ヲ暗殺セ
 ント謀リタル罪人ヲ發覺告發スル者ニハ謝禮トシテ金百圓ヲ贈與ス
 ヘシト廣告スルハ喚諾ニシテ其罪人ヲ發見シ告發スルハ應諾ト契約
 ノ履行ヲ兼子タルナリ

喚諾應諾相待テ契約ヲ生スルモノナレハ末タ應諾セサル喚諾ハ契約
 タルヲ得ズ今甲者アリ乙者ヨリ金圓ヲ借受ケントスルニ際シ丙者乙
 者ヘ書狀ヲ送り甲者ノ保證人トナランコトヲ申込ミシニ因リ乙者ハ

(一一)

約契純單ル成リヨ意合

之ヲ頼ンテ直チニ甲者ヘ金圓ヲ貸與シ而シ丙者ヘハ何ノ沙汰ヲモナ
 サス捨テ置キタリ此場合ニ於テハ甲者負債ヲ償却スル能ハスト雖
 乙者ハ丙者ヘ係リ辨償ヲ出訴スルヲ得ズ何ントナレハ丙者ノ爲セシ
 保證ノ喚諾ハ乙者應諾セサレハナリ又人アリ他人ノ所有セル馬ヲ買
 求メント欲シ所有者ヘ其意ヲ申込ミ若シ某日マテニ返答ナクハ承諾
 セラレタルモノト見做スベシト通知セリ然ルニ所有者ハ其期日ニ至
 リ回答ヲナササルニヨリ買主ハ賣買ノ契約成立チタルモノト思惟シ
 引渡ヲ所有者ニ請求セシト雖モ所有者ハ之ヲ肯ンセス依テ出訴セシ
 トコロ喚諾者ハ人ヲシテ應諾セサルコトヲ通知セシムルノ權利ナキ
 カ故ニタトヒ所有者ヨリ何ノ回答ナキモ應諾ナセシモノト見做ス
 ヲ得ス故ニ是ノ場合ニ於テハ原告ノ申分不相立ト判決セラルヘシ
 喚諾ノ事項ト應諾ノ事項トハ全ク同一ナラサルヘカラス若シ僅少ク

(二一)

リトモ差異アルトキハ契約成立スル能ハサルモノトス人アリ東京
橋西紺屋町十四番地ノ家屋ヲ借り入レタキ旨ヲ其地主ニ懸合ヒシニ
該家ハ都合アリテ今俄ニ貸與スル能ハス然レモ其隣家十五番地ナレ
ハ貴需ニ應スヘシト回答スルトキハ喚諾ノ事項應諾ノ事項ト異ナル
カ故ニ其契約ハ成立セス
某鐵道會社ノ株券ヲ買ハント欲シテ會社ヘ其意ヲ申込ミ代金ハ何時
ニテモ拂フヘシ又株券ハ何時ニテモ受取りニ參ルヘシト通セシトコ
ロ會社ヨリハ來ル何日代金ヲ持參スヘシ株券ヲ賣渡スヘシト回答セ
リ又右同様ノ申込ニ對シ會社ヨリ株券ヲ賣渡スコトヲ回答シ且ツ若
シ買主會社ノ規則ニ署名セサルトキハ此賣買ハ無効タルヘシト申送
リタリ右二箇ノ場合ニ於テ孰レモ喚諾應諾同一ナラサルカ故ニ契約
ハ成ラサルナリ

約契純單ル成リヨ意合

米千俵ヲ注文セシニ九百九十俵ヲ送ルベシト回答シ來ル時モ亦同シ
ク其契約ハ成立セサルモノトス

○契約結了前ノ掛合

契約未タ結了セサル時發言セシ事柄ニシテ契約ノ事項ニ加ハラサル
モノハ其契約ニ付キ効力ナキモノトス被告ハ原告ヘ對シ余ガ明日糶
賣セント欲スル馬ハ健全無病ナル俾馬ナリト語リケレハ原告ハ之ヲ
信シテ翌日糶賣處ニ於テ該馬ヲ買求メシトコロ豈ニ計ランヤ健全無
病トハ虚言ニシテ實ハ殆ント用ユヘカラサル病馬ナリシカハ原告ハ
被告ヘ對シ損害要償ノ詞訟ヲ起セリ又被告ハ或ル物品ヲ原告ヘ賣渡
スニ當リ見本ヲ示シテ賣品ハ悉ク此ノ如クナリト言ヘリ而シテ其後契
約證書ヲ作りテ賣買品ノ品格性質等ヲ委細ニ認メ嘗ツテ見本ヲ示シ
タルコトヲ掲ケス而シテ其實買品ハ大ニ見本ト異ナルトコロアリ右

約契純單ル成リヨ意合

(三一)

(四一)

第一馬ノ詞訟ニ於テ續賣ノ前日語リシコト及ヒ第二ノ詞訟ニ於テ見
本ト物品ト同一ナリト述ヘシコトハ契約ノ結了前ノ懸合ニシテ契約
ノ事項ニ加ハラサルモノナレハ之ヨリ受合ノ契約生シタリト云フテ
得ズト判決セラレタリ

○喚諾ノ消滅

喚諾ハ左ノ場合ニ於テ消滅スルモノトス

一喚諾豫定ノ期日ヲ經過シタル時

二喚諾者期日ヲ定メサル場合ニ於テ相當時日ヲ經過シタル時

三喚諾者自ラ喚諾ヲ取消シタル時

四喚諾者死シタル時

五喚諾ヲ受ケタル者喚諾ヲ拒絶シタル時

(一) 喚諾者ハ應諾スヘキ期限ヲ定ムルノ權アリ故ニ豫メ期限ヲ定メ

約契純單ル成リヨ意合

(五一)

約契純單ル成リヨ意合

タルトキ其期限ヲ過クレハ喚諾消滅シ其後應諾スル者アリトモ契約
成立スルコトナシ此馬ヲ金五百圓ニテ賣渡スヘシ併シ返答ハ明日中
ニナスヘシト云ヘル片翌日ヲ經過スレハ喚諾消滅ス又書狀ヲ以テ生
糸若干ヲ賣却シタキ旨ヲ桑港ノ商人ヘ通シ必ラス此郵便船歸帆ノ節
ニ否ヤノ返書ヲ差送ルベシト言ヘル片ハ該郵船桑港解纜ノ時ヲ過ク
レハ賣却ノ喚諾消滅スルモノトス

(二) 喚諾者自ラ期日ヲ定メスシテ應諾ヲナスヘキ期日ニ定リナキ片
百年若シクハ千年ノ後ニ至リテ應諾スルヲ得ヘシト云フテ得ス故ニ
期日定マラサルトキハ相當ナル時日間ニ應諾スヘキモノトス而シテ
幾何日ヲ以テ相當ナル時日トスヘキヤハ事實ノ問題ニシテ陪審官喚
諾ノ性質當時ノ事狀等ヲ考ヘテ判定スヘキモノトス人或ハ幾何日ヲ
以テ相當ナル時日トナスヘキヤノ定則ナキカ故ニ英米法律ニハ喚諾

約契純單ル成リヨ意合

(六一)

豫定ノ期限ナキ片ハ應諾スヘキ期限ニ付キ一定ノ規則ナシト思惟スルコトアレハ是レ事實ト法律トヲ混同シタルヨリ生シタル誤謬ナリ法律ニハ相當ナル時日間ニ應諾スヘシトノ一定ノ規則アリ唯タ之ヲ實際ニ適用スルニ當リ幾何日カ相當ナリヤノ事實ノ問題ヲ決スルニ於テ一定ノ規則ナキノミ故ニ某會社ハ六月八日ニ株券ヲ買求メタシト申込ミタルトコロ十一月二十三日ニ至リ賣渡ノ應諾ヲナセシ者アリ又新聞紙ヲ以テ去ル某月某日我父ヲ暗殺セント謀リタル犯人ヲ告發スル者ハハ謝禮トシテ金百圓ヲ贈ルヘシト廣告シタルトコロ三十年ヲ經過シタル後告發ヲナセシ者アリ右二箇ノ場合ニ於テハ孰レモ相當ナル時日ヲ經過シタリトノ判決ヲ受ケタリ

(三) 喚諾者ハ應諾ヲ得ル前何時タリト相手ヘ其旨ヲ通知シテ喚諾ヲ取消スコトヲ得ベシ是レ應諾ノアルマテハ契約未タ成立セサレハ義

約契純單ル成リヨ意合

(七一)

務ヲ負フ事無キカ故ナリ故ニタトヒ喚諾者來ル某日某時マテ回答ヲ待ツヘシト約スルモ其約束ニ約因ノアルニアラサレハ其時日前ニ喚諾ヲ取消スコトヲ得ヘシクツク對テクスレイノ詞訟ニ於テ被告物品ヲ原告ヘ賣渡サンコトノ喚諾ヲナシ午後第四時マテ猶豫スヘケレハ夫迄ニ返答スヘシト約シ而シテ其前ニ他人ヘ該物品ヲ賣渡セシカハ原告ハ違約ノ廉ヲ以テ之ヲ出訴セシトコロ原告ノ申分立チ雖シト判決セラレタリ羅馬法ニ基ツク諸國ノ法律ニ於テハ英米ノ法律ト反シテ應諾ニ猶豫ノ時日ヲ與フルトキハ喚諾者ハ其時日ノ滿ツルマテ喚諾ヲ取消スコトヲ得ス

喚諾ヲ取消スヲ得ルト同一ノ理由ニヨリ應諾前ニハ喚諾ヲ變更スルコトヲ得ヘシ

喚諾ヲ取消スニハ必ラス其事ヲ對方ヘ通知セサルヘカラス而シテ其通

知ハ喚諾者ヨリナスモ其他ノ人ヨリナスモ實際喚諾ヲ受ケタル人ノ知ルヲ得ハ足レリトス此規則ハ從來定リタル如ク諸書ニ見ユレモ適切ナル判決ヲ以テ確定サレシハ僅カニ三年前即チ一千八百八十年ニ在リ左ニ該詞訟ノ大畧ヲ記スヘシ一千八百七十九年十月一日在カルシツフ被告バンチアンホーヘンヨリ在紐育原告バーン氏ノ許へ若干圓ノ代金ヲ以テ錫皿一千箱ヲ賣却シタキ旨書狀ヲ以テ申送りタリ此書狀十一日ニ到着シ原告ハ即日電報ヲ以テ應諾シ尙ホ十五日附ノ書狀ヲ以テ應諾ノ委細ヲ通知セリ而ルニ被告ハ八日ニ喚諾取消ノ書狀ヲ投函シ其書狀二十日ニ原告方ヘ到達セリ判事リントレイ氏訴訟ノ要點ヲ舉ケテ曰ク第一喚諾取消ハ喚諾ヲ受ケシ人ヘ通知ノ達セサル前ニ効力アリヤ第二喚諾取消ノ書狀ヲ郵便函ヘ投セシ事ヲ以テ先方ヘ通知シタルモノトナスヲ得ヘキヤノ問題ヲ決スルヲ以テ裁判ノ要

點トスト而ノ第一問題ニ付キテハ他人ニ通告セサル胸中ノ意志ハ法律上意志ノ効アルヘカラストノ理ニ基キテ否決シ第二問題ニ付キテモ同シク否決セリ

(四) 喚諾者死スルキハ同時ニ喚諾消滅スルモノトス甲者アリ外國ニ漫遊セントシテ先ツ出入ノ商人ニ留守中日用ノ物品ヲ家族ノ者ヘ供給スヘシト命シテ出立シ漫遊中外國ニ於テ死スレバ彼ノ商人ハ甲者ノ管財人ヘ對シ留守中供給セシ物品ノ代價ヲ請求セシカハ死後ニ供給セシ物品ノ代價ハ拂フニ及ハスト判決セラレタリ

喚諾者ノ死スル事ハ喚諾ヲ受ケタル人ニ通セスト雖モ喚諾消滅スルモノトス

(五) 喚諾ハ喚諾ヲ受タル者ノ拒絕ニヨリテ消滅ス故ニ一旦拒絕シタルトキハ其後應諾ヲナスト雖モ之ヲ新シキ喚諾ト見做シ先喚諾者ノ

(〇二)

應諾アルヲ要ス應諾者應諾ヲナサスシテ更ニ喚諾ヲナストキハ先方ヨリノ喚諾ヲ拒絶シタルモノトス甲者アリ物品ノ價直ヲ商人乙者ニ問フ乙者金百圓ナリト答フ是レ百圓ニテ賣ルヘシトノ喚諾ナリ甲者九十圓ニスヘシト言フトキハ九十圓ニテ該物品ヲ買フベシトノ新喚諾ナリ此喚諾ヲナセハ先キノ百圓ニテ賣ルヘシトノ喚諾ヲ拒絶シ消滅セシメタルモノトス乙者九十五圓ナラハ賣ルヘシト答フルハ是レ亦新シキ喚諾ニシテ甲者ヨリナシタル九十圓ニテ買フヘシトノ喚諾ヲ拒絶シタルモノトス

○書狀ヲ以テ應諾ヲナス事

應諾ハ喚諾及ヒ喚諾ノ取消ト等シク先方へ通知スルコトヲ要ス然レハ郵便若シクハ電信ヲ以テ應諾ヲナストキハ書狀ヲ投函シ若シクハ電信局へ依頼セシルヨリ應諾ノ効力ヲ有シタトヒ其書狀電報如何程

約契純單ル成リヨ意合

約契純單ル成リヨ意合

(一ニ)

延引スルモ亦天災或ハ郵便局若シクハ電信局ノ過失ニヨリ全ク先方へ到達セサルモ應諾ノ効力ヲ損傷スルコトナシタンカ_ン對ト_プハムノ詞訟ニ於テ被告ハ郵便ヲ以テ原告所有ノ物品ヲ買取ルヘシト喚諾ヲナセシトコロ原告ハ其書狀ヲ得テ直チニ又書狀ヲ以テ應諾ノ旨ヲ通知セシカトモ其書狀郵便局ニ於テ紛失シ被告へ到着セス然レハ契約ハ應諾ノ書狀ヲ投函セシルニ於テ結了セリト判決セラレタリ蘇古_蘭裁判所へ出訴セシダンモア_ー對アレアンダー_ーノ詞訟ニ於テハ一旦應諾ノ書狀ヲ出シ其後應諾取消ノ書狀ヲ發セシトコロニ書同時ニ喚諾者へ到着セリ此詞訟ハ下等裁判所ニ於テハ契約結了セリト判定セシカトモ上等裁判所ニ於テハ之ヲ平翻シテ契約成立セサルモノト判定セリ

○喚諾ノ讓與

(二二)

喚諾ハ喚諾ヲ受ケシ者ニ限り應諾スルヲ得ベシ之ヲ他人ニ讓與シ其人ヲシテ代テ應諾ヲナサシムルヲ得ス若シ他人應諾ヲナスハ是レ新ニ喚諾ヲナスナレハ先喚諾者ノ應諾アルニアラサレハ契約成立スルコトナシ例ヘハ被告甲者ハ物品ヲ注文セシトコロ甲者ノ商賣株ヲ讓リ受ケタル原告其注文ニ應シ物品ヲ供給シタリ此場合ニハ賣買ノ契約成立セスト判決セラレタリ

○ 既行約因ニ對スル契約

約因ヲ執行シ或ハ授與センコトヲ對手ヘ請求シ對手其請求ニ應シ執行或ハ授與ヲナシ因テ以テ契約ノ起ルコトアリ又約因ヲ執行シ或ハ授與スヘシト喚諾シ對手其約因ヲ請取或ハ其執行ヲ承諾シ因テ以テ契約ノ成ルコトアリ此等ノ契約ヲ稱シテ既行約因ニ對スル契約ト言フ右ニケノ場合ニ於テハ孰レモ約因ヲ執行シタル後ニアラサレハ契

約契純單ル成リヨ意合

約ヲ生セス故ニ約因未行ノ間ハ契約未タ成立セサルヲ以テ何時ニテモ其喚諾ヲ取消スコトヲ得ヘシ

既行約因ニ對スル契約ト未行約因ニ對スル契約トノ差異ハ約因ノ既

ニ執行シ終リタルト雙方共ニ將來ノコトヲ約束スルトノ二者ニ在リ

既行約因ニ對スル契約ハ之ヲ過去ノ約因ニ對スル契約ト區別スルコ

トヲ要ス即チ過去ノ約因ニ對スル契約ニ於テハ約因ノ執行ハ對手ノ

約束ヲ爲ス前ニアル既行約因ニ對スル契約ニ於テハ對手ノ約束ヲ爲

スハ約因ヲ執行シタルトナリ故ニ甲者昨年乙者ノ爲メニ横濱ニ使

シ乙者今年其謝禮トシテ金若干圓ヲ與ヘンコトヲ約ス是レ過去ノ約

因ニ對スル契約ニシテ無効ナルモノナリ

既行約因ニ對スル契約ニハ必ラス其初約因ヲ執行スヘキ爲約者ノ請

求アルコトヲ要ストノ説アリ但シ其所謂請求トハ唯々實際ノ請求ノ

約契純單ル成リヨ意合

(三二)

(四二)

約契純單ル成リヨ意合

ミニ限ラス法律上假定ノ請求ヲモ包含スルモノナリ抑モ法律上假定ノ請求トハ實際請求ヲナササルニ法律上便宜ノ爲メ請求アリシト假定シタルモノナリ故ニ法律上假定ノ請求ハ其名アリテ其實ナキモノナリ夫レ此ノ如ク法律上ノ假定ヲ許ストキハ右ノ説ノ如ク既行約因ニ對スル契約ハ凡ヘテ約因ヲ執行スヘキ請求ト其請求ニ應シ約因ヲ執行スルコトニ因テ成立ツモノナリト云フヲ得ヘシ然レモ若シ此假定ヲ斥ケテ實際ノ請求ノミヲ稱シテ請求ト爲ストキハ既行約因ニ對スル契約ハ前述ノ如ク請求ニ應シ約因ヲ執行スルコトニ因ツテ生スル場合ト約因ノ執行ヲ承諾シテ起ル場合トノ二箇アルナリ

言語文章若シクハ行爲ヲ以テ報酬ヲナスノ意ヲ示シテ約因ノ執行ヲ受約者ニ請求シ受約者其請求ニ應シ約因ヲ執行シタルキハ則チ報酬ヲナスヘキ既行約因ニ對スル契約ヲ生スヘシ此規則ニ付キテハラシ

(五二)

約契純單ル成リヨ意合

プレイ對ブラスウエイトノ訴訟ヲ以テ首要ノ適例トナス蓋シ此訴訟ニ於テハ被告輕罪ヲ犯シ其赦免ヲ得ンカ爲メ周旋ヲ原告ニ乞ヒ原告ハ被告ノ爲メニ粉骨ノ勞ヲ辭セス遂ニ其罪犯ノ赦免ヲ得セシメタリ

故チ以テ赦免ノ後被告ハ原告ヘ金若干圓ノ禮金ヲ與フルコトヲ約セリ而ルニ被告ハ遂ニ此約ニ背キテ禮金ヲ原告ニ與ヘズ依テ原告ハ禮金受取ノ詞訟ヲ起セシニ被告ハ之ニ抗辨シテ是レ過去ノ約因ニ對スル契約即チ無効契約ノ履行ヲ請求スルモノナレハ被告ハ之ニ應スルノ義務ナシト云ヘリ是ニ於テ判官之ヲ裁決シテ曰ク被告ハ原告ノ請求ニ應シ禮金ヲ仕拂フ義務アリ何ントナレハ縱令當初ニ於テ禮金ヲ贈ル契約ヲナスト雖モ赦免ノ周旋ヲ依頼セシ以上ハ其勞力ニ對シ報酬ヲナスノ意ハ自ラ其中ニ含蓄スレハナリト

保證ノ契約モ亦請求ニ應シ約因ヲ履行シタルヨリ生スルコトアリ即

(六二)

子甲者乙者へ對シテ曰ク願クハ丙者ヲ雇ヒ吳レヨ然レハ丙者不正ノ所爲ニヨリ汝ノ蒙ル損害ハ余ニ於テ之ヲ賠償スベシト今此請求ニ應シ丙者ヲ雇入ル、ト否テサルトハ乙者ノ隨意タルベシト雖モ乙者其請求ニ應シテ丙者ヲ雇入レタルモ甲者ヨリ乙者へ對シ直ニ保證ノ契約ヲ生ス即チ乙者ノ丙者ヲ雇入タルコトヲ以テ既行約因トスルナリ

約因ノ執行ヲ承諾シ或ハ黙諾シタルモ其約因ニ對シ報酬ヲ爲スヘキ契約ヲ生ス英國養育院ノ院長ハ院中ニ病人アルモ醫ヲ延キ藥ヲ給スルノ義務アリ故ニ醫師院長ノ招請ヲ受ケスシテ院中ノ患者ヲ治療スルモ院長之ヲ傍觀シテ謝絶セザルモハタトヒ其院長醫師ニ依頼セシコトナシト雖モ亦其醫師へ對シテ診察料及藥價ヲ仕拂フ契約ヲナシタルモノトナスナリ

約契純單ル成リヨ意合

(七二)

約契純單ル成リヨ意合

報酬ヲナスノ意アルコトヲ推測スヘカテサル場合ニ於テハ對手執行シタル約因ニ對シテ報酬ヲナス契約ヲ生スルコトナシ嘗テ甲者アリ乙者ヲシテ船長タラシメシニ航海中乙者ハ更ニ丙者ヲ船長トナシ自ラ其補助トナレリ而シテ歸港ノ後乙者ハ甲者へ對シテ補助ノ給料ヲ請求セリ然レモ甲者ハ乙者ノ航海中ニ補助ノ役ヲ勤メシコトヲ知ラサルヲ以テ其之ニ對シテ報酬ヲナスノ意アリシコトハ之ヲ推測スヘカラス故ニ判廳ニ於テハ乙者ノ請求相立難シト裁決セリ又甲者物品ヲ乙者ニ注文セシ處丙者ヨリ之ヲ送り來レリ而シテ甲者ハ乙者ヨリ送りシモノト信シテ之ヲ費消セリ此場合ニ於テモ亦甲者丙者へ代金ヲ仕拂フノ意アリシコトハ之ヲ推測スル能ハス故ニ原告ハ其代金ヲ請求スルノ權ナシト判決セシコトアリ

○詐欺其他不法ノ手段ヲ以テ約因ヲ得タル場合

(八二)

被告ニ於テ詐欺或ハ其他不法ノ手段ヲ以テ原告ヨリ約因ヲ得タルハ其約因ニ對シ報酬ヲ爲スヘキ契約ノ推測ヲ避ケン爲メニ詐欺若シクハ不法ノ所爲ニ依テ約因ヲ得タルコトヲ陳述スルヲ得ス甲者アリ乙者ノ赤貧ナルヲ知ツテ丙者ハ其富裕ヲ譏リ同人ヘ金圓ヲ貸與センコトヲ依頼シ丙者之ヲ信シテ其依頼ニ應シタリ然ルニ甲者ハ其金圓ヲ丙者ニ渡サスシテ而シテ自カラ之ヲ私セリ此ニ至リ事實發露ノ後丙者ハ甲者ヘ係リ出訴セリ此場合ニ於テ甲者ハ其金圓ヲ第三者ナル乙者ヘ貸與セシコトヲ陳述シテ原告ノ請求ヲ拒ムヲ得ス又或ル鐵道會社ニ於テ遊歷人ノ爲メニ一種ノ切符ヲ發行シ其切符ヲ所持スル者ハ遊歷ノ順路何レノ場所ニテモ隨意ニ乗車スルコトヲ得セシメ而シテ荷物ヲ携帯スルヲ許サザリシ然ルニ某遊歷人ハ此切符ヲ購ヒ竊ニ荷物ヲ携帯シテ乗車セリ是ニ於テ會社ハ其荷物ノ運賃ヲ請求セシニ

約契純單ル成リヨ意合

(九二)

約契純單ル成リヨ意合

某遊歷人ハ抗辨シテ曰ク會社ノ規則ニ依レハ荷物ヲ携帯シテ乗車スルヲ許サストアリ然ラハ則チ其理固ヨリ運賃仕拂ノ契約ヲ生スルコトナシト然レモ某遊歷人ハ此言ヲ以テ原告ノ請求ヲ拒絕スルヲ得ス被告詐欺ノ契約ヲ以テ原告ヨリ約因ヲ得タルハ原告ハ其契約ヲ確認シテ有効トナスカ否ヲサレハ其契約ヲ解除シ詐欺ノ廉ヲ以テ損害ノ償金ヲ求ムヘシ但シ契約ヲ確認シタル上ハ損害ノ償金ヲ請求スルヲ得ス嘗テ甲某アリ乙某ヨリ物品ヲ買ヒ而シテ丙某ノ手形ヲ以テ其代金ヲ仕拂フコトヲ約セシニ其手形ハ全ク價直ナキモノナリシヲ以テ乙者ハ甲者ヘ對シテ更ニ其代金ヲ請求セリ乃チ法官之ヲ判決シテ曰ク原告乙者ハ契約ヲ確認シテ價直ナキ丙某ノ手形ヲ受取ルカ否ヲサレハ契約ヲ解除シテ損害要償ヲナスヘキナリ然ルニ乙某ニ於テ之ヲ爲サス反テ其嘗ツテ約束セサル代金ヲ請求スルハ不當ナリトス

(〇三)

第二款 准契約

第一款ニ於テ論シタル契約ハ契約人雙方ノ合意ヨリ生スルモノニシテ本款ニ於テ説クトコロノ契約ハ合意ヨリ生セサルモノナリ合意ヨリ生セサルノ契約トハ准契約ヲ謂フナリ准契約トハ契約人雙方ノ間ニ合意ナキ場合ニ於テ法律上合意アリト假定シ以テ真正ノ契約ト同一ノ規則ニ從ハシムル取引ヲ云フナリ今之ヲ大別シテ左ノ三項トナス

准 契 約

第一 原告被告ノ爲メニ金圓ノ仕拂ヲナシタルコトヨリ生スル准契約

第二 被告原告ノ爲メニ金圓ヲ受領シタルコトヨリ生スル准契約

第三 已ニ成立シタル負債ヨリ生スル准契約

以上三種ノ准契約ハ逐次左ニ詳説スヘシ

准 契 約

(一三)

○原告被告ノ爲メニ金圓ノ仕拂ヲナシタル事ヨリ生スル准契約

原告法律上ノ責任ニヨリ被告ニ代リテ其必ス盡スヘキ義務ヲ盡シタルトキハ被告ヨリ原告ヘ對シテ辨償ノ准契約ヲ生スヘシ又原告法律上ノ責任ナキニ被告ニ代リテ義務ヲ盡シタルトキハ其契約ヲ生セス故ニ糶賣人物品ノ所有主ニ代リテ糶賣稅ヲ上納シタルルル所有主ハ之ヲ辨償スルノ義務アルナリ何トナレハ糶賣稅ハ賣品所有主ノ必ス負擔スヘキモノニシテ糶賣人ハ法律上ノ責任ニヨリテ之ヲ仕拂フタレハナリ

甲者乙者ニ借金アリ未タ之ヲ償フ能ハス甲者ノ友人ニ丙ナル者アリ其連帶義務者ニモアラス亦其受人ニモアラス而ルニ甲者ニ代リテ其負債ヲ償却セリ此場合ニ於テハ丙者法律上ノ責任ナクシテ他人ノ義務ヲ盡シタルモノナルヲ以テ甲者ヨリ丙者ニ對シテ准契約ヲ生スル

トナシ但他人ニ代リテ衡平法ノ義務ヲ盡シタルモノアルノ場合ニ於テモ原告ニシテ法律上ノ責任アルトキハ准契約ヲ生スヘシ

准 契 約

注解 英國ニ於テハ古來習慣法ト衡平法トノ區別アリ今其大畧ヲ記サンニ古昔英國ノ習慣法ハ太々頑陋ニシテ公平ヲ失スルコト少カラス故ニ裁判ヲ受ケタル者ハ其裁判ノ確定シタル後ニ在テ更ニ皇帝ニ歎願シテ其裁判ノ破毀ヲ求ムルノ例ナリキ然ルニ其後皇帝其煩雜ニ堪ヘサルヲ憂ヒ之ヲロルド、チヤンセロル(官名)ニ委任セリ爾來歎願人益々多ク之ヲ許否スルニ際シ自カラ一定ノ規則ヲ生シ遂ニ衡平法院ヲ設置スルニ至レリ故ニ衡平法ノ裁判ハ其初メ皇帝ノ御意ニ隨ヒ中コロロルド、チヤンセロルノ意見ヲ以テシ終ニ習慣法ト同シク先例ニ準據スルコト、ナレリ即チ今日ニ至ツテハ全ク兩法ノ區別ヲ廢シ一ノ裁判所ニ於テ兩法ヲ通用シ若シ或ハ相矛盾ス

准 契 約

ルトキハ則チ習慣法ヲ捨テ、衡平法ヲ取ルニ至レリ
○被告原告ノ爲メニ金圓ヲ受領シタルコトヨリ生スル准契約
甲者ノ受取ルヘキ金圓ヲ乙者代リテ受取りタル片ハ乙者ヨリ其金圓ヲ甲者ニ返却スヘキ准契約ヲ生ス
詐欺其他不法ノ所爲ヲ以テ金圓ヲ得ル片ハ其金主ヘ對シ返還ノ准契約ヲ生ス但シ金主詐欺又ハ不法ノ所爲タルトチ知テ金圓ヲ渡シタル時ノ處分ニ至テハ諸家ノ議論未タ定マテス
○竊盜及詐欺取財ノ場合
他人ノ金錢ヲ竊盜シタル者ハ其金錢ヲ所有主ヘ返還スベキ准契約ヲ結ヒタルモノトス詐欺ノ手段ヲ以テ金圓ヲ得タル者モ亦同シ
負債者ヨリ金錢ヲ請取リタル第三者ハ之ヲ債主ヘ拂渡スヘキ准契約ヲ結ヒタルモノトス然レモ第三者負債主ヨリ受取りタル金錢ヲ以テ

(四三)

更ニ其情ヲ知ラサル第四者ニ渡シタルルキハ其債主ト第四者トノ間ニ於テ返還ノ准契約ヲ生スルコトナシ但シ第四者其情ヲ知テ金錢ヲ受取リタルルキハ其債主ヘ對シテ返還ノ准契約ヲ結ヒタルモノトス

○脅迫ニ遭ヒ金圓ヲ仕拂フタル場合

脅迫ニ依テ金圓ヲ奪取シタル者ハ所有主ヘ對シテ其金圓返還ノ准契約ヲ結ヒタル者トス但シ脅迫ニ身體上ノ脅迫ト財産上ノ脅迫トノ別アリ身體上ノ脅迫ヲ受ケ止ムヲ得スシテ金圓ヲ渡シタル者ハ准契約ニ依テ其金圓ヲ脅迫者ヨリ取戻スコトヲ得ベシ故ニ警官甲者ヲ逮捕セントシテ誤ツテ乙者ヲ逮捕シ而シテ乙者ハ己レノ監禁ヲ免レンカ爲メニ金圓ヲ警官ニ拂ヘル場合ノ如キハ警官乙者ニ對シテ該金ヲ返還スヘキ准契約ノ義務アルモノトス
財産上ノ脅迫ヲ受ケ止ムヲ得スシテ金圓ヲ渡シタル者ハ其脅迫者ニ

准 契 約

准

契

約

(五三)

向ツテ返還ノ准契約ヲ生セシムルヲ得ス故ニ脅迫者アリ甲者ニ向ヒ汝若シ金若干圓ヲ余ニ與ヘサレハ余ハ汝ノ家屋ヲ燬燒スベシト告ケルル甲者之ヲ諾シテ其要求スル金圓ヲ與ヘタルルキハ則チ其返還ヲ請求スルヲ得ス

脅迫ヲ受ケテ金錢ヲ渡シタル者ハ准契約ノ理ニ因テ出訴スルヲ得ヘク亦ダ准契約ニ依ラス私犯上ノ訴訟ヲ起スヲ得ヘシ但シ一方ノ訴訟ヲ起ストキハ中途ニシテ他ノ一方ニ轉スルヲ得ス

脅迫ニヨリテ結ヒタル契約ヲ取消スト脅迫ヲ受ケテ渡シタル金圓ヲ取戻ストハ左ノ區別アリ

脅迫ニ遭ヒ止ムヲ得スシテ結ヒタル契約ハ其脅迫ノ身體上ナルト財産上ナルトニ關セス之ヲ取消スコトヲ得ヘシ

脅迫ヲ受ケ止ムヲ得スシテ金圓ヲ渡シタルルキハ其脅迫身體ニ關セサ

(六三)

レハ之ヲ取戻スコトヲ得ス

○事實ノ錯誤ニ依リ金圓ヲ渡シタル場合

事實上ノ錯誤ニ依リ他人ニ金圓ヲ渡シタル者ハ准契約ニヨリ之レカ取戻ノ訴ヲ爲スコトヲ得ヘシ

負債主債主ヲ取違へ第三者へ金圓ヲ渡シタルハ第三者ヨリ債主へ對シ其金圓ヲ渡スヘキ准契約ヲ生ス

地所アリ法律上甲者ノ所有ニ屬ス然ルニ甲者之ヲ知ラス地代ヲ乙者ニ拂フテ之ヲ借用シ而シテ乙者亦該地所ヲ自己ノ所有地ナリト信シテ之ヲ甲者ニ貸シ與へ地代ヲ受領シ來レリ此場合ニ於テハ事實ノ錯誤アルヲ以テ甲者ハ地代ヲ乙者ヨリ取戻スコトヲ得ヘシ

○事實ヲ知ルヘキ充分ナル手段アルニ誤ツテ金圓ヲ渡シタル場合
事實ヲ知ルヘキ充分ナル手段アルニ其手段ヲ用ヒスシテ錯誤ヲ生シ

約 契 准

(七三)

因テ以テ金圓ヲ他人ニ渡シタルハモ准契約ニ依リ之レカ取戻ヲナスコトヲ得ヘシ生命保險會社ハ被保人ヨリ年々保險料ヲ受取り其生命ヲ保險スルモノナリ故ニ其被保人若シ保險料ヲ拂ハスシテ死スレハ會社ハ其契約ノ金圓ヲ仕拂フノ義務ヲ免ルモノトス然ルニ今被保人某ハ保險料ヲ拂ハスシテ死スニ會社ハ悉皆其保險料ヲ領取セシト誤リ契約ノ金圓ヲ仕拂ヘリ此場合ニ於テ法官ハ會社ニ其仕拂ヒシ金圓ノ取戻ヲナスコトヲ許シタリ

○法律ノ錯誤ニヨリ金圓ヲ渡シタル場合

國民タル者ハ其國ノ法律ヲ詳知セサル可カラズ亦之ヲ詳知スル事

ニ付キテハ錯誤アルヘカラス故ニ法律ヲ錯誤シテ金圓ヲ渡ス人アルモ法律ハ之ヲ錯誤ナキモノト見做シ其金圓ノ取戻ヲナスコトヲ許サス

准

契

約

船舶ノ保儉ヲ依頼スル人ハ詳ニ其船舶ノ履歴及現今ノ有様ヲ保險ノ會社ヘ通知スルヲ要ス故ニ依頼人若シ誤テ契約ニ必要ナル事實ヲ通知セザリシハ會社ハ保險契約ノ責ニ任セサルモノトス(此ノ如ク偏ヘニ會社ヲ保護シテ被保人ニ過嚴ナルハ會社自ラ船舶ノ履歴現狀ヲ詳知スル能ハスシテ專ラ被保人ノ言ヲ信用シテ結約スルヲ以テナリ但シ船主某必要ナル事實ヲ通知セスシテ某船ノ保險ヲ受ケントシ會社此事實ヲ知ツテ保險ノ金圓ヲ被保人ニ仕拂フタルハ會社ニ於テ右ニ掲ケタル保險關係ノ法律ヲ知ラザリシコトヲ以テ其仕拂フタル金圓取戻シノ理由トナスヲ得ス

○金圓授與ノ約因消失シタル場合

金圓仕拂ノ約因初メヨリ全ク無ク又ハ仕拂後ニ消失スルハ其仕拂主ニ於テ其金圓ヲ取戻スコトヲ得ヘシ

准 契 約

一商業會社ノ設立ヲ發起シ株券ヲ發行シテ株主ヲ募集シタリシニ其後或ル障害ノ爲メニ妨ケラレ其會社ハ設立ニ至ラスシテ中止セリ此場合ニ於テハ發起人ヨリ株主ヘ對シ株金ヲ返還スル准契約ヲ生スヘシ

甲者アリ乙者ノ畑ニ植付タル蹲鴨子ノ收穫ヲ買ヒ代金ヲ仕拂ヒシニ其後大雨ノ爲メニ蹲鴨子ハ萎ク朽腐セリ此場合ニ於テモ前例ト等シク甲者ハ其代金ヲ取戻スコトヲ得ヘシ

甲者地所ヲ賣却セント喚諾シ乙者之ニ應諾シテ代金ヲ渡セリ然ルニ其後乙者ハ該地ノ完全ナル所有權ハ賣主タル甲者ニ屬セサルヲ發

(〇四)

見セリ此場合ニ於テモ買主ナル乙者ハ其代金ヲ取戻スコトヲ得ヘシ
約因ノ一部初ヨリ成立セス又ハ中途ニシテ消失シタル片ハ左ノ區別
ヲナスヘシ

第一 契約ノ分割スヘキ時ハ仕拂フタル金圓ノ一部ヲ取戻スコト
ヲ得ヘシ

第二 契約ノ分割スヘカラサル片ハ仕拂フタル金圓ヲ取戻スコト
ヲ得ス

將來ノ收獲ヲ百圓ト見積リ代金ヲ仕拂フタル後天災ノ爲ニ減シテ僅
カニ拾圓ノ收獲アリタル片ハ金九拾圓ヲ取戻スコトヲ得ヘシ
甲者家宅ヲ借り受ケテ移轉セシニ其貸主ノ有スル使用權ハ契約ニ於
テ定メタルトコロノモノヨリ狹隘ニシテ該約因ノ一部ハ未タ成立セ
ス然レモ既ニ移住シテ家宅ヲ占有シタル以上ハ甲者ニ於テ其仕拂フ

准 契 約

准

契

約

(一四)

タル金圓ヲ取戻スコトヲ得ス又甲乙者ヨリ金百圓ニテ米三十俵ヲ買
取り乙者ハ之ヲ甲者へ運搬シ甲者ハ代金ヲ仕拂ヒタリ然ル上ハ甲者
ニ於テ其一部分ヲ費消シタル後其質ノ甚タ粗惡ナルコトヲ發見スト
雖モ仕拂フタル代金ヲ取戻スコトヲ得ス

○已ニ成立タル負債ヨリ生スル准契約

此類ノ准契約ハ已ニ成立チタル負債ヲ償却スル方法ヲ簡便ナラシメ
ンカ爲メニ設ケタルモノニシテ更ニ負債ヲ償却スルコトヲ契約シタ
ルモノト見做シ其契約ニヨリテ義務ヲ盡サシムルナリ
已ニ成立チタル負債ヨリ准契約ヲ生セシムルニハ負債者ニ於テ負債
ノ有ルコト及其金高ヲ自認スルコトヲ要ス

此類ノ准契約ヲ分テ二種トナス乃左ノ如シ

第一 決算ヨリ生スル者

(二四)

第二 裁判ヨリ生スル者

○決算ヨリ生スル者

債主負債主ノ決算ヲナシ負債者之ヲ承諾シタルトキハ准契約ヲ生ス
 債主負債主ハ三項ニ分チタル決算書ヲ送リタルトコロ負債主ハ唯其
 一項ニ付キテノミ異議ヲ稱ヘタリ然ル片ハ負債主自カラ他ノ二項ヲ
 認メタルモノナレハ其二項ニ付キテ准契約ヲ生ス
 未タ返濟期限ニ至ラサル負債ニ付キテハ負債主自カラ某年月日ニ返
 濟スヘキ負債アルコトヲ認メタル時ヨリ其准契約ヲ生ス
 己ニ成立チタル負債ヨリ生スル准契約ノ爲メニ訴ヘラレタル被告人
 ハ決算ニ錯誤アルコト及ヒ其負債ハ他人ノタメニ取次キタルト等ノ
 答辨ヲナスヲ得ヘシ
 准契約ハ負債自認ノ日ヨリ生スト雖モ之レカ爲メニ出訴期限ヲ中斷

約 契 准

(三四)

約 契 准

スルコトナシ故ニ出訴期限三年ノ内二年半ヲ經過シタル時准契約ヲ
 生スル片ハ其期限ハ半年ニシテ三年ニアラストス
 英王ジョージ第四世ノ時テンターデン侯ノ布告ニ依ルニ負債主債主
 ヘ對シ證書ヲ以テ負債ヲ自認シタル片ハ其自認ノ日ヨリ出訴期限ヲ
 起算スヘキモノトス
 詐欺條例ニ依ルニ文書ナケレハ無効タルヘキ契約ヲ口頭ニテ結ビタ
 ル爲約者ハ自認スト雖モ准契約ヲ生スルコトナシ
 ○裁判ヨリ生スル者
 裁判ニ於テ勝利ヲ得タル者失敗者ヲシテ己レノ請求ニ應セシムルノ
 法ニアリ日ク裁判執行日ク准契約渾テ裁判上曲者トナリタル者ハ直
 者ヘ對シテ裁判言渡書ヲ以テ命セラレタル事ヲ爲スコトヲ契約シタ
 ルモノトス故ニ直者ハ裁判執行ヲ求ムルヲ得ヘク亦タ准契約ニ依テ

pe Pecurias
Pecurias Partita

(四四)

出訴スルヲ得ベシ

第二章 捺印契約

捺印契約トハ約束シタル事項ヲ爲約者ノ捺印シタル證書ニ記載シタル契約ヲ云フ

一般ニ之ヲ言ハハ契約ヲ結フニ口頭ヲ以テスルモ無印證書ヲ以テスルモ又捺印證書ヲ以テスルモ何レモ皆契約人ノ隨意タリ然レモ事柄ニ依リ捺印證書ヲ以テスルニアラサレハ契約ノ効力ナキコトアリ即チ習慣法ニヨルニ約因ナクシテ金圓或ハ物品ヲ他人ニ贈與スル恩惠ノ契約ハ捺印證書ヲ以テスレハ有効ナリト雖モ口頭若シクハ無印證書ヲ以テスルモハ無効ナリトス

○捺印證書認方

(五四)

捺印契約

捺印契約ハ羊皮紙又ハ通常ノ紙ニ認ムヘシ故ニ木片鐵板絹布獸皮等ニ認メタル證書ハ捺印アリト雖モ其効ナキモノトス
捺印證書ハ印刷スルモインキ若シクハ鉛筆ヲ以テ書スルモ可ナリ又此他無印證書ノ規則ハ通シテ捺印證書ニ用フルコトヲ得ヘシ
捺印證書ハ爲約者之ニ署名スルヲ要セス但シ布告ヲ以テ特ニ署名スヘシト定メタルモハ此限ニアラス
一人ノ印ヲ以テ數人ノ印ニ兼用スルヲ得ベシ但シ其兼用シタルコトハ證書ニ於テ明亮ナルヲ要ス
○捺印契約ノ効力ノ生スル時
捺印證書ハ之ヲ對手ヘ授與シタル時始メテ効力ヲ生スルモノニシテ其授與ハ自ラ之ヲ爲スモ他人ヲシテ之ヲ爲サシムルモ又對手ニ命シテ請取ラシムルモ何レニテモ可ナリ但シ未タ授與セスト雖モ爲約者

捺印契約

其効力ヲ認ムルハ有効トナルベシ
捺印證書ヲ第三者へ授與シ而シテ或ル未必條件ノ發セシト更ニ之ヲ
對手へ渡スヘキコトヲ命シタルハ其未必條件ノ發セル時始メテ其
効ヲ生シ而シテ其効力ハ第三者へ授與セシ時ニ溯ルベシ此類ノ證書
ヲ稱シテ草券ト云フ故ニ有夫ノ婦人未タ嫁セサル時草券ヲ第三者へ
渡シ結婚ノ後未必ノ條件發セシトキハ其効力ハ結婚前ニ溯ルヲ以テ
有夫ノ婦ノ契約ハ無効タルヘキ原則ナレトモ其捺印證書ハ有効ナリト
ス

○直截證書及鋸齒證書

捺印證書ニ二種アリ曰ク直截證書曰ク鋸齒證書

直截證書トハ契約者ノ内一方ノ者ノミ捺印シテ對手へ渡シタルモノ
ヲ云フ

捺印契約

鋸齒證書トハ契約人雙方共ニ一通ツ、認メ相互ニ取交セタル證書ヲ
云フ蓋シ鋸齒證書ハ往古一枚ノ羊皮ノ兩端ニ契約ノ條款ヲ同文ニ認
メ之ヲ中央ヨリ鋸齒ノ如ク凸凹ニ截斷シテ契約人各其一通ヲ所持ス
ル習慣ナリシ故ニ此類ノ證書ヲ稱シテ鋸齒證書ト云ヘリ

ウイクトリア帝第八年及第九年ノ布告ハ其第二百零六章第五款ヲ以テ
一千八百四十五年十月一日以後ニ鋸齒證書トシテ認メタル捺印證書
ハ假令ヒ鋸齒ノ如ク凸凹ニ截斷セスト雖モ鋸齒證書ノ効ヲ有スヘシ
ト定メタリ

捺印證書ヲ以テ結ヒタル契約ハ之ヲコベナントト稱シ亦特別契約ト
稱ス

○拘束證書

拘束證書ハ直截證書ノ一種ニシテ受約者ニ金圓ヲ仕拂フ義務アルコ

(八四)

捺印契約

トテ認許シタル捺印證ヲ云フナリ又爲約者或事ヲ爲ス片無効トナル
 ヘキ拘束證書ハ之ヲ條件附帶ノ拘束證書ト稱シ唯タ金圓ヲ仕拂フ義
 務アルコトヲ認許シタルニ止マルモノハ之ヲ單純拘束證書ト稱ス條
 件附帶ノ拘束證書ニ於テハ仕拂フヘキ金額其條件ノ價直ヨリモ大ナ
 ルヲ以テ例トナス是其拘束證書ニ於テ金圓ヲ仕拂フコトヲ契約スト
 雖其目的ハ條件ヲ仕遂シムルニアリテ契約ノ金圓ヲ仕拂ハシムル
 ニアラサルヲ以テナリ今此仕拂フヘキ金圓ヲ稱シテ罰金或ハ科料ト
 云フ
 豫定期日ニ金若干圓ヲ受約者へ渡ス時無効トナルヘキ拘束證書ハ之
 ヲ稱シテ金圓仕拂ノ拘束證書ト云フ此等ノ證書ニ於テ罰金ノ金額條
 件ノ金額ヨリモ二倍ナルヲ例トス
 金錢ノ仕拂ニアラサル事ヲ以テ條件トナシタル拘束證書ハ之ヲ稱シ

テ特別拘束證書ト云フ

左ノ證書ハ則チ金圓仕拂ノ拘束證書ナリ

證

一金千圓也

右ハ來ル明治十八年三月三日迄ニ貴殿へ御渡可申候也

但シ明治十八年三月三日迄ニ金四百圓ト本年本月ヨリ一ヶ月
 金百圓ニ付キ金八十錢ノ割合ヲ以テ利子相添へ差上申候節ハ

此證書無効タルヘキ事

明治十七年三月二日

甲者 印

乙者殿

(九四)

捺印契約

此證書ニ於テ契約人ノ目的トスルトヨロハ明治十八年三月三日迄ニ
 甲者ヨリ已レヘ金四百圓ト其利子ト仕拂ハシムルニアリテ金千圓ハ

(八四)

捺 印 契 約

トテ認許シタル捺印證ヲ云フナリ又爲約者或事ヲ爲ス并無効トナル
ヘキ拘束證書ハ之ヲ條件附帶ノ拘束證書ト稱シ唯タ金圓ヲ仕拂フ義
務アルコトヲ認許シタルニ止マルモノハ之ヲ單純拘束證書ト稱ス條
件附帶ノ拘束證書ニ於テハ仕拂フヘキ金額其條件ノ價直ヨリモ大ナ
ルヲ以テ例トナス是其拘束證書ニ於テ金圓ヲ仕拂フコトヲ契約スト
雖其目的ハ條件ヲ仕遂シムルニアリテ契約ノ金圓ヲ仕拂ハシムル
ニアラサルヲ以テナリ今此仕拂フヘキ金圓ヲ稱シテ罰金或ハ科料ト
云フ

豫定期日ニ金若干圓ヲ受約者ヘ渡ス時無効トナルヘキ拘束證書ハ之
ヲ稱シテ金圓仕拂ノ拘束證書ト云フ此等ノ證書ニ於テ罰金ノ金額條
件ノ金額ヨリモ二倍ナルヲ例トス
金錢ノ仕拂ニアラサル事ヲ以テ條件トナシタル拘束證書ハ之ヲ稱シ

テ特別拘束證書ト云フ

左ノ證書ハ則チ金圓仕拂ノ拘束證書ナリ

證

一金千圓也

右ハ來ル明治十八年三月三日迄ニ貴殿へ御渡可申候也

但シ明治十八年三月三日迄ニ金四百圓ト本年本月ヨリ一ヶ月
金百圓ニ付キ金八十錢ノ割合ヲ以テ利子相添ヘ差上申候節ハ
此證書無効タルヘキ事

明治十七年三月二日

甲 者 印

乙者殿

(九四)

捺 印 契 約

此證書ニ於テ契約人ノ目的トスルトコロハ明治十八年三月三日迄ニ
甲者ヨリ已レヘ金四百圓ト其利子トテ仕拂ハシムルニアリテ金千圓ハ

捺印契約

金四百圓ト利子トヲ拂ハサル時ノ罰金ナリ
 習慣法ニ據ルニ義務者其條件ヲ仕遂ケサルハ權利者其罰金ノ金額
 ナ請求スルヲ得ヘシ然レモ衡平法院ニ於テハ受約者ノ請求シ得ヘキ
 金圓ヲシテ條件ニ於テ實際義務者ノ負擔スル金額或ハ義務者ノ條件
 ナ仕遂ケサルヨリ生スル損害ノ金額ニ止マラシメ罰金ノ全額ヲ請求
 スルコトヲ許サス
 アン帝第四年及第五年ノ布告第十六章第十二款ニヨリ金圓仕拂ノ拘
 束證書ヲ以テ罰金ヲ請求サレタル被告人ハ訴訟前其條件ノ金額ヲ原
 告ニ渡シタルコトヲ以テ原告ノ請求ヲ拒ムコトヲ得又同布告同章第
 十三款及ウキグトリア帝第二十二年及第二十四年ノ布告第百二十六
 年第二十五款ニヨリ右ノ被告人ハ訴訟ノ起リタル後條件ニ定メタル
 金額ヲ裁判所ヘ納付シテ其義務ヲ免ガル、コトヲ得

捺印契約

特別拘束證書ニ付キテハウキリアム第三世第八年及第九年第十一章
 ノ布告アリ今該布告ニヨルニ原告ナル受約者ノ請求シ得ヘキ金額ハ
 爲約者ノ條件ヲ仕遂ケサルヨリ生シタル損害ノ金額ニ止マルヘシ
 衡平法院ニ於テ特別拘束證書ノ目的ハ條件ヲ履行セシムルニアリテ
 義務者ハ其條件ヲ履行スルカ或ハ罰金ヲ出スカ二者ノ一ヲ擇フヘキ
 權ヲ有スルモノニアラストス故ニ事宜ニ由リテハ義務者ヲシテ條件
 ナ履行セシムルコトアリ

○捺印契約ノ約因

捺印契約ハ約因ナシト雖モ有効ナリトス彼單純契約ニ於テ約因ヲ必
 用トスル所以ハ契約人法律上契約ノ効果ヲ生セシムルノ意ナクシテ
 爲シタル取引ニ効力ヲ與ヘ意外ノ結果ヲ生セシムル如キ弊害ヲ生ス
 ルヲ以テナリ然ルニ捺印契約ニ於テハ結約ノ方式甚タ鄭重ナルカ爲

メニ右ノ如キ弊害アルトナシ故ニ敢ヘテ約因ヲ必要トセサルナリ
約因消滅スルコトアルモ捺印契約ハ其効力ヲ失フコトナシ
捺印契約ハ約因ノ有無ヲ問ハス然レトモ若シ法律ニ違背シタル約因
アル片ハ無効タルヘシ

○捺印契約ノ要償

捺印契約ハ要償ノ法方充分ナルカ故ニ之ヲ單純契約ニ比スレハ自カ
ラ優等ナルモノトス
死者ノ財産ヲ其債主ニ分配スルニ際シ習慣法ニヨレハ捺印證書ニヨ
リテ權利ヲ有スル債主ハ單純契約ニヨリ權利ヲ有スル債主ニ先ツテ
其仕拂ヲ受クルコトヲ得又衡平法ニヨレハ兩種ノ債主間ニアリテ右
ノ如キ先後ノ區別ヲナサスシテ平等ノ分配ヲナスヘキモノトス
爲約者捺印契約ヲ以テ其相續人ニマテ義務ヲ負ハシムルコトヲ約束

捺 印 契 約

記 録 契 約

スル片ハ其死後ニ相續人ハ死者ヨリ相續シタル地所ノ價直ヲ限リ
トシテ契約上ノ義務ヲ盡スヘキモノトス遺囑贈與ニヨリ死者ヨリ地
所ヲ讓與サレタル者ノ如キモ其初メ死者ノ義務ヲ繼續スルコトナキ
規則ナリシカウキリアム帝及メイリイ帝第三年ノ布告第十四章並ニ
ウキリアム第四世布告第一年ノ第四十七章ニ因ツテ地所ノ遺囑被贈
人モ相續人ト同一ノ義務ヲ負フコト、ナレリ
捺印契約ノ出訴期限ハ單純契約ノ出訴期限ヨリ長キヲ例トス

第參章 記録契約

記録ハ記録裁判所記録裁判所トハ公正ノ記録ヲ備フル裁判所ヲ云ニ
於テ起リシ事件ヲ登記シタル帳簿ナリ而シテ記録ニ登記シタル事實ニ
關シ其關係人ハ反對ノ證據アリテ之ヲ以テ其事實ヲ變更スルヲ得ス

但其事實ヲ記録ニ登記シタルヤ否ヤハ固ヨリ之ヲ證明スルヲ得ヘシ
記録ニ登記シタル契約ヲ稱シテ記録契約ト云フ

第一 裁判契約

第二 公證契約

第三 商人特別契約

○裁判契約

記録ヲ備フル裁判所ニ於テ裁判確定スル片ハ之ヲ記録ニ登記ス又被
告ヨリ原告ヘ負債ノ返濟或ハ償金或ハ訴訟入費トシテ金若干圓ヲ拂フ
ヘシト判決ヲ爲シタル片ハ被告ニ於テ其金圓ヲ原告ヘ拂フヘキ契約
ヲナシタル者トス若シ又原告敗訴トナリテ訴訟入費ヲ被告ヘ拂フヘ
シト判決シタル片ハ原告ニ於テ之ヲ拂フヘキ契約ヲナシタル者トス

裁判確定スル片ハ原被ノ訴權消滅スルモノトス故ニ若シ同一ノ事件
ニ付再ヒ訴訟ヲ受ル片ハ前裁判ノ確定シタル事ヲ陳述シ原告ノ請求
ヲ拒ムヲ得ヘシ同一ノ事件トハ同一ノ原告同一ノ被告ヘ對シ同一ノ
義務ヲ盡サン事ヲ請求スル訴訟ヲ云モノニシテ原告又ハ被告ノ同一ノ
ラサル片ハ縱令同一ノ權利義務ヲ争フト雖モ同一ノ事件ニ非ストス
裁判契約ノ債主ハ死者ノ財産分配ニ於テ單純契約及捺印契約ノ債主
ニ先ツテ辨償ヲ受クルノ權アリ

○公證契約

公證契約トハ當局ノ判官又ハ其他ノ官吏公證ヲナシ記録裁判所ノ記
録ニ登記シタル契約ヲ云フ法庭ヘ出頭スヘキコト或ハ保釋ヲ受ケタ
ル被告人ヲ出庭セシムルコト等ハ則チ記録契約ヲ以テスルナリ
死者ノ財産分配ノ時ニ於テ公證契約ノ債主ハ裁判契約ノ債主ノ後捺

(六五)

印契約及單純契約ノ債主ノ前ニ辨償ヲ受クル權アリ

○商人特別契約

商人特別契約ハ其筋ノ官吏ノ公證ヲ經テ結ヒタル借金契約ナリ此契約ヲ結フ片負債主ノ地所ハ直チニ其抵當トナルモノトス

此契約ノ義務者違約スル片ハ權利者ニ於テ通常ノ訴訟法ニ依ラス簡便ナル手續ヲ以テ其辨償ヲ受クルヲ得

此契約ハ辨償ノ手續ヲ簡便ニシテ商業ニ便利ヲ與ヘンカ爲メニ設ケタルモノナルカ故ニ其初ハ商人相互ノ間ニノミ之ヲ取結フコトヲ許セシカ其後遂ニ人民一般ニ用フルトナレリ然レモ近世ニ至リテハ自ラ廢絶ニ歸セリ

記 録 契 約

第四章 成文契約

○双方同意ヲ以テ成文トナシタル契約

成文契約トハ契約ノ事項ヲ證書ニ認ムルノミニシテ捺印セサルモノヲ云フ此類ノ契約ハ捺印契約ノ如ク一種獨立ノモノニアラスシテ單純契約中ニ包含セラル、モノナリ今此契約ト口約トヲ併セテ「パロール」契約即口頭ノ契約ト云フ

成 文 契 約 (七五)

契約人雙方合意シタル事柄ヲ證書ニ認ムル迄効力ヲ停止スルコトヲ約シテ結ヒタル契約ハ證書ヲ認ムル迄効力ナキモノトス然レモ既ニ口頭ヲ以テ結約シ了リタル片ハ假令ヒ證據ヲ確實ナラシムル爲メ或ハ結約ノ式ヲ鄭重ニスル爲メ或ハ其他ノ目的ノ爲メ其口約ヲ證書ニ認ムヘキコトヲ約スト雖モ證書ニ記載スルモノ、ミチ以テ契約ノ事項トナス約束アルニアラサレハ契約人ハ其口頭結約アリシ片ヨリ權利義務ヲ得タルモノトス

成文契約

契約人口約ヲ結ビシルヨリ契約ヲ有効トスル意志ナリシヤ將タ證書ニ認メタルルニ於テ始メテ有効トスル意志ナリシヤハ法律ノ問題ニアラスシテ事實ノ問題ナリ然レモ成文トナスヘキ契約アルルハ其之ヲ成文トナス迄有効トスル意志ナキ證憑トナスヲ得ヘシ

甲者アリ金若干圓ヲ以テ乙者ノ地所ヲ買受ケンコトヲ申込タレハ乙者ハ左ノ如ク回答セリ

貴殿ノ御申込正ニ承諾仕候即チ別紙契約證書ニ御異存ナクハ御署名可被下又當方ニ於テハ貴殿ヨリ手附金御送付次第署名可仕候

此場合ニ於テハ已ニ雙方ノ手紙ニテ契約ヲ結了シタルヲ以テ雙方トモ未タ其契約證書ニ署名セサル前ニテモ亦タ遂ニ署名セスシテ止ムトテモ其契約ハ有効ナルモノトス

既ニ合意シテ取極メタル事柄ハ之ヲ證書ニ認ムヘキ契約ヲナスヲ得

成文契約

ヘシト雖事項未定ノ事柄ハ之ヲ成文ニナスヘキ契約ヲナスコトヲ得ス甲者アリ乙者ヨリ地所賣却ノ喚諾ヲ受ケ直チニ書狀ヲ以テ應諾シ且ツ其代價ハ甲者ノ代人ト相談ノ上取極ムヘシト回答セリ今此場合ニ於テハ事項未定マラサルカ故ニ其契約ハ成立セス

○布告ニ因ツテ成文トナシタル契約

習慣法ニ於テハ捺印契約ノ外成文ナラサルヘカテサルノ契約ナシ但布告ヲ以テ命セラレタル成文契約アリ

チヤールス第二世第二十九年第三章ノ布告詐欺條例第四節ニ五種ノ契約ヲ掲ケタリ其契約ハ被告タルヘキ人或ハ其代人ノ署名シタル契約證書若クハ覺書若クハ手扣アルニアラサレハ之ヲ出訴スルコトヲ許サス又其第十七節ニ代價十磅若シクハ十磅以上ノ物品ノ賣買契約ハ買主買品ノ一部ヲ受取ルカ若シクハ手附金ヲ置クカ若シクハ確證

(〇六)

物ヲ渡スカ然ラサレハ被告人タルヘキ人或ハ其代人ノ署名シタル覺書アルカ若シクハ其手扣アルニ非レハ無効タルヘシト定メタリ
該條例ニ包含スル契約ノ種類並其契約ニ必要ナル條件ハ第五章ニ於テ詳説スヘシ

成文契約

ロルドテンダーデン侯ノ布告ト稱スルジヨージ第四世第九年第十四章ノ布告第一節及第五節ニ於テハ出訴期限ヲ經過シタル負債ヲ償却スル契約及幼年中ニ負擔シタル負債ヲ仕拂フ丁年者ノ契約ヲ定メテ契約證書ヲ以テスルニアラサレハ其効ナシトセリ

○數個ノ證書ニ認メタル契約

數個ノ證書ハ一箇ノ契約ヲ證明スルヲ得ベキヲ以テ保險契約書ノ中ニ印刷シタル喚諾書ノ通り云々トアルルハ則チ其契約證書ト喚諾書トヲ合セテ以テ保險ノ契約ヲ證明スルヲ得ベシ但シ數個證書相互ノ

關係ヲ明瞭ナラシムルニ其證書外ノ證據ヲ要スルルハ之ヲ以テ一箇ノ契約ヲ證明スルヲ得ス

○一部成文ナル契約

成文契約

契約ノ事項ハ一部成文ナレモ一部不文ナルルハ成文契約ニアラス故ニ成文契約ニ特別ナル規則ヲ適用スルヲ得ス

甲者乙者ヘ書狀ヲ以テ物品ヲ注文シ而シテ其代金仕拂ノ期限ヲ記載セサリシ依テ乙者ハ其代金ヲ現金拂ナリト主張セリ然ルニ法官ハ乙者ヲシテ其物品注文ノ書狀ヲ送りシ前口頭ニテ代金仕拂ハ六ヶ月後ニナスヘシト約シタルコトヲ證明スルヲ許シタリ

成文喚諾ヲ其儘口頭ニテ應諾スルルハ其契約ヲ成文契約トナス

○成文契約ハ證書外ノ證據ヲ以テ變更増減スヘカラサル事

(一六)

契約ノ成文ナルルハ其布告ニ因テ然ルト契約人ノ合意ニ因テ然ルト

及ヒ其捺印ナルト無印ナルトニ關セズ渾テ成文證書特別ノ規則ニ從
フモノトス

成文契約ノ法律ハ大抵不文契證ノ法律ト同一ナレトモ唯其證書ニ關
シテ特別ノ規則アリ

成文契約

成文契約ハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ變更増減スルヲ得ス此規則ヲ設
クル所以ハ若シ證書外ノ證據ヲ採用シテ成文契約證書ヲ變更スルハ
ハ契約人ノ其契約ヲ成文トナシタル主意ニ違背スルヲ以テナリ故ニ
證書ニ明示ナシト雖成文中暗ニ含蓄シタル事項ハ亦此規則ニ從ヒ
證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ變更増減スルヲ得ス

賣買證書ニ賣買品ノ種類品位等ヲ詳記シタルハ賣主必ス自ラ口頭
ニテ之ヲ證明スヘシ故ニ賣主ハ證書記載ノ物品ト異ナルモノヲ以テ
異ナラスト爲シ強ヒテ買主ニ向テ其請取方ヲ請求スルヲ得ス而シテ

買主モ亦タ證書記載ノ物品ト異ナルモノ、引渡ヲ賣主ニ請求スルヲ
得ス

免許代言人ト未得免許代言人ト結ヒタル代言組合ノ成文契約ハ法律
ニ違背スルヲ以テ渾テ無効タルベシ故ニ未得免許代言人ハ免許ヲ得
ル日ヨリ其契約ヲ實行スル等ナルコトヲ證明シテ契約ヲ有効トナス
コトヲ得ス

成文契約

家屋稅ハ所有主ノ仕拂フヘキモノナルヲ以テ借家證文ニ其仕拂人ヲ
特定セサルハ所有主之ヲ仕拂フヘキモノトス故ニ所有主ハ證書外
ノ證據ヲ以テ借家人ノ仕拂約束アルコトヲ證明スルヲ得ス
約束手形或ハ爲替手形トナリタル契約モ亦證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ
證明スルヲ得ス故ニ約束手形或ハ爲替手形ヲ以テ訴ヘラレタル被告
人ハ其仕拂期限ニ至リ金圓ノ仕拂ヲ爲サズ更ニ新手形ヲ以テ之ニ換

フル口約ヲナシ其手形ニ署名シタルコトヲ證明シ以テ原告ノ請求ヲ拒ムヲ得ス

何時ニテモ仕拂フヘキ約束手形ヲ以テ訴ヘラレタル手形發行人ハ自分ノ死亡スルマテ其仕拂ヲナサ、ル口約アルコトヲ證明スルヲ得ス亦定期仕拂ノ手形ヲ以テ訴ヘラレタル者ハ或ル前起條件^{コンヂションレドント}ノ起ルマテ仕拂ヲナサ、ル口約ヲ證明シテ手形ノ性質ヲ變更スルヲ得ス

○證書外ノ證據ヲ以テ證明シ得ヘキ場合

成文契約ハ證書外ノ證據ヲ以テ變更増減スヘカラサルノ原則ナレモ此原則ニ對スル例外及此原則ニ抵觸セサル證書外ノ證據ヲ採用シ得ヘキ場合アリ即チ左ノ如シ

○約因

約束手形又ハ爲替手形ノ約因ハ之ヲ證書ニ掲載スルヲ要セス故ニ其

成文契約

成文契約

有無ハ證書外ノ證據ヲ以テ證明スルヲ得ベシ亦約束手形及爲替手形ノ約因ノ消滅シタルヲモ證書外ノ證據ヲ以テ證明スルヲ得ベシ
契約證書ニ約因ヲ掲ケタルハ其約因ノ消滅シタルコトハ證書外ノ證據ヲ以テ證明スルヲ得ヘシト雖モ其約因ナキコト又ハ他ノ約因アルコトハ之ヲ證明スルヲ得ス

○契約ヲ結ヒタル事

前章述ヘタル所ノ原則ニ抵觸セス證書外ノ證據ヲ以テ證明シ得ヘキモノアリ即チ雙方合意シテ契約ヲ取結ヒタルコト是ナリ而シテ捺印契約ニ於テハ捺印シタルコト、證書ヲ授與セシコト、ヲ以テ之ヲ證明シ單純契約ニ於テハ通例署名ヲ以テ之ヲ證明ス然レモ布告ヲ以テ特定シタル場合ノ外成文契約ニハ契約人ノ署名ヲ要セス故ニ盡トク契約ノ事項ヲ證書ニ掲ケ雙方合意シタルハ假令ヒ署名セスト雖成

(六六)

成文契約

文契約ノ性質ヲ失フコトナシ

立會人ハ證書ニ署名シテ契約人ノ合意ヲ證スルコトアリ又契約ノ種類ニ因リテハ法律上特ニ其署名ヲ命スルコトアリ故ニ若シ法律ノ之ヲ命セサルトキ立會人ヲ設クルト否ヤトハ契約人ノ隨意タルヘシ往古立會人ノ署名シタル證書ヲ證明スルニハ必ス立會人ヲ喚出スノ成規ナリシカ一千八百五十四年ノ布告ニ因レハ法律上立會人ノ署名ヲ命スル場合ノ外必ラスシモ立會人ヲ喚出スニ及ハサルコトニ改メタリ

○契約ヲ結ヒタル時日

證書ニ結約ノ時日ヲ明記スト雖證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ヘシ

○契約證書トナスノ意ナクシテ文書ヲ認メタル事

契約證書トナスノ意ナクシテ文書ヲ認メタルコト及ヒ認メタル證書ハ契約ノ事項ヲ盡シタルモノニアラスシテ契約ノ一部ノミヲ記載シタル者ナルコトハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ

被告ハ原告ヘ馬一頭ヲ賣渡シ口頭ヲ以テ其性質ヲ請合ヒ原告ヨリ代金ヲ受取り左ノ如キ覺書ニ署名セリ

金三百圓ニテ山田稻次(被告ノ姓名ヨリ馬一頭ヲ買取ル

此文章ハ覺書ニシテ契約證書ニアラサルナリ故ニ原告ハ馬ノ請合ヲ證明スルヲ得ベシ

○詐欺錯誤又ハ脅迫ニ因ツテ契約ヲ結ヒタル事

對手ノ詐欺若シクハ脅迫若シクハ雙方ノ錯誤ニヨリテ契約ヲ結ヒタルコトハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ベシ
詐欺及脅迫ハ契約ヲ取消スベキ効アレバ錯誤ハ其効ナシ右ハ第壹編

(七六)

成文契約

第六章ニ詳ナリ

○前起條件コンダクションレレイト

成文契約

成文契約ハ或ル前起條件ニ達スルマテ其効力ヲ停止スルコトヲ得ベシ此場合ニ於テ之レヲ證書ニ掲載セサルトキハ證書外ノ證據ヲ以テ之レヲ證明シ前起條件出來前ノ請求ヲ拒ムヲ得ベシ又契約證書ニ三年間家屋ヲ借受クル事ヲ記載セシモ其起算ノ時日ヲ掲ケサルノ場合ニ於テハ借家人ハ證書外ノ證據ヲ以テ家主ノ修繕ヲ加フルマテ其家賃ヲ拂ハサル約束アルコトヲ證明シ以テ其家賃ノ請求ヲ拒ムヲ得ベシ

成文契約ヲ以テ新發明品ノ專賣權ヲ賣買セシニ買主ハ口頭ヲ以テ第三者某之ヲ檢閲シテ有益ナルコトヲ保證スルニ非レハ該權ヲ買取ラサルコトヲ約セリ今此口約ハ前起條件ナル故ニ證書外ノ證據ヲ以テ

之ヲ證明スルヲ得ヘシ

契約人ノ内一方ノ者既ニ署名スト雖對手ノ署名スル迄契約ノ効力ヲ停止スル口約アルハ之ヲ證明スルヲ得ヘシ

○習慣

一種ノ商業若シクハ一地方特別ノ習慣ニ從ヒ結約シタルコトハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ

成文契約

「ロウ、ジヤルナル」第廿三卷女皇法庭三百十三葉ニ掲グルブラウン氏ヨリバーン氏ニ係ル訴訟ノ判文ニ曰ク契約ノ事柄ニ付キ定マリタル習慣アルハ契約人ハ其習慣ヲ黙諾シタルモノトス故ニ之ヲ證書ニ明記セスト雖證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシト

習慣ハ證書ノ明文ト調和スルヲ得ル場合ニノミ之ヲ採用スルヲ得若シ習慣明文ニ反對矛盾スレハ則チ習慣ヲ捨テ、明文ニ從フ而シテ習慣

(〇七)

ト明文ト相調和スルヤ將タ矛盾スルヤハ證書ノ解釋ニ屬スルカ故ニ之ヲ裁決スルハ判官ニアリ

成文契約

契約事項ノ中ヨリ習慣ヲ除去スルハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得サル故ニ須ラク之ヲ證書ニ明記スヘシ是レ習慣ハ暗ニ證書ノ明文中ニ含蓄スルヲ以テナリ「ラム」賣買ノ契約書ニ倉敷ノ事ヲ掲ケサル場合ニ於テ商業ノ習慣ニヨリ若干ノ倉敷ヲ拂フヘキコトハ證書外ノ證據ヲ以テ之レヲ證明スルヲ得ヘシト雖習慣ニ定リタル金額ヨリモ倉敷ヲ拂フコト多ク或ハ小キ口約アルコトハ之レヲ證明スルヲ得ス習慣ヲ以テ附屬ノ事實及ヒ證書ノ文言號標ヲ證明スルヲ得

○附屬ノ事實

烟草賣買ノ契約ニ見本ヲ以テ賣買スル習慣アルコトハ證書外ノ證據ヲ以テ證明スルヲ得ヘシ

成文契約

(一七)

成文契約ニ記載シタル仕拂^{ペイメント}ハ金圓ノ仕拂ヒヲ云フモノニシテ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スル能ハスト雖爲替手形又ハ約束手形ヲ以テ仕拂フノ習慣ハ之ヲ證明スルヲ得ベシ

荷物海上保險ノ契約ニ於テ甲板上ニ積込ミタル荷物及該條例ニ違背シテ積込ミタル荷物ハ之ヲ保險セス此習慣モ亦證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ

保險契約證書中船ニ關スル保險ノ期限ハ投錨後二十四時間荷物ニ關スル期限ハ安全ナル場所へ陸揚スルマテト明記スルルハ其投錨後二十四時間ヲ以テ期限トスルノ習慣ヲ證明スルヲ得ス何ントナレハ明文ヲ以テ習慣ヲ取除キタレハナリ

婢僕ノ解放ハ豫メ一ヶ月前ニ其由ヲ通シ置クカ若シクハ一ヶ月分ノ給料ヲ與フルトキハ何時タリトモ之ヲ解放スルヲ得此習慣ハ證書ニ

成文契約

記載セスト雖凡之ヲ證明スルヲ得ベシ又商業上ノ雇人ニ關シテハ自
 カラ其商業若シクハ其地方ニ行ハル、解約豫告ノ時日アリテ此時日
 ハ主人モ雇人モ共ニ默諾シテ契約シタルモノトス
 一週間若干圓ノ給料ニテ三ケ年間演技スヘキ座主ト俳優トノ契約ニ
 於テハ其給料ヲ給與スルハ開座中ノミニシテ閉座中ハ之ヲ給與セス
 此習慣アルコトハ亦證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ
 小作人ハ解約ノ後ト雖凡其期限前ニ植付ケタル作物ヲ收穫シ得ルノ
 習慣アリ亦其解約ノ時若干ノ金圓ヲ地主若シクハ新小作人ヨリ受ク
 ルノ習慣アリ此ニ習慣モ亦證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘ
 シ

小作ノ契約ニ於テモ他ノ契約ニ於ケル如ク明文ヲ以テ習慣ヲ取除キ
 タルトキハ之ヲ證明スルヲ得ス又小作證書ニ地主肥料ヲ田地ニ用ヒ

成文契約

タルコト及小作人ハ借り受ケタル時ト同一ノ有様ニテ田地ヲ戻スヘ
 キコトヲ明記シタル片ハ地主ニ於テ肥料ノ代金ヲ小作人ヨリ受ケル
 ノ習慣ヲ證明スルヲ得ス又前キノ小作人ハ解約ノ時肥料ヲ田地ニ入
 レ置キ地主或ハ新小作人ヨリ其代金ヲ受ケル習慣アレ凡若シ小作證
 書中其解約ノ時肥料ヲ入置クヘキコトヲ記載シ代金ノ事ヲ記載セザ
 ル片ハ契約人ニ於テ其習慣ヲ取除キタルモノトス
 定期仕拂ノ約束手形及爲替手形ニ付キ其仕拂場所ノ^{デイス、オプンレイス}宥恕時_日期限後
 ノ猶豫ノ時日ニ關スル習慣ハ亦證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ
 得ヘシ

○證書ノ文言及標號

若シ某商業若シクハ某地方ノ言語文章等普通ノ意義ト異ナル片ハ證
 書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ或ハ普通意義ノ解釋ニテ明

(四七)

際ナルコトモ亦尙ホ特別ノ意義ヲ證明スルヲ得ヘシ
證書ノ意義ヲ證明スルハ證書ヲ變更スルニアラス故ニ成文契約ハ證
書外ノ證據ヲ以テ變更スヘカテサル原則ニ抵觸スルコトナシ
右ノ規則ニ關スル適例ハスミス對ウキルソンノ訴訟ナリ該訴訟ニ於
テハ兎一萬匹ヲ其畜場ト共ニ貸與スル爲メ其契約書中ニ兎一萬疋ト
記載シタリ然ルニ習慣ニヨツテ一萬疋ハ一萬二千疋ヲ指示スルコト
ヲ證明スルヲ得タリ

成文契約

荷物海上運送ノ契約證書中ニホルチツク海ノ内何處ノ港ニテモ云々
ト記載シタル片ハ其境外ニアルフヒンランド灣ノ如キモ商業上ノ習
慣ニヨリテ之ヲ境内トスル旨證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得
ヘシ又下等ノ石油ハ代價若干ヲ減スヘシトアル片習慣上如何ナル石
油ヲ以テ下等石油ト爲スヤモ亦證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ

得ヘシ

一日及一月ト稱スルハ商業上ノ習慣ニヨリ曆ノ一日及一月ト同シカ
ラサルコトヲ證明スルヲ得ヘシ

○契約人及契約ノ目的物ニ相違ナキ事

成文契約

(五七)

契約ニ依テ請求ヲナス者及其請求ヲ受クル者ハ證書ニ記載スル人ト
同一ノ人ナリヤ否ヤ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ但シ
姓名ノ同一ナル片ハ一應ノ證據タルニ過キス
證書ニ契約人ヲ列記シタル片ハ證書外ノ證據ヲ以テ其他契約人アル
コトヲ證明スルヲ得ス

契約人ハ證書外ノ證據ヲ以テ他人ノ代理人トシテ締結シタルコトヲ
證明シ其本人ニ權利ヲ得セシメ又ハ義務ヲ負ハシムルコトヲ得ヘシ
然レモ之ヲ以テ自ラ責任ヲ免ル、ヲ得ス

契約ニ依リ授受スル物品及其他契約ノ目的物等ノ證書ニ記載スルト
コト相違ナキヤ否ヤモ亦證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘ
シ

○内裏曖昧及外表曖昧

文義ノ曖昧タルコトニ二種アリ左ノ如シ

第一證書文面ノ曖昧ナルモノ之ヲ外表曖昧ト云フ バイデントアンビギニイタイ

第二證書ノ文面ニテハ不明瞭ナルコトナシト雖モ實際ニ適用スル

ニ當リ曖昧ナルモノ之ヲ内裏曖昧ト云フ

今遺囑證書中某地所ハ甲某ノ數子ノ中一人へ贈與スヘシトアル片ハ
數子ノ中第何子ヲ指示スルヤ文面ニテハ明ナラス是レ則チ外表曖昧
ニ屬スルモノナリ又吾カ東京早稻田ニ於テ處有スル千三百坪ノ地所
ハ乙ニ贈與スヘシトアル片ハ文面ニテハ一應明瞭ナレモ若シ遺囑者

成文契約

早稻田ニ千三百坪ノ地所ニケ所ヲ處有スル片ハ其中何レヲ贈與スル
ノ意ナリシヤ明瞭ナラス故ニ是レハ則チ内裏曖昧ニ屬スルモノナリ
内裏曖昧ハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘク外表曖昧ハ之
ヲ證明スルヲ能ハス

○法律ニ違背シタル事

契約ノ事項法律ニ抵觸スル片ハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ
得ヘシ

○證書ノ解釋

契約證書ヲ解釋スルハ法官ノ職ニシテ其目的ハ契約人ノ意志ヲ探知
スルニアリ

證書ノ文言ハ穩當ナル意義ヲ以テ解スヘシ設令ハ酒屋エ一樽送ル
ヘシト注文スル片ハ則酒ヲ注文シタルモノニシテ樽一箇ヲ注文シタ

成文契約

ルニ非ラスト解釋シ又地所賣却ノ周旋ヲ依頼シ其謝禮トシテ買主ヨリ得ヘキ代金ノ高ノ某分ノ一ヲ與フヘシト約スルトキハ代金ヲ請取タル後ニ之ヲ與フルノ意ナリト解釋スヘシ

成文契約

契約ハ無効トナルヘキ意義ニ解釋スルヨリハ寧ロ有効トナルヘキ意義ニ解釋スヘシ例ヘハ我職務ヲ悉皆讓與スヘシト約スルルハ法律ニ於テ讓與ヲ許シタルモノノミヲ包含スト解釋スルカ如シ
證書ノ文言ハ總テ普通ノ意義ヲ以テ解スヘシ但シ證書ノ全文ニヨルニ特別ノ意義ニ用ヒタルコト明ナルカ又ハ習慣ニヨリ特別ノ意義ヲ有スルカ又ハ普通ノ意義ヲ以テ解スヘカヲサレ時ハ此限ニアラス甲者乙者ニ約シテ曰ク余ハ君ニ年金若干圓ヲ與フヘシ然レモ若シ余ノ妻乙者ノ妹第三者ナル男子某ト交際シ同伴シ若シクハ不義ヲナシタルルルハ此契約ヲ無効トスヘシト此附帶ノ契約ノ文言ニヨレハ甲者ノ

妻一度タリモ第三某ヲ訪フコトアレハ該契約ハ無効タルヘシト解釋スヘシ

成文契約

證書ヲ解釋スル者ハ其一言一句ニ拘泥セス全文ノ意義ヲ察シテ之ヲ解釋スヘシ故ニ今甲者乙者ヘ地所ヲ賣却シ拙者ノ有スル權利ハ悉皆貴殿ヘ讓與スト云フト雖モ悉皆ノ權利トハ其地所ニ關スル權利ノミヲ包含シタルモノトス
證書ハ契約ヲ結ヒタル場所ノ法律ニ依テ解釋スヘシ幼者某アリ蘇國ニ於テ契約シ英國ニ於テ訴ヘラレタリ登時判官裁決シテ曰ク蘇國ニ於テ幼年者ニ契約ノ責ヲ負ハシムル法律アリヤ否ヤハ事實ノ問題ナルカ故ニ本官ノ判決シ得ヘカヲサルモノナリ然レモ若シ蘇國ニ於テ幼年者ト雖モ丁年者ト等シク契約ノ責ニ任スル法律アリトセハ當被告ハ原告ノ請求ニ應セサルヘカラスト

證書ハ爲約者ノ利益ニ反對シ受約者ノ利益ノ爲メニ解釋スヘシ例ヘ
ハ運送會社ソノ責任ニ付キ二種ノ廣告ヲナシタルハ兩廣告ノ内尤
モ不利益ナル責任ヲ負フカ如シ但シ此解釋規則ハ以上ノ規則ヲ適用
シタル後ニアラサレハ之ヲ適用スルヲ得ス

第五章 詐欺條例

第壹款 契約ノ種類

詐欺條例ノ條款多シト雖就中契約ニ關スルモノハ第四節及第十七節
ナリ今左ニ其二節ヲ抄出ス

第四節ニ曰ク被告人トナスヘキ人又ハ其代人ノ署名シタル合意ノ證
書若シクハ其覺書若クハ其手扣アルニ非レハ遺囑管財人又ハ法律上
ノ管財人等自己ノ財産ヲ以テ損害ヲ償却スヘキ約束ノ責ニ當ラシム
イダア

詐 欺 條 例

ル爲メ又ハ他人ノ負債過失或ハ不行跡ノ責ニ任スヘキ約束ノ責ニ當
ラシムル爲メ又ハ婚姻ヲ約トスル合意ノ責ニ當ラシムル爲メ又ハ
地所及ヒ地所ノ附屬物ニ關スル契約或ハ賣買ノ責ニ當ラシムル爲メ
結約ノ時ヨリ一年間ニ履行スヘカラサル合意ノ責ニ當ラシムル爲メ
之ヲ出訴スルヲ得ス

第十七節ニ曰ク代價十磅若シクハ十磅以上ノ物品ヲ賣買スル契約ハ
買主買品ノ一部ヲ受取り若シクハ手附金ヲ置キ若シクハ確證物ヲ渡
スカ然ラサレハ被告人タルヘキ者又ハ其代人ノ署名シタル覺書若シ
クハ手扣アルヲ要ス若シ之レナケレハ其契約ハ有効ナラス

○管財人自己ノ財産ヲ以テ損害ヲ償却スル約束

管財人ノ責任ハ死者財産ノ高ヲ限リトシテ其義務ヲ盡スニアリ然レ
モ管財人ハ別ニ自己ノ財産ヲ以テ死者ノ義務ヲ盡スヘキ契約ヲナス

ヲ得此契約ハ詐欺條例ニ從フヘキ者ニシテ契約ニ必用ナル普通要件ノ外別ニ該條例ニ定メタル要件ヲ具備スルコトヲ要ス
右ノ如ク管財人モ他ノ契約ト等シク約束ナキ片ハ無効タルヘシ但シ管財人ノ資格ヲ以テ管財人ヲ訴フルコトヲ止ルハ其約束タルヲ得ヘシ

○他人ノ負債過失若シクハ不行跡ノ責ニ任スル約束

此類ノ契約ニハ爲約者ノ外ニ爲約者ト同一ノ責任ヲ負フ者アリ例ヘハ甲者乙者ハ物品ヲ賣渡シ乙者其代金ノ負債主トナルトキ丙者甲者ヘ對シテ乙者ノ仕拂ヲ保證スルカ如シ此場合ニ於テハ爲約者ナル丙者ト負債主ナル乙者トハ同一ノ責任ヲ負フト雖トモ甲者物品ヲ乙者ニ與ヘ丙者代金ヲ甲者ヘ仕拂フコトヲ約スルトキハ爲約者ナル丙者ト同一ノ責任ヲ負フ者ナシ故ニ此契約ハ詐欺條例ニ觸レサルモノト

詐 欺 條 例

ス

詐 欺 條 例

不必要ノ物品ヲ幼年者ニ賣渡シタル片第三者賣主ヘ對シテ代金ノ仕拂ヲ保證スト雖元來幼年者ニ責任ナキカ故ニ是亦詐偽條例ニ觸レサルモノトス甲者物品ヲ乙者ヘ賣渡セシニ乙者ハ直ニ受取ラスシテ之ヲ丙者ヘ賣渡セリ而シテ乙者未タ代金ヲ甲者ヘ仕拂ハサルヲ以テ甲者ハ其物品ヲ占有シテ之ヲ乙者又ハ丙者ヘ引渡サス依テ甲者ト丙者ト相談ノ上甲者ハ物品占有ノ權ヲ放棄シ丙者ハ之ニ報スルニ乙者ヨリ渡スヘキ代金ヲ仕拂フコトヲ約セリ而シテ此契約モ亦條例ノ限ニ非ラストス

引受クヘキ他人ノ負債過失若シクハ不行跡ハ必ラスシモ過去ナルモノニ限ラス未來ニ屬スルモノモ亦條例ノ限内ナリトス故ニ他人ノ保證人ト爲ルヘキ契約モ保證ト等シク條例ニ從フヘキモノトス然レ

詐欺條例

他人ヲ保證人トナスノ契約ハ條例外ナリトス
 義務者ノ義務ヲ免釋スルコトヲ約因トシテ第三者ノ權利者ニ對シ義務者ノ義務ヲ盡ス可キ約束ハ其約束ト共ニ義務者ノ責任ヲ消滅スルカ故ニ條例ノ限内ニアラストス
 條例ニ所謂契約トハ第三者ノ權利者ニ對シテナシタル契約ナリ故ニ第三者ヨリ義務者ヘ對シテ保證人トナルコトヲ約束スルモ條例ノ關係スル所ニアラス
 刑事ニ於テ保釋料ヲ納メテ被告人ノ出庭ヲ保證スルハ被告人ニ於テ爲約者ト同一ノ責任ナキカ故ニ條例外ナリトス
 過失又ハ不行跡ト稱スルハ契約上ニ非ラスシテ損害償金ヲ拂フヘキ義務ヲ生スル行爲ヲ云フナリ假令ハ故ナク他人ノ馬ヲ創傷スルカ如シ

詐欺條例

一千八百五十六年ニ發シタル商法修正ノ布告ハ他人ノ負債過失若シクハ不行跡ノ責ニ任スル約束モ詐欺條例ニ必要ナル他ノ要件ヲ具備スル片ハ有効ナルモノト定メタリ但證書ニ約因ヲ掲ケサルモ亦同シ
 ○婚姻ヲ約因トスル合意
 男女相共ニ夫婦トナルヘキ約束ハ條例ノ限ニ在ラス其故條例ニ所謂契約ハ婚姻ヲ約因トシ金圓又ハ物品ヲ與フル契約ノ類ヲ云ヘハナリ
 ○地所又ハ地所ノ附屬物ニ關スル契約及賣買
 英國法律ニ於テ地所ト稱スルモノハ土地ト家屋トヲ云フナリ地所ノ賣買地所ノ貸借地所明渡ノ契約及ヒ煉瓦製造ノ營業株ト其營業ニ附屬スル地所賣買ノ契約等ハ渾テ條例内ノ契約ナリトス
 家屋貸借中借家人ト家主トノ間ニ於テ家主ハ若干圓ノ金ヲ以テ其家ノ修繕ヲナスヘク借家人ハ家賃ノ外ニ年々若干圓ヲ地主ヘ拂フヘキ

詐欺條例

コトヲ約束スルトセンニ此約束ハ條例ノ限内ニアラス何ントナレハ借家人ハ之カ爲メ更ニ地處ニ關スル權利ヲ得ルコトナク又家主ノ年々領收スル金圓ハ家賃ニモアラス亦地所ニ屬スルモノニモ非レハナリ

一家屋内ノ一室ヲ貸借スル契約ハ條例内ナリ然レモ族宿又ハ下宿ノ契約ヲナシ特ニ一室ヲ貸與セサルモハ條例ノ關スルトコロニアラス地所附屬物ノ中借地人其明渡ノ節ニ持去ルヲ得ルモノト雖地所ニ附着スル間ハ條例ニ從フヘキモノトス

未タ收穫セサル芋又ハ穀物未タ刈取ラサル草未タ伐リ倒サ、ル樹木及未タ採取セサル菓實等ニ關スル契約及賣買ハ條例ニ從フモノトス

○結約ノ時ヨリ一ケ年内ニ履行スヘカラサル契約

此項ノ所謂契約ハ一ケ年内ニ履行シ了ラサルモノナリ即チ一年以上

詐欺條例

雇入ノ契約及來ル某日ヨリ一年間雇入ル、ノ契約ハ條例内ナリトス然レモ本日ヨリ一年間雇入ルノ契約ハ條例外ナリ又一年内ニ履行シ得ヘキ契約及一年内ニ起ルカ一年後ニ起ルカ豫メ計リ難キ前起條件アル契約ハ條例外ナリトス

某船歸港ノ節金若干圓ヲ拂フトノ契約ハ某船ニ一ケ年内ニ歸港シ得ヘキモノナレハタトヒ二年ヲ經テ歸港スルモ條例ニ定ムル要件ヲ具備スルヲ要セス

婚姻ヲナス片金若干圓ヲ與フヘシトノ契約モ亦前段ト同シタトヒ一年内ニ結婚セスト雖條例ノ關スル所ニアラス又遺囑ニ依テ金圓ヲ贈與スルノ契約モ之ニ同シ

又五年間年金若干圓ヲ與フヘシトノ契約ハ條例内ニシテ畢生間年金若干圓ヲ與フヘシトノ契約ハ條例外ナリトス

詐欺條例

一方ニ於テハ一年内ニ履行シ得ヘキモ一方ニ於テハ一年後ニアラサレハ履行スヘカラサルノ契約ハ條例外ナリトス例ヘハ物品ノ賣買ニ於テ賣主ハ六ヶ月内ニ物品ヲ引渡シ買主ハ十八ヶ月ノ月賦ヲ以テ代金ヲ拂フ契約ノ如シ

○代價十磅以上ノ物品ヲ賣買スル契約

條例第十七節ニ所謂契約ハ代金十磅若シクハ十磅以上ノ物品ヲ賣買スル契約ナリ

テナターデン侯ノ布告ハ條例第十七節ニ依テ防遏セント欲スル弊害ノ賣買未行契約ニモ存スルコトヲ述ヘ該節ヲ敷延シテ未來ニ賣品ヲ引渡スヘキ場合結約ノ時賣品未タ存在セサル場合結約ノ時賣品未タ賣主ノ手ニ入ラサル場合及ヒ賣品結約ノ時未タ引渡ノ準備整ハサル場合ニモ論及セリ

第二款 詐欺條例ニ於テ定メタル要件覺書並ニ手扣

詐欺條例ニ所謂覺書若シクハ手扣トハ盡ク契約ノ條款ヲ掲ケタルモノヲ云フナリ契約ノ一部ノミ成文ナリト雖之ヲ以テ詐欺條例ノ制裁ヲ免ル、ヲ得ス

覺書及手扣ハ訴訟前ニ認ムルコトヲ要ス然レモ一時ニ認ムルト數回ニ認ムルトハ契約人ノ隨意タルヘシ又一葉ノ紙ニ認ムルモ數葉ノ紙ニ認ムルモ勝手タルベシ但シ數葉ニ認メタル片ハ其文面ニ於テ數葉相互ノ關係明瞭ナルヲ要ス

第三者ヘ宛テタル書類ト雖モ契約ノ全部ヲ掲ケタル片ハ條例ノ所需ニ應スルヲ得ヘシ

覺書若シクハ手扣ニハ契約人雙方ノ姓名ト契約ノ事項トヲ掲載スルコトヲ要ス此二點ニ付テハ左ニ其先例ヲ示ス

詐欺條例

(〇九)

詐欺條例

覺書ニ某品何箇代金何圓ニテ甲者ヨリ買取ルトアリトモ買主ノ誰タルヲ知ルヘカラサレハ之ヲ不充分ナル覺書トス然レモ買主買主ノ帳簿ニ買取リタルコトヲ記シテ署名シ賣主ノ姓名其帳簿ノ表紙ニ記載シアルハ充分ナル覺書ナリトス

大理石ノ賣買ニ於テ甲者乙者カ其處ニ於テ買取リシ大理石ヲ買受ク「トアルハ契約人雙方ノ姓名記載シアルカ如クニシテ乙者ノ姓名ハ賣主トシテ記載シタルニアラス故ニ之ヲ不充分ナリトス

代理人自己ノ姓名ヲ署シタルハ其本人ヲ被告トスル場合ニ限り證書外ノ證據ヲ以テ署名者ノ代理人タルコトヲ證明スルヲ得ヘシ

契約セシ目的物及ヒ雙方ノ者ノ爲スヘキコト及其爲スヘカラサルコトハ覺書ノ文面ニ明瞭ナルコトヲ要ス

賣買品ノ代價モ亦契約ノ事項ノ一ナルヲ以テ之レヲ覺書ニ記載セサ

ルヘカス

〇署名

詐欺條例

(一九)

署名スヘキ者ハ被告人タルヘキ者ニ限り原告人タルヘキ者ニ及ハス故ニ條例ニ依ルニ契約人ノ内一方ニ訴權アリテ一方ニ之レ無キコトアルヘシ

自ラ姓名ヲ記スル能ハサル者ハ自ラ筆端ヲ握リ他人ヲシテ之ヲ記サシムルモ可ナリ

身分資格等ヲ記載スルニ止マルモノハ不充分ナリトスタトヘハ「某殿」ヘ母ヨリ「ト記載シタルカ如シ

又富田吉次ト記スヘキヲ富吉ト記スルカ如キ姓名ノ頭字ヲ一字ツ、記載スル覺書若シクハ手扣ノ充分ナルモノナリヤ否ヤニ付キテハ未タ判決ノ先例ヲ見ス

署名ハ自ラ筆ヲ執テ姓名ヲ文書ノ紙尾ニ記載スルヲ以テ正例ト爲セ
凡之ヲ印刷ニ付スルヲ得ヘク亦之ヲ文書ノ冒頭或ハ文中ニ記載スル
モ妨ナシ代理人ノ署名ニ付キテハ代理人ノ章ヲ參考スヘシ

○承領

條例ニ於テハ必ラス承領ト請取ノ二者ヲ要ス

見本ヲ以テ賣買スル片ハ其見本ヲ賣買品ノ一部トシテ承領スルヲ得
ヘシ

今賣買結了ノ後買主ハ賣主ノ倉庫ニ往キ見本ヲ請取り其目方ヲ量リ
其代價ハ物品悉皆請取濟ノ上之ヲ仕拂フヘキコトヲ約シ去レリ此場
合ニ於テハ充分ナル承領アリタルモノトス

又實際物品ヲ授受セスト雖凡其承領ヲ認定スルコトアリ此認定ハ陪
審官當時ノ事情ニ依テ爲スヘキモノトス

例 條 欺 詐

買主買品ニ付キ自ラ所有者タレハ正當ニシテ所有者ニアラサレハ不
正ナル所爲ヲナシタル片ハ其承領ヲ認定スルヲ得ヘシ例ハ買主未
タ物品ヲ受取ラスシテ之ヲ第三者へ賣却シタル片又ハ第三者ヲ物品
所在ノ家へ誘引シ之ヲ賣却センコトヲ喚諾シタル片ノ如シ

例 條 欺 詐

甲者車ノ製造ヲ乙者へ頼ミ其製造中金具ヲ送り又人ヲ遣ツテ補助セ
シメタルヲ以テ乙者ハ之ヲ以テ甲者其所有權ヲ行フタリト主張セリ
然レ凡法官ハ甲者ノ金具ヲ送り又人ヲ遣テ乙者ヲ補助セシメタルハ
未タ車ヲ授受スヘキ時ニ至ラサルヲ以テ其承領ヲ認定シ得サルモノ
ト判決セリ

物品承領ノ認定ハ買主物品ヲ検査シタル後若シクハ検査シ得ヘキ時
日ヲ經過シタル後ニアラサレハ爲スヘカラサルモノトス但シ買主所
有者ノ所爲ヲナス片ハ此限ニアラス

例 條 欺 詐

今買物品ヲ注文シ賣主之ヲ送致シタル片買主直ニ之ヲ検査シ其質ノ甚タ粗惡ナルヲ見テ之ヲ返還セリ此場合ニ於テハ未タ承領ナキカ故ニ買主ノ物品ヲ返還シタルハ決シテ不當ニアラス右ノ例ニ於テ請取ハ承領ノ前ニアリト雖モ亦其承領ノ後ニアルコトアリ例ヘハ買主買前ニ賣主ノ倉庫ニ至リ物品ヲ検査シテ賣買ヲナシタル片ノ如シ數種ノ物品ヲ賣買シタル片其中ノ一種ヲ承領スレハ他種ノ物品ニ付キテモ亦其効アリ

物品ヲ賣買シ或ル未必條件ノ發シタル片其物品ヲ戻スノ契約ニ關シ其初メ一度承領スル片ハ其賣戻ノ片ニ於テ再ヒ承領スルヲ要セス

○請取

請取ルヘキ賣買品ハ買主ノ手ニアルコトアリ第三者ノ手ニ在ルコトアリ亦賣主ノ手ニ在ルコトアリ今之ヲ左ニ論スヘシ

例 條 欺 詐

○物品買主ノ手ニ在ル場合

物品買主ノ手ニ在ル場合ニ於テハ買主受託者ノ資格ヲ棄テ、所有主ノ資格ヲ以テ物品ヲ占有シタル片其請取ヲナシタルモノトス但シ如何ナル行爲ヲ以テ資格變更ノ確證ト爲スヘキヤハ事實ノ問題ニシテ陪審官ノ決定スヘキモノトス

甲者乙者ヨリ預リタル物品ヲ買取り新聞紙ヲ以テ更ニ之ヲ賣却セン

丁ヲ廣告シタル片ハ二人ノ間已ニ請取ヲ終リタルモノトス

○物品第三者ノ手ニ在ル場合

物品第三者ノ手ニ在ル片ハ第三者賣主ノ爲メニ之ヲ占有スルコトヲ止メ買主ノ爲メニ之ヲ占有スルコトヲ賣主買主及第三者ニ於テ一致シタル片ハ請取ヲナシタルモノトス此規則ニ依テ推定スル片ハ賣主物品ヲ預ケタル人へ該品ハ買主某へ賣渡シタレハ爾後某ノ爲メ占有

スヘシト通知スト雖預主之ヲ承諾スルニアラサレハ未タ之ヲ以テ請
取ヲナシタリト云フヲ得サルヘシ物品第三者ノ家屋内ニアリト雖第
三者受托者トシテ之ヲ占有スルニアラサレハ賣主其物品ヲ買主ノ措
置ニ任シタルトニ於テ其請取ヲナシタルモノトス

○物品賣主ノ手ニ在ル場合

物品賣主ノ手ニ在ル場合ニ於テ買主直ニ其物品ヲ持去ルトハ無論
其時ニ請取リタルモノトス又運送會社ハ物品ヲ渡ストハ之ヲ以テ請
取ヲ終リタルモノトス

買主物品ヲ持去ラスト雖賣主所有主タルノ資格ヲ變シテ受托者ト爲
ルトハ請取ヲナシタルモノトス

又甲者乙者ハ馬一頭ヲ賣渡シ未タ實際ノ授受ヲ爲サス而シテ其馬ヲ
借用セリ此場合ニ於テハ請取ヲナシタルモノトス

詐 欺 條 例

○確證物及内拂

確證物トハ賣買ヲ確實ナラシメンカ爲メニ買主ヨリ賣主へ與フルモ
ノヲ云フ羅馬ニ於テハ指環ヲ授クルヲ例トセリ英國ニ於テモ往古ハ
一ノ習慣アリ然レハ近來ニ至リ其風全ク廢レテ確證物ト内拂トノ區
別ヲナサハルニ至レリ
賣主ノ買主ニ對スル負債ト其賣品ノ代金ト相殺スル契約ハ之ヲ賣
買契約ト同時ニ結ブトハ其契約ノ一部分トナルカ故ニ之ヲ内拂ト見
做スヲ得ス然レハ賣買後又ハ賣買ト特別ニ結ビタル相殺ノ契約ハ内
拂ノ効アルヘシ

第六章 承諾ノ効力ヲ毀傷スル者

第壹款 錯誤

第壹項 總說

○錯誤ト詐欺脅迫等トノ關係

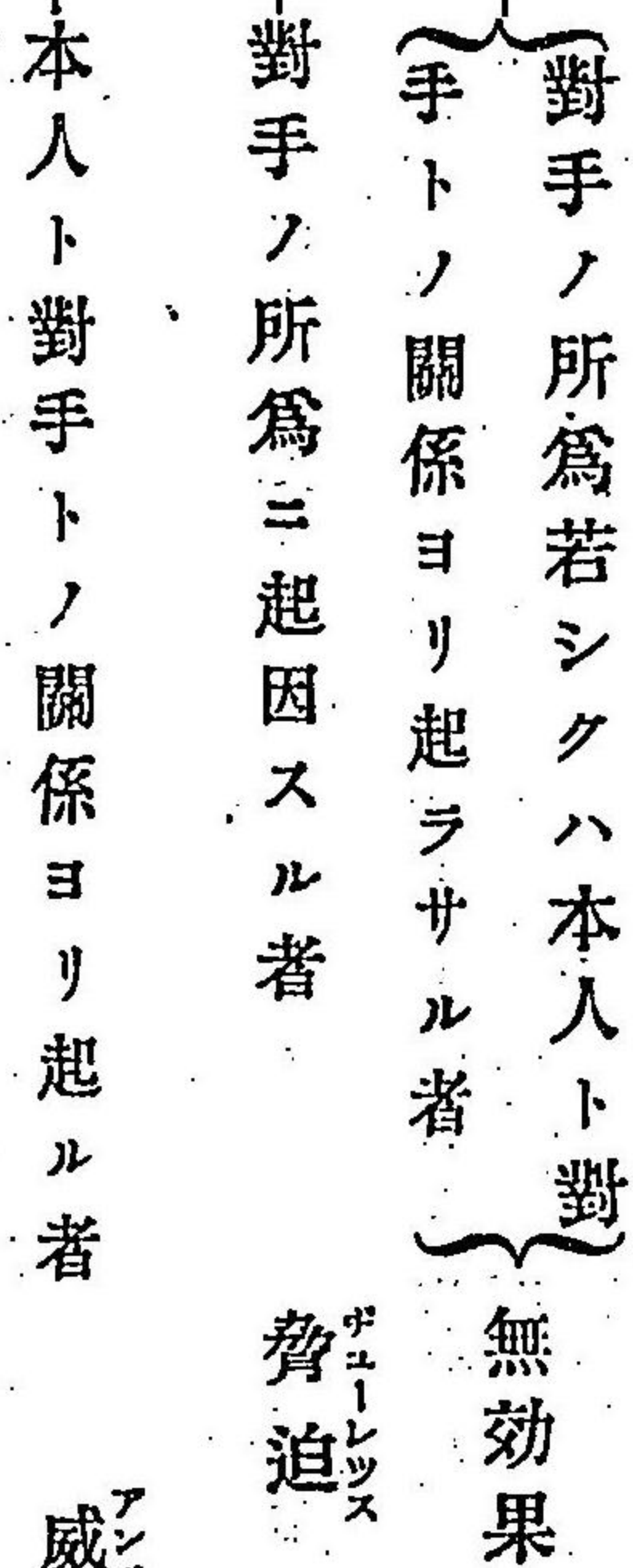
契約ハ契約人自由ノ心神ヲ以テ完全ナル承諾ヲ爲スニ非レハ其効ナシ而シテ承諾ノ自由ハ畏懼ノ爲メニ拘束セラル、コトアリ又承諾ノ完全ハ承諾者ノ契約ニ關スル事實ヲ知ラサルコト或ハ之ヲ誤聞シタルコトノ爲メニ毀傷セラル、コトアリ今之ヲ分拆スレハ左ノ如シ

錯 誤 總 說

不知 イッヂレンス



畏懼 ズエア



錯 誤 總 說

事實ノ不知ニ二種アリ第一種ハ事實ノ存在スルヲ知ラサル是ナリ即チ桑港ヨリ横濱へ來航スル船舶ノ太平洋海ニ於テ沈没シタルヲ知ラスノ其船内ノ荷物ヲ賣買スヘキ契約ヲナスルノ如シ此場合ニハ實ニ荷物ノ沈没シタルコトヲ知ラサルナリ第二種ハ事實ヲ誤聞スル是ナリ蓋シ誤聞ハ不知ト異ナルカ如クナレ是レ亦一種ノ不知ナリタトヘハ船ハ沈没シタルニ荷物ハ他ノ船ニ積換ヘ無難ナリシト聞キ其荷物ヲ賣買セシトコロ其荷物ハ實ニ船ト共ニ沈没シタルルノ如シ此場合

mistake

(-0-)

錯 誤 總 說

對主故意ナキモ其所爲ノタメニ承諾人事實ヲ知ル能ハサリシ片ハ之ヲ虛陳ト云フ虛陳ニ因ツテ結ヒタル契約ハ之ヲ信シタル人ノ意ヲ以テ其効力ヲ消滅スルヲ得ルコト多シ

對手承諾人ヲ脅嚇シ承諾人ノ力爲メニ畏懼ノ念ヲ發シタル片ハ之ヲ脅迫ト云フ脅迫ニ制セラレテ結ヒタル契約ハ脅迫ニ制セラレタル人ノ意ヲ以テ其効力ヲ消滅スルヲ得ヘシ

承諾人常ニ對手ニ其身ヲ依頼シ對手承諾人ノ身神上ニ威力ヲ逞フスルヲ得ヘキ關係アル片ハ之ヲ威迫ト云フ威迫ニヨリテ結ヒタル契約ハ威迫サレタル者ノ意ヲ以テ其効力ヲ消滅スルヲ得ベシ例ヘハ一男子アリ父母兄弟ナキ溫柔虛弱ノ女子ヲ誘ヒ遠ク外國ニ同遊シ其婦女子アリ婚姻ノ約束ヲナスカ如シ此場合ニ於テハ其婦女對手ニ威迫セラレ畏懼シテ結約セシ者ト見做スヲ以テ對手ニ於テ其威迫セサリシ充分

(00-)

錯 誤 總 說

ニ於テハ荷物ノ沈没シタル事實ヲ知ラスシテ他ノ不實ナル事即チ積換ヘタル事ヲ知リタルナリ荷物積換ノコトヲ聞クト聞カサルトハ其差異アレハ荷物ノ沈没シタル真正ノ事實ヲ知ラサルコトニ於テハ第一種第二種共ニ異ナル所ナシ

對手ノ所爲ニアラスシテ真正ノ事實ヲ知ル能ハサリシ片ハ之ヲ錯誤ト云フ錯誤ハ契約ノ効力ニ影響スルコトナシ然レハ錯誤ノ爲メニ合意ヲ妨ケラルハコトアリ亦真正ノ合意ヲ言語文章ニテ表明セザルコトアリ第一ノ場合ニ於テハ契約成立セス第二ノ場合ニ於テハ證據法ニ從ヒ正誤スルヲ得ヘシ

對主故意ヲ以テ承諾人ノ事實ヲ知ルコトヲ妨碍シ承諾人ノ力爲メニ其事實ヲ知ル能ハサル片ハ之ヲ詐欺ト云フ詐欺ニ因ツテ結ヒタル契約ハ被欺者ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得ヘシ

(二〇一)

ナル證據ヲ舉グルニアラサレハ其婦女ヲシテ其約束ヲ取消スヲ得セシム

對手ノ脅迫又ハ威迫ノ爲メニアラサレハ畏懼ノ心ヲ發スト雖此契約ノ効力ヲ損傷スルコトナシ

○錯誤ノ効果

錯誤ハ契約ノ効力ヲ損傷セサルヲ以テ原則トス故ニ錯誤ニ因ツテ結ヒタル契約ハ契約人雙方ノ權利義務ヨリ生スル効果ヲ増減變更スルコトナシ

鐵道會社ニ於テ三歳以上ノ子供ヲ三歳以下ト誤認シ無賃ニテ乗車セシメシモコノ子ヲ安全ニ運輸スヘキ會社ノ義務ハ變更スルコトナシ賣主所有權不完全ノ物品ヲ賣渡スル買主之ヲ知ラスシテ買取リタルキトハ完全ナル所有權ヲ得ヘシ然レモ買主其情ヲ知ツテ買取リタル

錯 誤 總 說

(三〇一)

錯 誤 總 說

トキハ賣主ノ有スル權利ヲ得ルニ止マルヘシ
錯誤ハ法律上効果ナキヲ以テ之レアルカ爲メ無効ノ行爲ヲ有効ナラシムル能ハス

運送人買主買取ノ物品運送中賣主ヨリ其物品ヲ留置キ之ヲ買主ニ渡スヘカラストノ通知ヲ受ケシニ誤ツテ之ヲ買主ニ引渡セリ此場合ニ於テ物品ノ所有權ハ運送人留置ノ處分ヲナセシキト等シク留置ノ通知ヲ受ケシ時ヨリ賣主ヘ反歸セシモノトス
佛國郵便局ノ規則ニヨルニ一旦書狀ヲ投函セシ後ト雖此開函ノ前ニ當テハ其返還ヲ郵便局ニ請求スルヲ得ルアリ茲ニナリンヨリ爲換手形ヲ在英國ノ某ニ送ラント欲シ己ニ該手形ヲ郵便函へ投セシ者アリ然ルニ故アリテ之カ返還ヲ郵便局ニ請求セリ郵便局ハ固ヨリ規則ノ在ルアルヲ以テ直ニ之ヲ承諾セリ然ルニ書記ノ錯誤ニヨリ其書狀ハ

(四〇一)

英國ノ某方へ到着セリ此場合ニ於テ手形ノ所有權ハ依然銀行ニアリトス

○原則ノ例外

古ヨリ學者ノ信シテ錯誤ハ契約ノ効力ヲ毀傷スト信セシ場合ヲ舉ゲハ左ノ數項ノ外ニ出テサルヘシ

第一 合意ヲ妨ケ契約ヲ成立セシメサル錯誤此類ノ錯誤アル時ハ契約成立セス(本款第二項ニ於テ詳説スヘシ)

第二 合意シタル事項ヲ言語若シクハ文章ヲ以テ表明スル際ニ生スル錯誤此類ノ錯誤ハ之ヲ改正スルヲ得ヘシ(本款第三項ニ於テ詳説スヘシ)

第三 一切ノ權利ヲ放棄スト云フモ存在不知ノ權利ハ之ヲ其内ニ包含セシメサルモノトス(是レ元ト第二ノ一種ナリ)

錯 誤 總 說

然レモ以上ノ三項ハ例外ニ似テ非ナルモノニシテ第四項ノミヲ以テ眞ノ例外ナリトス

第四 事實ノ錯誤ニヨリ渡シタル金圓ハ之ヲ取戻スコトヲ得ヘシ

○事實ノ錯誤並ニ法律ノ錯誤

既ニ述説シ如ク國民ニシテ其國ノ法律ヲ知ラサルヲ以テ口實トナシ其罪ヲ免レ其義務ヲ避クルヲ得ハ政府人民ヲ統御スルノ道ナキカ故ニ法律上ノ錯誤ハ之ヲ錯誤ト見做サス然レモ推測シテ人盡ク天地間ノ事物ヲ知ルヘシト爲スヘカラサレハ事實上ノ錯誤ハ法律之ヲ救済スルヲ以テ原則トス而シテ此原則ハ一目シテ明瞭ナルカ如クナレモ大ヒニ之レカ制限及説明ヲナサ、ルヘカラス

(五〇一)

錯 誤 總 說

前項ニ述ヘシ原則ノ例外ノ第一ニ付キテ説カンニ契約人深ク法律ヲ誤リテ契約ヲ結ヒタルトキ法律上ノ錯誤ナリトテ之ヲ有効トスルヲ

錯 誤 總 說

得サルヘシ何ントナレハ契約人ノ意志合同セサレハ契約ノ成立スル
 コトナケレハナリ故ニ法律上ノ錯誤ニヨリ結ヒタル契約ノ義務者ハ
 錯誤ヲ口實トシテ義務ヲ免ルヘカラサルヲ以テ原則トスト雖此原則
 ナ適用スルニハ先ツ第一ニ雙方共ニ契約ヲ結ヒシコトアリヤ否ヤ即
 チ意志ノ同セシコトアリヤ否ヤ問ハサルヘカラス
 各人一巳ノ權利ニ關スル錯誤ハ則事實ノ錯誤ナリタトヘハ甲者法律
 ニ精シカラサルヨリ自己ノ財産ヲ乙者ノ財産ト誤認シ乙者ヨリ買取
 タルカ如シ
 前項第二ノ例外ニ付キテモ亦前ニ述ヘシ原則ニ制限ナサ、ルヘカ
 ラス故ニ甲乙兩人契約ヲ結ヒ丙者ヲシテ證書ヲ認メシムル片丙者法
 律上ノ錯誤ニヨリ該契約ト異リタル證書ヲ認ムル片ハ其錯誤ヲ改正
 スルヲ得ヘシ

錯 誤 總 說

又第三ノ例外ニ付キテモ其説明ヲナスヲ要ス即チ法律ノ錯誤ニヨリ
 權利ヲ放棄シタルトキハ其放棄ヲ有効ナラシメサリシ先例アリ又一
 ノ事物ノ上ニ有スル權利ノ有無大小分明ナラサル片其有無大小ニ拘
 ハラス悉皆其權利ヲ放棄シタルトキハタトヒ法律上ノ錯誤アリト雖
 其放棄ハ取消スヘカラサルモノトス
 二人ノ遺囑被贈與人法律學者ノ鑑定ニ從ヒ贈與セラレタル財産ヲ兩
 人ニ分配シタルニ其後一人ハ鑑定ニ誤謬アル件ヲ以テ管財人並ニ他
 ノ被贈與人ヲ訴ヘ出テタリ然レモ原告ノ請求ハ相立タスト判決セラ
 レタリ又一ノ負債主將ニ身代限ヲナサントスルニ際シ其債主ノ内一
 人ヲ除キ餘ハ皆共議ノ上各々貸金幾分ノ一ヲ取り立テ殘額ヲ免除ス
 ヘシト約束セリ然ルニ此共議ニ參セサル一人ノ債主ハ契約人ニアラ
 サルカ故ニ固ヨリ貸金ノ全額ヲ請求スルノ權ヲ保存スルヲ得ヘキニ

誤ツテ已モ亦他ノ債主ノ約束ニ束縛セラル、者ト信シ其約束ニ從ヒ配當金ヲ受取リタリ斯ルルハ其後ニ至リ法律上ノ錯誤ヲ口實トシ貸金ノ全額ヲ請求スルヲ得ス外國人某ハ英國ニ於テ結婚シデンマルクニ於テ離婚セリ而シテ其妻死去ノ後其妻ノ親屬ト通信セシ文中陰然離婚シタル以上ハ夫權ヲ放棄スルトノ意ヲ示セリ是デンマルクノ離婚ハ英國ニ於テモ有効ナリトノ誤見ヨリ出タルモノナリ故ニ判廳ハ夫其妻ノ法律上ノ管財人トナルノ權アリト判決セリ

第四ノ例外ハ契約ニアラスト雖モ契約ト親密ナル關係アルヲ以テ之ヲ左ニ論スハシ此場合ニハ法律上ノ錯誤ト事實上ノ錯誤トノ區別ハ確然分明ノ差異アリ故ニ如何程怠慢ノ過失アリトモ事實ノ錯誤ニヨリテ渡シタル金圓ハ之ヲ取戻スヲ得ヘク法律ノ錯誤ニヨリ渡シタル金圓ハ如何ナル場合ニ於テモ之ヲ取戻スヲ得ス

米國上等裁判所ノ判決ニ依ルニ流通證書約束手形爲換手形ノ類ヲ渡スハ金圓ヲ渡スト同一ナルヲ以テ法律ノ錯誤ニヨリ渡シタル流通證書ヲ以テ訴ヘラレタル被告人ハ法律ノ錯誤ヲ口實トシテ原告ノ請求ヲ拒ムコトヲ得ス然レモ此判決ハ其後英國裁判所ニ於テ確定セシ規則ニ反對セリ即チ英國ノ規則ニヨルニ右ノ場合ニ於テハ約因ノ無キ件ヲ以テ原告ノ請求ヲ拒ムコトヲ得ス

倒産裁判所ニ於テハ倒産者ヲシテ其法律上ノ錯誤ニヨリ財產辨理人ハ渡シタル金圓ヲ取戻スコトヲ得セシム是レ蓋シ辨理人ハ裁判所ノ役人ニシテ通常ノ人ト異ナレハナリ

第二項 合意ヲ妨クル錯誤

第二項ニ於テ論スヘキ錯誤

本章第壹節第壹款ニ於テ喚諾ノ事項ト應諾ノ事項トニ差異アルトキ

誤錯ルヲ妨ヲ意合

ハ契約ノ成立セサルコトヲ論セリ此場合ニハ既ニ言語文章ニ差異アルヲ以テ雙方意志ノ合同セサルコトハ言テ俟タス然ル本項ニ於テハ表面上双方ノ言語文章一致スルモ雙方ノ意志ハ合同セス隨テ契約ノ成立セサル場合ヲ論スルナリ

第一 一方ノ者一事ヲ承諾シ他方ノ者他事ヲ承諾シ錯誤ノ爲メニ雙方共ニ其意志ノ合同セサルコトアリ此場合ニアリテ雙方ノ爲シタル取引ハ無効ナリトス

第二 契約人雙方共ニ同一ノ事ニ合意スルモ其合意ハ契約主要ノ關係ヲ有スル事實ノ誤解ニ基ツクコトアリ是レ此誤解ナクンハ契約人其契約ヲ結ブノ意ナカリシナリ故ニ此場合ニ於テ契約ハ効ナキモノトス

第一ノ場合ニ於テハ一方ノ者ノミニ錯誤アルコトアリ雙方共ニ錯誤

誤錯ルヲ妨ヲ意合

アルコトアリ然レモ其契約ノ無効ナルハ錯誤有ルカ爲メニアラスシテ合意ナキカ爲メナリ故ニ其錯誤ハ一方ニ在ルト雙方ニ在ルトヲ問フコトナシ

第二ノ場合ニ於テハ雙方共ニ錯誤ナケレハ其契約ハ有効ナリトス以上二種ノ錯誤ハ共ニ契約ヲ無効トナスモノナリ今之ヲ契約ニ効果ヲ生スルモ未タ契約ヲ無効トスルニ足ラサルノ錯誤ト區別センカ爲メ稱謂シテ本源ノ錯誤ト云ヒ本項中左ノ順次ヲ逐ヒ以テ其錯誤ヲ論セント欲ス

一 取引ノ性質ニ關スル本源ノ錯誤

二 對手ニ關スル本源ノ錯誤

三 契約ノ目的物ニ關スル本源ノ錯誤及取引ノ性質ニ關スル本源ノ錯誤

此類ノ錯誤ニ關スル適例ハソロウグードノ詞訟ナリ此詞訟ニ於テハ
 甲者文盲人ナル乙者ノ面前へ證書ヲ差出シ依頼シテ曰ク是レ貴殿受
 取ルヘキ地代ヲ免除スルノ證書ナレハ宜シク之ニ捺印スベシ而シテ
 乙者ハ曰ク其證書ニ相違無クンハ捺印スベシトテ之ニ捺印シ其證書
 ナ甲者へ渡セリ然レ其後乙者ハ其證書實ハ己レノ甲者ニ對シテ有
 スル權利ヲ皆免スルノ證書ナリシコトヲ發見シ直ニ之ヲ出訴シ遂ニ
 其證書ヲ無効トスルヲ得タリ
 右ノ詞訟ニ於テハ證書ヲ讀ミ聞カセヌ唯タ之ヲ説明セシノミナリ故
 ニ其效ナシ證書ノ文言ト異ナリタル事ヲ讀ミ聞カセルモ亦之ニ同シ
 契約人證書ノ讀ミ聞カセ及ヒ其説明ヲ對手ニ依頼セスシテ署名捺印
 スルトキハ證書文言ノ誤解或ハ證書文言ヲ知ラサリシコトヲ以テ其
 義務ヲ免ルハヲ得ス

爲換手形ノ仕拂人證書ヲ某氏(被告)ノ許へ持來リ依頼シテ曰ク此證書
 ハ保證證書ナリ何卒署名ナシ呉ルヘシト而シテ某氏ハ其文言ヲ見ス
 直チニ之ニ署名セリ然ルニ其證書ハ保證證書ニアラスノ爲換手形ナ
 リキ是ニ於テ判官ハ之ヲ盲目人或ハ無筆者ノ場合ト同一ニ見做シ被
 告某氏ニ於テ手形仕拂ノ義務ナキ旨ヲ判決セリ其判決文ニ曰ク此署
 名ハ商ニ詐欺アル故ノミナラス署名者ハ手形ニ署名スルノ意ナキ故
 ニ法律ハ之ヲ署名セサリシモノト見做シ其署名ノ効力ナキモノトス
 云々ト
 前後モ知ラヌ泥酔者ノ署名シタル證書ハ固ヨリ其證書ノ性質ヲ知ラ
 スシテ署名シタルヲ以テ其効ナキ筈ナリ然レトモマシユース對バク
 スタノ詞訟ニ於テハ若シ對手署名者ノ泥酔ヲ知ツテ爲シタル片ハ
 其契約ハ其効ヲ消滅シ得レ其泥酔ヲ知ラサルカ或ハ之ヲ知リタリ

誤錯ルク妨ヲ意合

ト推測スヘガラサル時ハ其効ヲ消滅スル能ハスト判決セラレタリ
 ○對手ニ關スル本源ノ錯誤
 契約人ニ人違アル片ハ其契約成立セス故ニ被告プロックルハースト
 ナル人へ物品ヲ注文セシニ其營業株ヲ譲リ受ケシ原告其該物品ヲ持
 參セシ場合ニ於テハ原告被告へ對シ其代價ヲ請求スルヲ得ス
 甲者物品ヲ乙者ニ賣却セント欲セシ片丙者來ツテ乙者ノ代人ナリト
 詐ハリ物品ヲ受取レリ又赤貧者丙ナル者富有ナル乙者ノ名ヲ冒シテ
 甲者へ物品ヲ注文セリ此等ノ場合ニ於テ甲者ト丙者トノ間ニ生スル
 契約ハ無効ニシテ可得消効ニアラス
 契約ヲ履行スル者ハ義務者若クハ其相續人若シクハ其管財人ナリ故
 ニ他人或ハ權利者ノ承諾ヲ經スシテ契約ヲ履行スルモ權利者ハ之ニ
 拘ハラヌ其義務者ヲ訴フルコトヲ得ヘシ然レモ若シ他人義務者ノ名

誤錯ルク妨ヲ意合

義ヲ以テ義務者ニ代リ履行シタル片ハ權利者義務者ヲ訴フルハ前者
 ト同シケレモ義務者ハ其被訴ノ後代理權ヲ他人ニ追與シテ其請求ヲ
 拒ムコトヲ得ヘシ故ニ甲者乙者ヨリ金圓ヲ借り受ケ滿期ノ後其友人
 ニ代辨セラルト雖モ尙ホ乙者ノ出訴ヲ免ル、コトヲ得ス然レモ被告ハ
 被訴ノ後友人ニ代辨ノ權利ヲ追與スレハ原告ノ請求ヲ拒ムコトヲ得
 ヘシ蓋シ此ノ如ク法律ニ拘泥シテ無益ノ訴訟ヲ許スハ英國法律舊弊
 ノ一ナリ
 契約上ノ義務ハ權利者ノ承諾アルニアラサレハ之レヲ他人ニ讓與ス
 ルヲ得スト雖トモ其權利ハ義務者ノ承諾ヲ得スシテ之ヲ他人ニ讓與
 スルヲ得ベシ故ニ後件ニ關シテ義務者ハ讓與人へ對スル權利ヲ被讓
 與人へ對シテ行フベシ此契約讓與ノ事ハ尙ホ第六編ニ於テ之ヲ詳説
 スヘシ

誤錯ルヲ妨テ意合

○契約ノ目的物ニ關スル本源ノ錯誤
 契約ノ目的物ニ關スル本源ノ錯誤ヲ分ツテ二類トス
 一 確定シタル目的物ニ關スル錯誤
 二 目的物ノ種類分量並ニ品位ニ關スル錯誤
 ○確定シタル目的物ニ關スル錯誤
 確定シタル目的物ニ關スル錯誤ノ適例ハラツフル對ウキツチエルホ
 一 スノ詞訟ニシテ其事實ハ則チ左ノ如シ原告ハボンベイヨリ來航中
 ノピアレス號船ニ積込ミタル綿ヲ被告ヘ賣渡スノ契約ヲナセリ而シ
 テ該船着港ノ後原告ハ綿ノ請取方ヲ被告ニ請求セシト雖モ被告ハ之
 ヲ肯ンセス依テ原告ハ出訴シテ審理ヲ受クルトコロボンベイヨリ來
 港スル船ニピアレスト稱スル者二艘アリ一ハ十月ニ出帆シ一ハ十二
 月ニ出帆セリ被告ハ十月出帆ノピアレス號ニ積込ミタル綿ヲ買取ル

誤錯ルヲ妨テ意合

積ニテ原告ハ十二月出帆ノピアレス號ノ綿ヲ賣渡サン積リナリキ故
 ニ此詞訟ハ目的物ニ錯誤アリテ契約ノ成立セサルモノナリ依テ原告
 ノ請求相立タスト判決セラレタリ
 ○種類分量並ニ品位ニ關スル錯誤
 契約ノ目的物ノ種類分量或ハ品位ニ付キ錯誤アルトキハ契約ノ成立
 セサルコトアリ
 甲乙ノ二人麻ヲ賣買スル時仲買人其間ニアリテ買主ヘハリガライ
 ン麻ノ賣渡覺書ヲ渡シ賣主ヘハシントピータスバーククリン麻ノ買取
 覺書ヲ渡セリ此場合ニハ甲乙二人意志ノ合同ナキカ故ニ其契約ハ成
 立セス
 其買主電報ヲ以テ其賣主ヘ三箇ノ物品ヲ注文セシトコロ電信局誤ッ
 テ物品五十箇ノ注文ヲ通知セリ因テ賣主ハ直ニ五十箇ノ物品ヲ送致

誤錯ルク妨ヲ意合

セシ處買主ハ己レノ注文セシ三箇ヲ受取リテ其余ノ四十七箇ヲ受取ルチ肯ンセス當時裁判所ニ於テ買主ハ残余四十七箇ノ品物ヲ拒絕スル權アリト判決セラレタリ又爾餘ノ裁判先例ニ據ルニ賣主ヨリ注文セシ物品ト注文セサリシ物品トチ合一シテ差送リタル片買主ニ於テ右二種ノ物品取分クル爲メ多少ノ勞力ヲ要スル乎或ハ損害ヲ蒙ムルコトアラハ右二種ノ物品ヲ併セテ共ニ之ヲ拒絕スルコトヲ得

賣買物品ノ代金ハ亦タ是レ目的物ノ一種ナルヲ以テ物品ト同一ノ規則ニ從フヘキモノトス

品位ノ錯誤ハ左ノ二要件ヲ具備スル時ニ限り其契約ヲ無効トス

一 平常普通ノ言語ヲ以テスレハ品位ニ差異アルカ故ニ別種類ノ物ト云フヲ得ヘキ時

二 錯誤ノ雙方ニ在ル時

誤錯ルク妨ヲ意合

銅棒ヲ誤信シテ金棒ト爲シ之ヲ賣買シタル片其契約ハ無効タルヘシ但シ此例ニ於テハ一ノ注意スヘキコトアリ其事ハ賣主モ棒金ヲ賣渡ス積リ買主モ棒金ヲ買取ル積リナレハ其契約ハ無効ナレトモ若シ賣主買主共ニ指定シタル一ノ棒ヲ賣買スル積リニテ金ノ棒ヲ賣買スル積ニアラサレハタトヒ雙方共ニ銅ヲ誤リテ金或ハ銀ト信スルモ其契約ハ無効タルコトナシ

確定シタル物品ヲ賣渡シ且ツ別ニ其品位ノ請合チナストキハタトヒ品位ニ如何ナル錯誤アルモ賣買ノ契約ハ有効ナリトス故ニ買主ハ請合ノ契約ニヨリテ要償セサルヘカラス又賣買契約ノ外別ニ請合ノ契約アリヤ否ヤ品位ニ大差異アルトキ契約ヲ無効トナスノ意ナリヤ否ヤハ事實ノ問題ナルヲ以テ之ヲ陪審官ノ判定ニ任ス

品位ノ錯誤ヲ以テ契約ヲ無効トスルニハ其物品ノ品位ニ付キ賣主買

主ノ間ニ意志ノ差異アルヲ以テ足レリトセス其品位モ亦タ賣主買主ノ思考シ居リシトコロノモノト異ナルヲ要ス

一方ノ者對手ノ錯誤ヲ知ルト雖モ詐欺ノ所爲有ルニアラサレハ其契約ヲ無効ニスルヲ得ス故ニ甲者乙者所持大麥ノ見本ヲ検査シテ古麥ト誤認シ之ヲ買求ムレハ其後其新麥ナルコトヲ發見スト雖モ其賣買ヲ取消スコトヲ得ス

甲乙二人棒銀ヲ賣買スルニ當リ雙方一致ノ上化學者ヲシテ之ヲ試験セシメ而シテ後契約ヲ結了シタリ然ルニ其後化學者分析ノ試験ニ錯誤アルコトヲ發見セリ此場合ニ於テ契約ハ無効ナリトス

一方ノ者ノミニ錯誤アリテ對手ニ錯誤ナキトキハ左ノ結果ヲ生スヘシ

乃チ假ニ甲乙ヲ契約人トナシ丙ヲ契約ニ關スル事實トナシ又假リニ

此事實タル實際存在セサルモ乙者ノミハ之ヲ知ルト定メ左ノ問題ヲ設ク

第一問 甲者ハ丙ナル事實存在セサレハ契約ヲ結ハサルノ意志ナリシヤ即チ甲者若シ丙ノ有無ニ疑フトココアリシナレハ契約効力ノ有無ハ丙ノ有無ニ依ルヘシト約束セシナラン乎

第二問 若シ夫レ然ラハ乙者ハ甲者ノ誤信スルコトヲ知レリヤ

第三問 若シ乙者甲者ノ誤信スルコトヲ知ラハ其誤信アルニアラサレハ契約ヲ結ハサルコトヲ知レリヤ

以上三問題ノ内一題ニテモ否答セラレトキ其契約ハ有効ナリ但シ第二ノ問題ニ否答スルニハ充分ナル證據ヲ要ス且ツ若シ之ニ可答セハ第三問ニモ亦タ可答セサルヲ得サルコト多シ丙者アリ甲者ノ地所ニ畢生間ノ所有權ヲ有ス而シテ甲者ハ右丙者畢生間ノ所有權盡キタ

(二二一)

ル後之ヲ乙者ニ賣リ渡スコトヲ約セリ此場合ニ於テ乙者丙者ノ死
 シタルコトヲ知レハ乙者ハ甲者此事實ヲ知ラサリシニアラサレハ此
 賣買契約ヲ結ハサリシナラントハ思惟セサリシト云フヲ得ス又解社
 願ヲ差出シタル後其社ノ株券ヲ賣却スル者ハ買主ノ解社願ヲ承知セ
 サルコトヲ知ル以上ハ買主カ此事實ヲ知レハ決シテ此契約ヲ結ハサ
 リシコトヲ知ツテ事實チアカサス賣渡シタルモノト見做ス若シ右三
 問題盡ク可答スル片ハ契約ハ詐欺ニヨリ成立チタルモノトス
 一方ノ者對手ニ欺カレ本源ノ錯誤チナシ結約シタルトキハ其契約成
 立セスシテ雙方共ニ權利義務ヲ負ハサルナリ然レトモ被欺者若シ其
 契約ヲ成立セシメ之ヲ有効トナサント欲セハ詐欺者之ヲ無効ナリト
 主張スルヲ得ス

○無効契約ノ義務者

誤錯ルク妨ヲ意合

(三二一)

誤錯ルク妨ヲ意合

本源ノ錯誤ノ爲メニ無効トナリタル契約ノ義務者ハ左ノ二法ニヨリ
 テ自己ノ權利ヲ保護スルヲ得ヘシ
 第一對手ノ訴へ出ツルヲ待チテ契約ノ無効ナルコトヲ申立原告ノ請
 求ヲ拒ム事
 第二自ラ原告トナリテ出訴シ契約ノ無効ナルコトヲ確認スル事但シ
 第二法ハ契約ノ無効タルコトヲ知ラスシテ契約ニ依リ對手へ渡シタ
 ル金圓ヲ取戻ス場合ニ多シ
 本源ノ錯誤發露シタル後尙ホ契約ヲ有効トシテ取引チナス片ハ其契
 約ハ有効トナルヘシ是レ蓋シ先キノ無効契約ヲ追認シタルニアラス
 其故無効契約ハ固ヨリ成立セサルヲ以テ初ヨリ之レ無キト同様ニシ
 テ無キモノハ決ノ追認スヘカラサレハナリ然リ而シテ錯誤發覺ノ後
 無効契約ノ事項ニ從ヒ取引シタルハ亦タ其契約ヲ追認シテ之ヲ有効

誤錯ルク妨ヲ意合

下ナシタルニアラス唯々新ニ黙諾契約ヲ結ヒタルナリ
第三項 文章ノ錯誤
此第三種ノ錯誤ハ文章ヲ以テ契約ヲ結フノ際ニ生ス此等ノ錯誤ヲ分
ツテ左ノ三種トス

(一) 習慣法並ニ衡平法ニ通用スヘキ證書解釋ノ規則ヲ以テ改正スル
ヲ得ル者

(二) 衡平法ニ通用スヘカラサル解釋法ノ規則ヲ以テ改正スルヲ得ル
者

(三) 衡平法ト特別ナル制裁ヲ以テ救済スヘキ者

○ 習慣法並ニ衡平法ニ通用スル解釋ノ規則ヲ以テ改正シ得ヘキ
文章ノ錯誤

證書ノ全文ニ據リテ契約人ノ意志明瞭ナルトキハ文法ノ錯誤字格ノ

誤錯ルク妨ヲ意合

錯誤等ハ無論之ヲ改正スルヲ得ヘシ

解釋ハ契約人ノ意志ヲ探知スルニアリ故ニ解釋ノ規則ニ從ヒ契約人
ノ意志ヲ判定シタルトキハ其判定ニ抵觸スル言語文章ハ之ヲ錯誤ト
見做シテ改正スルヲ得ヘシ

○ 衡平法ト特別ナル解釋ノ規則ヲ以テ改正スヘキ錯誤

左ノ三件ニ付キ衡平法ハ習慣法ト解釋ノ規則ヲ異ニセリ

一 廣潤ナル文章ノ意義ヲ制限スル事

二 契約履行ノ時日

三 民事上ノ罰金

○ 廣潤ナル文章ノ意義ヲ制限スル事

習慣法ニ於テ廣潤ナル文章意義ヲ制限スルヲ得ルハ其證書ノ全體ヨ
リ觀察ヲ下シテ契約人ノ意志ハ斯ク廣潤ナラサルヘシト推察シタル

場合ニノミ限レリ然ルニ衡平法ニ於テハ更ニ一步ヲ進ミ證書外ノ證據ヲ以テ制限ヲ證書ノ文章ニ加フルコトヲ許セリ此解釋ノ規則ハ權利放棄ノ場合ニ於テ適用スルコト多シ即チ余汝ノ爲メニ余ノ汝ニ對スル一切ノ權利ヲ放棄スヘシト云ヒ又之ニ反メ余汝ノ余ニ對スル義務ヲ悉皆釋放スヘシト云フ其放棄釋放スル所ノ權利義務ハ契約人ノ意中ニ在リシ權利義務ニ止マルモノトス故ニ若シ當時契約人ノ知ラサル權利義務カ若クハ當時契約人ノ意中ニアラサル權利義務アルトキ其權利義務一切ノ權利悉皆ノ義務ナル文言ノ中ニ包含セラレサルモノトス但シ如何ナル權利ガ當時契約人ノ心中ニアリシヤハ證書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ

○契約履行ノ時日

習慣法ニ於テハ契約履行ノ時日ヲ以テ契約中ノ要款ト見做スカ故ニ

若シ某月某日ニ履行スヘシト約シ其期日ヲ經過スルトキハ義務者其契約ヲ破リシモノトシ其後ニ至リテ履行スルモ權利者ノ承諾アルニアラサレハ其効ナシトス衡平法ニ於テハ則チ然ラス故ニ先ツ契約人ノ意志ヲ察シ時日ヲ以テ緊要ナル條款トナスノ意アリト見留ムルトキハ習慣法ト同一ノ規則ニ從ヒ又時日ヲ指定スト雖其實必ラスシモ其時日ニ履行スルヲ要セス相當ナル期限内ニ履行スルヲ以テ足レリトスルノ意ナリト見留ムルトキハ義務者ヲシテ其契約ヲ期日ノ後ニ執行スルコトヲ得セシム

印度契約條例第五十五條ハ此規則ヲ掲ケタリ該條ニ曰ク

契約人ノ中一方ノ者豫メ定メタル期日ニ於テスルカ或ハ其期日ノ前ニ於テ某事ヲ爲スヲ約シ而シテ其期日若シクハ其期日前ニ其事ヲ果タサ、ルトキハ契約人其時日ヲ以テ契約ノ要款トナスノ意ア

誤錯ルク妨ヲ意合

ルトキニ限り對手ノ意ヲ以テ全契約又ハ其未タ履行セサル部分ヲ取消スコトヲ得ヘシ

契約人契約履行ノ時日ヲ以テ其要款トナサ、ルトキハタトヒ爲約者其時日若シクハ其時日前ニ契約ヲ履行セサルモ對手ハ契約ヲ取消スコトヲ得ス但履行遅延ノ爲メニ受約者損害ヲ蒙ムルトキハ爲約者ニ對シテ之レカ要償ヲ爲スヲ得ヘシ

爲約者豫定ノ時日ニ契約ヲ履行セス爲ニ契約可得消効トナルヘキ場合ニ於テモ受約者若シ其期日後ノ履行ヲ受諾スル片ハ履行遅延ノ爲ニ生スル損害ノ要償ヲ爲スヲ得ス但シ期日后ノ履行ヲ受諾スル時豫メ其損害要償ノ事ヲ爲約者ニ通知シタル場合ハ格別ナリトス

○民事上ノ罰金

違約ヲ防カン爲メニ違約罰金ヲ科スルコトヲ約定スト雖モ衡平法ハ

此罰金ヲ請求スルヲ許サス唯タ義務者ヲシテ權利者ノ實際蒙リタル損害ヲ償却セシムルノミ、

又地所ノ質入ニ於テ借金返済ノ期限ヲ經過シタルトキハ金主ニ於テ其質地ヲ沒收スルコトヲ約定スト雖モ衡平法ハ強ヒテ其沒收ヲ請求スルヲ許サス期限後ト雖モ尙ホ質置主ヲシテ之ヲ受戻スコトヲ得セシム

○衡平法ト殊別ナル制裁ヲ以テ救済スヘキ錯誤

錯誤ニヨリ證書ノ文意契約人ノ意志ト相違シ之カ爲メニ利益ヲ失フ者ハ對手ノ出訴スルヲ待テ契約ノ履行ヲ拒ムヲ得ヘシ然レモ原告若シ被告ノ修正ヲ承諾シ其修正ニヨリ履行ヲ求ムルトキハ被告之ヲ拒ムヲ得ス

誤錯ルク妨ヲ意合

被告ハ成文契約ヲ以テ原告ヘ地所ヲ貸渡スコトヲ約シ原告ハ口頭ヲ

以テ地代前金二百磅ヲ豫納スルコトヲ約セリ然ルニ其後原告ハ成文契約ノミヲ提ケ出訴セシヲ以テ被告ハ其成文契約ノ外別ニ二百磅豫納ノ約束アルコトヲ言ヒ原告先ツ其約束ヲ履行セサレハ地所ヲ貸與シ難シト主張セリ而シテ雙方辨論ノ後原告ハ二百磅ヲ拂フコトヲ承諾セリ是ニ於テ被告ハ最早原告ノ請求ヲ拒否スルノ權ナシト判定セラレタリ

詐欺或ハ錯誤ニヨリ契約證書ノ文言ニ誤謬ヲ生スルトキ衡平法院ハ其誤謬ノ原告ノ過失ヨリ生セシト被告ノ過失ヨリ生セシトヲ問ハス總テ之ヲ正誤スヘシ而シテ誤謬ヲ證明スルニハ成文證據ヲ以テスヘク亦タ未タ充分ナル判決先例ヲ見サルハ不文證據ヲ以テスルモ可ナルヘシロルドシントレヲナルド氏アレキサンドル對グロスビー訴訟ノ判決ニ曰ク從來衡平法院ニ於テ改正セシ證書ノ誤謬ハ皆盡ク不

文證ノ外ニ證書認方依頼ノ書狀若シクハ代言人へ送りシ書狀等ノ成文證據アル場合ノミナリシト雖トモ本來衡平法院ハ成文證據ナキモ充分ナル口頭ノ證據アレハ之ニ依テ其改正ヲ命スルコトアルヘシト又ナル對シツトウエルノ判決文ニ曰ク原告唯口頭ノ證據ノミヲ以テ出訴シタルハ被告ニ於テ其申立ヲ不實ナリト斷言スルハ之ヲ以テ充分ナル口頭ノ證據アリト云フヲ得スト
 誤謬證書ノ改正ヲ出訴スル者ハ其文言ノ原被一致セシモノト異ナルコトヲ證明セサルヘカラス言ヲ換ヘテ之ヲ言ヘハ原告ハ原被雙方ニ錯誤アルコトヲ證明セサルヘカラス故ニ原告獨リ證書ノ文言ヲ以テ已レノ意志ト相違スルコトヲ證明スルモ法院ハ之ヲ改正スルヲ許サス

第貳款 詐欺

fraud

(二三一)

詐欺トハ他人ヲシテ己レノ偽言或ハ偽行ヲ信用セシメ且ツ之ニ頼テ以テ事ヲ爲サシメ若シクハ事ヲ爲サ、ヲシムルコトヲ欲シ言語或ハ行爲ヲ以テ不實ナル事ヲ他人ニ示スヲ謂フナリ故ニ詐欺ニハ必ラス第一定マリタル人ニ對スルコト第二他人ヲシテ我言行ヲ信セシムル目的第三他人ヲシテ我言行ニ頼リ以テ事ヲ爲サシメ或ハ事ヲ爲サ、ヲシムル目的アルコトヲ要ス

○事實ノ詐欺

詐譎ハ事實ニ關スルノ外法律上ノ効果ヲ生スルコト無シ故ニ法律ニ關スルノ詐欺目的ニ關スルノ詐欺及論說ニ關スルノ詐欺ハ法律上契約ノ効力ヲ毀傷スルコトナシ

詐欺ヲシテ法律上ノ効果ヲ生セシムルニハ必ス對手ノ者之ニ欺カレ之ヲ頼ンテ以テ事ヲナシタルコトアルヲ要ス故ニ國法ヲ詐リテ他人

欺 詐

(三三一)

チ欺クモ法律ハ其罪ヲ問ハス是レ國法ナルモノハ國民ノ皆悉ク知ルモノナレハタトヒ人アリ國法ヲ詐リテ欺カントスルモ己ニ國法ヲ知ル者ハ之レカ爲メニ欺カル、ノ所以ナケレハナリ

又詐欺ハ現在ノ事實ニ關セサレハ法律上ノ効果ナシ故ニ將來或ル事ヲ爲シ或ハ爲サ、ル事ノ意ヲ他人ニ示シ而シテ其實之ヲ爲シ或ハ爲サ、ルノ意ナキモ之ヲ以テ詐欺トナシ契約ヲ解除スル事ヲ得ス但將來ノ事ニ關スル詐譎ナルモ現在ノ取引上ニ關スルハ格別ナリトス

結約ノ理由ニ關スル詐欺モ亦法律上ノ効果ナシ嘗テ買主アリ賣主ヘ對シテ我組合ノ者金五千圓以下ニアラサレハ某品ヲ買取ルヲ欲セス因テ該價ニテ某品ヲ渡シ吳レヨト請ヒシカハ賣主ハ之ヲ信シテ金五千圓ニテ某品ヲ賣渡セリ然ルニ買主ノ述ヘシコトハ全ク不實ニシテ組合ノ者ハ代價ニ付キテ助言セシコトナカリシ然リ而シテ賣主ハ此

欺 詐

詐

欺

事ニ關シ詐欺ノ廉ヲ以テ該契約ノ解除ヲ出願シタレモ敗訴トナレリ
 鐵道會社ノ發起人株主募集ノタメニ廣告書ヲ作り其書中ニ他人ノ此
 地ニ鐵道ヲ敷設シ我社ト競争スルコトナカルヘシト云フトモ是唯タ
 該發起人一己ノ意見ニシテ事實ニアラサルヲ以テ此廣告書ヲ賴ンテ
 加入セシ者ハ此廉ヲ以テ故障ヲ述フルコトヲ得ス
 賣主賣品ノ價直ヲ詐ハルモ買主ハ之ヲ以テ契約ヲ解除スルヲ得ス但
 シ此賣品ハ若干ノ代價ヲ以テ買求メタルモノナリ此家屋ハ是迄一ヶ
 月若干圓ニテ貸與シ來リタルナリ等ト云フカ如キ事實ノ詐欺ハ賣買
 解除ノ原因トナスヲ得ヘシ
 會社ト株主トノ間モ有形人二人ノ間ト異ナルナシ故ニ會社ノ廣告書
 ニ詐欺アレハ株主ハ其株券ヲ返却シ株金ヲ取戻スコトヲ得ヘシ
 又廣告書ニ於テ頭取ハ若干ノ株ヲ有セリト公言シ而シテ其事不實ナル

片ハ株主ハ加入契約ヲ解除スルヲ得ヘシ

○事實ヲ告ケサル詐欺

契約ニ關係アル事實ヲ隱匿スルハ其事實ニ付キ不實ナルコトヲ述ヘ
 タルト等シ然レモ故ラニ隱匿セスシテ唯タ對手ニ事實ヲ告ケサルニ
 止ルモノハ必ラス之ヲ告グルノ義務アルニアラサレハ詐欺ノ限ニア
 ラストス故ニ結婚ノ約束ヲナス片ニ其婦人既ニ他ニ結婚ノ約束アル
 ナ其夫ニ告ケサルモノヲ以テ結婚約束解除ノ理由トナスヲ得ス亦其
 嘗ツテ瘋癲ニシテ入院セシコトアルヲ告ケサルモノヲ以テ結婚約束
 解除ノ理由ト爲スヲ得ス然レモ其嘗テ婦人ノ徳ヲ破リシコトヲ告ケ
 サル片ハ其夫ニ於テ其契約ヲ取消スコトヲ得ヘシ
 左ニ掲グルモノハ事實ヲ告ケサルニヨリ契約ヲ解除スルヲ得ルモノ
 ナリ

詐

欺

物品賣買ノ時賣主其賣品ノ表面ニ顯ハレサル瑕瑾アルヲ知リテ之ヲ買主ニ告ケサルトキハ詐欺ヲ以テ論シ該契約ヲ取消スコトヲ得ヘシ然レモ外面ニ顯ハレ買主ニ於テモ之ヲ點檢シテ發見スルヲ得ヘキ瑕瑾ハ賣主之ヲ告グルノ義務ナクシテタトヒ其物品ノ請合ヲナストモ其請合ハ外面ノ瑕瑾ヲ包含セサルモノトス

地所ノ取引ニ就キテモ事實ヲ告ケサルコトヲ以テ契約ヲ取消スコトヲ得ヘシ故ニ地所ノ賣買ニ於テ賣主其地所ノ一部ハ共有地ナルコトヲ知ルモ之ヲ買主ニ告ケサルトキハ之ヲ詐欺ノ所爲ナリトス賣品ノ買入書入ニナリタルコトヲ告ケルサモ亦同シ

買主ニ於テハ賣品ニ付キ發見シタル事實ヲ賣主ニ告グルノ義務ナシ故ニ甲者乙者ヨリ地所ヲ買取ル約束ヲナスニ當リ甲者ハ其地下ニ金礦ノアルコトヲ知リ乙者ハ之ヲ知ラスト雖モ甲者ヨリ之ヲ乙者ニ告

詐

欺

クルノ義務ナシ

買主ハ自己ノ身代ヲ賣主ニ示明スルノ義務ナシ故ニ商品ヲ買入ルハ其既ニ其身代限處分ヲ出願セシ者アリト雖買主ハ之ヲ賣主ニ告グルヲ要セス

右ノ外事實ヲ告ケサルヲ以テ詐欺トスルコトアルハ左ノ契約ニ多シトス

(一) 結婚ノ契約

(二) 保險ノ契約就中海上保險ニ多シトス

(三) 契約人ノ内一人他ノ一人ニ對シ信用ノ位地ヲ占ムルヲ結ヒタル契約例ハ後見人ト幼者ト結ヒシ契約又ハ親屬ナキ婦女ヲ厄

介トシテ養育シ其婦女全ク其人ニ依頼スルハ右兩人ノ間ニ結ヒタル契約ノ如シ

詐

- (四) 他人ヲ保證スル契約
- (五) 一負債主ノ債主數人共議シテ各々請求高ノ幾分ヲ減スル債主間ノ契約

(六) 會社ノ株主トナル契約

○詐欺者ノ意志

前キニ説ク如ク詐欺ニハ人ヲ欺クノ意アルコトヲ要ス故ニ信スヘキノ理由アリテ信シタルコトヲ他人ニ告グルトキハタトヒ其事不實ナルモ之ヲ以テ詐欺トナスヲ得スト雖モ信スヘキ根據ナキ事ヲ信シテ之ヲ他人ニ語り其事不實ナル片ハ不實ナルヲ知テ語りシト同シク論スヘシ

欺

虚實ヲ知ラスシテ某事ヲ他人ニ告ケ而シテ其事不實ナル片ハ詐欺ヲ以テ論スルヲ得ヘシ往日某會社ノ役員ニ甲乙兩人アリ甲者ハ會社ノ

詐

欺

事情ヲ熟知シ乙者ハ之ヲ知ラス偶々丙者アリテ該社ノ株主トナラントセシニ際シ甲乙二人ハ共ニ該會社ノ繁盛ナル有様ヲ語レリ丙者之ヲ信シ遂ニ該會社ノ株主トナリシニ甲乙兩人ノ語りシコトハ全ク不實ニシテ會社ハ大ヒニ衰微ノ状態ナリシ因テ丙者ハ甲乙兩人ヲ被告トシテ出訴セリ此場合ニ於テ乙者ハ自カラ抗辨シテ曰ク余ハ素ト會社ノ景况ヲ知ラス唯タ甲者ノ述ヘシコトヲ信シテ丙者ニ語りシノミニシテ其不實ナルコトヲ知ラザリシナリ故ニ丙者ニ對シテ責任ナシト然レモ本訴ハ遂ニ原告ノ勝トナレリ

法律ハ詐欺アルコトヲ推測セス故ニ詐欺ノ廉ヲ以テ契約解除セント欲スル者ハ詐欺ヲ證明スル責任ヲ負フモノトス

嘗ツテ知得シタル真正ノ事實ヲ隠却シテ不實ナルコトヲ他人ニ告グル片ハ其不實ナルコトヲ知ツテ告ケシト同シ甲者アリ乙者ヨリ金圓

詐

欺

ヲ借り受クルニ當リ丙者ヨリ借り受クヘキ借地ヲ抵當トスヘシト云
 ヘリ因テ乙者ハ其實否ヲ丙者ノ許ヘ問合セシ處丙者ハ其地所ノ既ニ
 他ヘ貸與シアルコトヲ失念シ甲者ノ言ヘル通り地所ヲ貸渡スヘシト
 答ヘタリ是ニ於テ乙者ハ之ヲ信シテ甲者ヘ金圓ヲ貸與シタル處甲者
 ハ逃込シテ其金ヲ返濟セス此場合ニ於テハ乙者ハ丙者ヲ訴ヘテ償却
 ナ受クルヲ得タリ
 信スヘキノ理由アリテ信シタルコトヲ他人ニ告ケ其後其事ノ不實ナ
 ルコトヲ發見スルニ於テハ直ニ之ヲ追報セサルヘカラス若シ其追報
 ナ怠リ對手ヲシテ前キニ告ケシコトヲ信セシメ之ヲ頼ンテ以テ事ヲ
 ナサシムルトキハ初メヨリ不實ナルコトヲ知テ告ケシト等クシ詐欺
 ナ以テ論スヘシ
 又最初告ケシ時詐欺ニアラサルモ其後事情ノ變遷ニヨリ詐欺トナル

詐

欺

コトアリ
 例ヘハ甲ナル人命保險會社丁者ノ生命ヲ保險シ乙ナル會社ヲシテ其
 一部ヲ分保セシムルニ際シ乙會社ニ告グルニ我會社ニテモ同人ニ付
 キ多分ノ保險ヲナセシコトヲ以テシ而シテ其後分保契約未タ結了セ
 サル前甲社ハ已ノ負擔セシ保險ヲ丙ナル會社ヘ移シ而シテ乙會社
 へ通知サリシ此場合ニ於テ甲會社ハ詐欺ノ所爲アルモノトス
 又右ニ反シ之ヲ告ケシトキニ不實ナリシモ被欺者之ヲ信シテ事ヲ爲ス
 片ニ至リ其事情變遷シテ眞實トナルトキハ被欺者ハ契約ノ取消ヲ求
 ムルヲ得ス甲會社アリ株主募集ノ廣告ヲナシ既ニ總株ノ半數ハ加入
 アリト廣告シ乙者此廣告ヲ信シ株主トナレリ此場合ニ於テ最初甲會
 社ノ廣告セシ當時ハ未タ總株ノ半數ニ至ラザリシト雖モ乙者ノ株主
 トナリタル片既ニ半數以上ノ加入アレハ乙者ハ詐欺ノ廉ヲ以テ該契

(二四一)

約ノ解除ヲ訴フルヲ得ス

○詐欺ノ事實ト契約トノ關係

詐欺ヲシテ契約解除ノ効力ヲ有セシムルニハ詐リシ事實ヲシテ契約ニ緊要ナル關係ヲ有セシメサルヘカラス緊要ナル關係ヲ有スル事實トハ被欺者ノ信用シ又依頼シテ結約シタル事實ニシテ其不實ナルコトヲ知レハ被欺者ハ該契約ヲ結ハサリシナラント推測スヘキモノヲ云フ

欺

如何ナル事實ヲ以テ緊要ナル事實トスルヤハ一事件毎ニ之ヲ判定セサルヲ得ズ今左ニ先例ヲ擧ケテ參考トナス
甲人命保險會社保險ノ責任ヲ乙會社ニ分擔セシムルニ際シ其被保險者ノ保險ニ付キ甲會社モ尙ホ多少ノ責任ヲ負擔スルヤ否ヤヲ明ニスルハ緊要ナル事實トス

詐

欺

(三四一)

某人ノ身代ヲ語リテ若干ノ資本金ヲ所持セリト云フ時其資本ハ實ニ某人ノ金ナリヤ將タ某人カ他人ヨリ借入レシ資本金ナリヤヲ明ニスルハ緊要ナル事實トス

金圓ヲ貸與スルニ際シテ該金ハ某會社ヨリ貸與スルナリト稱シ其實ハ貸主一人ヨリ貸與スルモ之ヲ緊要ナル事實ヲ詐リタルモノトセス仲買人自己ノ物品ヲ詐リテ他人ノ物品ト爲シ之ヲ買主ニ賣リ渡シタルトキハ緊要ナル事實ヲ詐リタルモノトス但シ一般普通ニ言ヘハ我物品ヲ賣ルニ際シ代人トナリテ他人ノ物品ヲ賣却スルナリト詐ハルモ妨ケナシトス

○詐欺契約ノ全部ニ涉ラサル場合

契約ヲ結フニ當リ數箇ノ事實ヲ述ヘタル中一事ニテモ不實ナルトキハ被欺者其全契約ヲ解除スルヲ得ヘシ故ニ詐欺者詐欺ニ係ル部分ノ

權利ヲ放棄シ他ノ部分ノ義務ヲ對手ニ負ハシムルヲ得ス甲者アリ地所ヲ丙者ニ貸與セリ乙者甲者ニ語ツテ曰ク丙者ハ余ノ爲メニ彼地所ヲ返還スルコトヲ約セリ故ニ該地所ヲ余ニ賣渡シ吳レヨト因テ甲者ハ之ヲ信シテ該地所賣渡ノ約定ヲナセシカ丙者ハ其實地所ノ返還ヲ承諾セシコトナシ此場合ニ於テ甲者ハ賣却約定ヲ解除スルヲ得而シテ乙者ハ甲者ヲシテ右地所ヲ丙者ニ貸與シタル儘之ヲ賣渡サシムルノ權ナシ

欺

○被欺者事實ヲ了知スル場合
 人ヲ欺カント欲シテ不實ノ事ヲ告グル者アルモ被欺者其實事ヲ知ルルハ詐欺ノ廉ヲ以テ契約ヲ取消スヲ得ス
 被欺者自ラ實事ヲ質スヘキ手段アリ且ツ詐欺者亦其手段ヲ指示スルルハ法律上被欺者ハ其手段ヲ以テ實事ヲ質シタルモノト見做スヲ以

詐

詐

テタトヒ被欺者其事實ニ付キ欺カル、モ之レカ契約ヲ取消スヲ得ス故ニ會社ノ廣告書ニ株主タラント欲スル者ハ會社ニ就キテ規則書並ニ諸帳簿ヲ見ルヘシト掲ケ其規則書並諸帳簿中ニ事實ヲ明記シタルルハタトヒ廣告書ニ不實ナルコトアルモ該株主ハ之ヲ以テ詐欺トシ其契約ヲ取消スコトヲ得ス
 取調ノ手段アリト雖ル之ヲ用ヒス全ク詐欺者ノ言ヲ信シテ締結シタルルハ之レカ解除ヲ請求スルヲ得ヘシ故ニ家屋ノ貸主堅牢ナラサル家屋ヲ詐ツテ堅牢ト爲シ借家人チノ之ヲ借受ケシムルルハタトヒ借家人ニ於テ其實否ヲ取調フヘキ手段アリトモ該契約ヲ取消スヲ得ヘシ又船舶ノ保險ヲ依頼スル者出帆ノ時日ヲ詐ハルルハタトヒ保險會社ニ於テロイドノ船舶發着表ニ依リ其事實ヲ取調フルヲ得ヘキモ其保險契約ヲ取消スコトヲ得ヘシ

欺

(六四一)

○代理人ノ詐欺

代理人本人ノ命ニアラスシテ其委任サレタル事件ニ關シ詐欺ヲナス
ルハ其對手ハ本人ヘ對シ該契約ヲ取消スコトヲ得ヘシ
會社ノ頭取及ヒ其他ノ役員ハ會社ノ代理人ナルヲ以テ其職務ニ關シ
會社外ノ者ニ對シ詐欺ヲナストキハ會社其責ニ任セザルヘカラス但
シ頭取及ヒ其他ノ役員ハ尙ホ被欺者ニ對シテ一己人ノ責ヲ負フヘシ
故ニ被欺者ハ會社ヲ訴フルコトヲ得ヘク亦タ役員ヲ訴フルコトヲ得
ヘシ

欺

代理人信スヘキ相當ノ理由アリテ信シタルヲ對手ニ告グルトキハ
タトヒ其事不實ニシテ本人其不實ナルコトヲ知ルト雖モ兩人共ニ詐
欺ヲ以テ論セラル、コトナシ家主代理人ヲシテ其家ヲ賣却セシム買
主代理人ニ問フニ其家ノ近隣ニ別段不都合ナルコトナキヤヲ以テス

詐

代理人ハ之レニ答ヘテ不都合ナルコトナシト云ヘリ然レモ其實該家
ノ隣ハ妓樓ニシテ本人ハ之ヲ知ルモ代理人ハ知ラザリシナリ此場合
ニハ詐欺ヲ以テ其取消ヲ訴フルヲ得ス

○第三者ノ詐欺

第三者ノ爲メニ詐欺セラル、モ之ヲ以テ契約取消ノ原由トナスヲ得
ス故ニ會社役員職務外ニ於テナシタル詐欺ヲ信シテ株券ヲ會社ヨリ
買取ルモ之ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スヲ得ス又甲者アリテ會社ノ
役員其職務上ニ於テ詐欺ヲナシタルカ爲ニ乙者ヨリ株券ヲ買取ルト
雖モ其賣買ヲ解除スルヲ得ス但シ被欺者ハ詐欺者ニ對シテ損害要償
ヲ爲スヲ得ヘシ

欺

○契約ノ取消

(七四一)

欺カレテ契約ヲ結ヒタル者ハ其契約ヲ有効トスルヲ得ヘク亦タ之ヲ

(八四一)

詐

欺

無効トスルヲ得ヘシ但シ被欺者未タ之ヲ取消サ、ル間ニアリ
 其契約ノ事物ニ付キ利益ヲ得被欺者若シ該契約ヲ取消セハ第三者其
 損害ヲ蒙ムルトキハ被欺者ニ於テ該契約取消ノ權ヲ失フモノトス且
 又被欺者該契約ノ取消ヲナスヤ否ヤニ付キ決心遲キトキハ其取消ヲ
 爲サ、ルモノト推測スルヲ得ヘシ
 契約ヲ取消ニハ口頭文章若シクハ行爲ヲ以テ其意ヲ對手ヘ通知シ或
 ハ契約解除ヲ出訴シ或ハ對手ノ出訴スルヲ待テ契約ヲ無効トシ以テ
 原告ノ請求ヲ拒ムコトヲ得ヘシ
 被欺者詐欺ノ契約ニヨリ財産ヲ得タルトキハ其契約ヲ取消スニ當リ
 其財産ヲ返還セサルヘカラス會社ノ株券ノ如キ其類ナリ又欺カレテ
 株券ヲ買取りタル者ハ其契約ヲ取消スニ當リ其株券ヲ返還セサルヘ
 カラス但シ株券ヲ所有シ而メ契約ヲ取消スコトヲ得ス

詐

欺

(九四一)

一旦契約ヲ有効ト認メタルトキハ其後詐欺ノ廉ヲ以テ之ヲ取消スヲ
 得ス甲者アリ仕事ノ多寡ヲ詐リテ乙者ナル大工ヲ雇ヒ入レシニ乙者
 ハ其詐欺ヲ發見シタル後依然其仕事ヲ繼續セリ此場合ニ於テ乙者ハ
 契約ヲ有効ト認メタルカ故ニ取消ノ權ヲ失フモノトス又詐欺ノ廣告
 書ヲ信シテ會社ノ株券ヲ買取りタル者詐欺ヲ發見シタル後其株券ヲ
 賣却スル約束ヲナシ若シクハ其株券ニ付キ配當金ヲ受取ルトキハ該
 契約ヲ確認シタルモノト見做スカ故ニ其後ニ至リ之レカ取消ヲ求ム
 ルコトヲ得ス
 詐欺ノ一部ヲ發見シタル後契約ヲ確認スルトキハ其後他ノ部分ヲ發
 見スト雖此之レカ取消ヲ求ムルヲ得ス
 契約ノ取消ヲ遲延スルトキハ遂ニ其權理ヲ失フコトアリ故ニ遲延ハ
 契約確認ノ推測ヲ生スヘシ又遲延甚シキトキハ契約ヲ確認シタルモ

詐

欺

ノト認定スルヲ得ヘシ
 取消ノ遅延ハ被欺者詐欺ヲ發見シタルノ時日ヨリ起算ス故ニ被欺者
 遅延ノ廉ヲ以テ契約ノ解除ヲ拒ムニハ被欺者ノ詐欺ヲ發見シタルコ
 ト及ヒ其發見ノ時日ヲ證明スルヲ要ス
 詐欺ノ廉ヲ以テ損害要償ノ訴ヲ受ケタル詐欺者ハ遅延ノ旨ヲ以テ其
 請求ヲ拒ムヲ得ス但シ出訴期限ヲ經過シタルハ此限ニアラス一旦
 契約ヲ確認シタルトキハ其後ノ損害ヲ請求スルヲ得ス
 ○契約人當初ノ位地ニ復スル能ハサル場合
 契約ヲ取消スハ契約者ヲシテ結約前ノ地位ニ復セシムルニアリ故ニ
 若シ一方ノモノ既ニ當初ノ位地ニ復スル能ハサルトキハ之レカ取消
 ナナスヲ得ス何ントナレハ契約ハ一部ヲ取消シテ他部ヲ有効トスル
 能ハサレハナリ是故ニ被欺者ハ唯タ損害要償ヲナスノ權ヲ有スルノ

詐

欺

詐欺ノ爲メニ物品ヲ買取リタル者其物品ヲ費消シ若シクハ他人へ賣
 却シタルハ賣主ニ於テ之レカ取消ヲ求ムルヲ得ス甲者地所ヲ乙者
 ヨリ借り受クルニ當リ違法ノ事ヲ爲ス爲メニ之ヲ使用スルニアラス
 ト云ヒ而シテ其實ハ違法ノ事ヲ爲ス爲メニ使用スルノ目的アリテ且ツ
 其目的ニ從フテ之ヲ使用セリ此場合ニ於テ乙者ハ其契約ヲ取消スヲ
 得ス
 右ノ事件ト同一ノ理由ニヨリ習慣法ニ於テハ地所ヲ借り受クル約束
 ナシ借主手附金ヲ拂ヒ地所ヲ占有シタルトキハタトヒ其契約カ貸
 主ノ詐欺ニ基ツクト雖トモ借主ニ於テ其契約ヲ取消スコトヲ得ス買
 主詐欺ノ爲メニ地所ヲ買取リ其地所ヲ占有シタルトキモ亦同シ然レ
 トモ衡平法院ハ單ニ地所ノ占有ノミヲ以テ契約者ヲ當初ノ位地ニ復

詐

スル能ハストセス故ニ一旦占有シタル後ト雖トモ取消ヲ命スルコトアリ但シ時宜ニヨリ占有者ヲシテ占有シタル間ノ地代ヲ拂ハシムヘシ
双方ノ者若シクハ一方ノ者當初ノ位地ニ復スヘカラサルカタメニ契約ヲ取消ス能ハサルトキハ被欺者其契約ヲ履行シ而シテ別ニ損害要償ノ訴ヲ起スヘシ

欺

○契約ヲ取消シテ第三者ノ利益ヲ害スルヲ得サル事
契約ヲ取消スカ爲メニ情ヲ知ラサル第三者ノ既得利益ヲ損傷スヘカラス故ニ甲者乙者ヲ欺キテ物品ヲ買取り之ヲ丙者ヘ賣却スルハ乙者其契約ヲ取消シテ物品ヲ丙者ヨリ取戻スヲ得ス
詐欺ノ契約ヲ以テ物品ヲ他人ヨリ得タル者身代限ヲナストキ賣主ハ買主ノ管財人ニ對シ該物品ヲ取戻スヲ得ヘシ又詐欺ノ契約ヲ以テ物

詐

品ヲ得タル者處刑セラルハ其所有主ハ契約品ヲ取戻スヲ得ヘシ但シ取戻權ハ處刑宣告ノ時ヨリ生スルヲ以テ若シ處刑宣告前ニ在テ其物品、不知情第三者ノ手ニ渡ルトキハ之レカ取戻ヲナスヲ得ス
第三者詐欺ノ事情ヲ知テ詐欺者ヨリ物品ヲ得タルハ被欺者ハ第三者ヘ對シ其取戻ヲ請求スルヲ得

○請合

請合^{ウチレンチ}ノ事ハ詐欺ノ部類ニ屬セスト雖モ其相關係スルコト亦タ少ナカラス困テ之ヲ此ニ論スヘシ

欺

物品ヲ賣買スルニ當リ請合ヲ爲シタルトキハ詐欺ノ有無ニ拘ハラズ損害ヲ受ケタル者ハ其償却ヲ請求スルヲ得ヘシ但シ請合ノ効果ハ其事柄ト賣買ノ性質トニ依テ異ルヲ以テ今左ニ之ヲ詳説スヘシ

○確定賣買ノ請合

詐

確定物品ノ賣買ニ於テハ殊ニ請合ヲナスニアラサレハ其推測ヲナサ
ス故ニ確定物ノ賣買ニ於テハカピアツトエンプロア(自己ノ權理ト云
ニ注意セヨ)ヘル確言ニ依リ賣主ノ物品ニ就キ陳述セシコトニシテ其事實ト相違
スルモ買主ニ於テ損害要償ノ權ナキモノトス但シ賣主ニ詐欺ノ所業
アルトキハ此限ニアラス

欺

買主ニ於テ賣主ノ其賣品ニ關シテ自ラ所有權ヲ有スルノ請合ヲ爲シ
タル者ナルヤ否ヤヲ認定スルハ商賣ノ慣習ヲ以テ之ヲ決スヘシ又慣
習ナキ時ハ賣買ノ性質ヲ以テ之ヲ決スヘシ即チ菓子店ニテ菓子ヲ賣
リ瀬戸物店ニテ瀬戸物ヲ賣ルトキハ買主ニ於テ其賣主ノ賣品ニ關シ
自カラ所有權ヲ有スルノ請合ヲ爲シタルモノト見做スナリ故ニ若シ
賣主所有權ナキ物品ヲ賣リ買主之レカ爲メニ損害ヲ蒙ムルトキハタ
トヒ賣主ニ惡意ナシト雖モ買主ハ損害要償ノ訴ヲ起スヲ得ヘシ之ニ

詐

欺

反シテ質屋ニ於テ物品ヲ賣却スルトキハ質屋ハ其物品買入トナリ期
限經過シテ流質トナリタルコトヲ請合フタルマテニテ買取主若シク
ハ質置主ニ所有權アルコトヲ請合ハサルモノトス

確定物ノ賣買ニ於テハ賣主其物品ノ品位ヲ請合ヒシモノト見做サス
例へハ馬ヲ賣ルモ賣主ハ其馬ノ健全無病ナルコトヲ請合ヒシモノト
見做サ、ルカ如シ

牛肉店其他食物ヲ販賣スル店ニ於テ牛肉其他飲食品ヲ販賣スルトキ
ハ其店ニ於テ其物品ハ人間ノ飲食シ得ヘキモノタルゴトヲ請合フタ
ルモノトス然レモ平常飲食物ヲ販賣セサル店ニ於テ牛肉其他ノ飲食
物ヲ販賣スルハ其店ニ於テ其物品ノ食スルニ堪エヘキモノタルコ
トヲ請合ヒシモノニ非ス

確定物ヲ請合フテ賣買シ而シテ其請合不實ナルトキハ被害者其契約ヲ

(六五一)

詐

取消スヲ得ズト雖モ之レカ損害要償ヲナスヲ得ヘシ但シ其請合ニ詐欺アルトキハ通常ノ詐欺ト等シク被欺者其契約ヲ取消スノ權アリ先方ノ請合ヲタル事不實ナルハ此方ニ於テ該契約取消ノ契約ヲナスヲ得ヘシ此場合ニハ詐欺ノ有無ニ拘ハラズ先方請合ノ相違シタルハ此方ニ於テ直ニ該契約ヲ取消スヲ得ヘシ

○不確定賣品ノ請合

種類品位等ヲ詳記シテ不確定物ヲ賣買シ而シテ賣主其種類品位ト異ナル物品ヲ引渡ストキハ買主之ヲ拒絕スルヲ得ヘシ故ニ賣品ヲ記載シテ見本ノ通りトシ或ハ品位ハ何々トシテ賣買シタルトキ其物品確定物ナレハ買主之ヲ受取リタル上別ニ損害要償ヲナスヘク又不確定物ナレハ買主物品ヲ受取ラスシテ之ヲ差戻スコトヲ得ヘシ

第三款 脅迫並ニ威迫

脅 迫 並 ニ 威 迫

(七五一)

對手ノ暴行若シクハ脅嚇ノ爲メニ契約ヲ承諾シタル者ハ其契約ヲ取消スコトヲ得

脅迫ニハ現在暴行ニ遭フコトアリ又將ニ暴ヲ受ケントスルコトアリ孰レノ場合ト雖モ契約ノ可得消効トナル所以ハ暴行ヲ未來ニ受クルノ恐アルヲ以テナリ故ニ現在暴行ヲ受クルト雖直ニ之ヲ免レ其後暴行ニ遭フノ恐ナキハ於テ契約ヲ承諾シタルハ之ヲ脅迫ニ依テ結約シタルモノト見做サス

妄リニ監禁スルハ脅迫ナリ然レモ法律所許ノ監禁即チ拘留禁錮等ノ如キハ脅迫ニアラス故ニ之ヲ以テ契約取消ノ原因ト爲スヲ得ス

契約取消ノ原因トナルヘキ脅迫ハ身體ノ安全ヲ妨害セントスルモノニ限ルヘシ故ニ家屋ヲ毀燒スルコト財産ヲ強奪スルコト等ハ取消ノ原因トナラス何ントナレハ一旦毀燒セラレ強奪セラル、モ後日同價

脅迫ニ並威迫

ノ財産若シクハ金圓ヲ回復スルヲ得レハナリ
常人ヲ畏懼スルニ足ラサル脅迫ハ取消ノ原因ト爲スヲ得ス但シ如何
ナル度ヲ以テ取消ノ原由トスルニ足ルヤハ被害者其人ニ因テ斟酌ス
ヘキモノトス

財産ニ對スル脅迫ハ契約取消ノ原因ト爲スヘカラス然レモ他人故ナ
ク我財産ヲ奪取シタルトキ之ヲ取戻サンカタメニ與ヘタル金錢ハ之
ヲ取戻スコトヲ得ヘシ又法律ニヨリ差押ヘラレタル財産ヲ取戻サン
カタメニ拂フタル金圓ハ有効ノ仕拂トス故ニ之ヲ取戻スコトヲ得ス

○第三者ノ脅迫

脅迫ヲ以テ契約取消ノ原因トスル場合ハ對手自ラ脅迫シ若シクハ人
ヲシテ脅迫セシメタルトキ限ルヘシ故ニ第三者ノ脅迫ハ取消ノ原因
ト爲スヲ得ス

脅迫ニ並威迫

第三者ニ對スル脅迫ハ取消ノ原因ト爲スヲ得スタトヘハ債主ニ於テ
負債主ノ返金ヲ怠リタルヲ恐リ妄ニ負債主ヲ監禁シタルトキ保證人
負債主ノ解放ヲ得ンカタメニ債主ヘ對シ金圓ヲ拂フヘキ契約ヲナシ
タルトキ如シ但シ父若シクハ妻ニ對シタル脅迫ハ取消ノ原因タルヲ
得ヘシ

本人ヘ對スル脅迫ヲ除却センタメ代理人ノ爲シタル契約ハ之ヲ取消
スコトヲ得ヘシ

○脅迫ノ効果

脅迫ニ因ツテ結ヒタル契約ハ無効ニアラスシテ可得消効ナリ故ニ被
害者其契約ニ從ツテ行爲ヲ變シタルトキ其後ニ至リ之レカ取消ヲナ
スヲ得ス

○威迫

アンチユーインフリュエンス

脅迫ニ威迫

實際脅迫セシヤ否ヤヲ問ハス唯タ契約人双方間ノ關係ニヨリ脅迫ヲ
 ナシタリト推測スルコトアリ之ヲ稱シテ威迫ト云フ威迫者ハ其契約
 ナ有効トスルヲ得ス但シ威迫者其契約ノ脅迫ニ依ラスシテ至公至正
 ナルコトヲ證明シ以テ其推測ヲ破ルルハ其契約ヲ有効トス將來相續
 又ハ其他ノ方法ニヨリ財産ヲ所有スヘキ者ト其未來財産ヲ買取リシ
 者トノ間ニハ威迫アリト推測ス設令ヘハ父ノ死亡スルトキ其財産ヲ
 繼承スヘキ相續アリテ其未タ財産ヲ繼承セサル前ニ之ヲ賣却シ若シ
 グハ之ヲ抵當トシテ金圓ヲ借受ケタルハ買主又ハ貸主ニ於テ其相
 續人ヲ威迫シタル者ト推測ス反歸財産レレレ定期内他人へ所有權ヲ及殘餘
 財産ダ滿期ノ時現所有主ヨリ我ニ移シタル前所有主ノ權ヲ及殘餘
 移リ來ルヘキ未來ノ財産ニヲ典賣スルモ亦ダ同シ
 近年マテハ反歸財産ヲ賣却シ若シクハ抵當トシ其代價市價ヨリモ卑
 シキトキハ契約人ノ年齢性質及當時事情ノ如何ニ關ハラス其契約ヲ

脅迫ニ威迫

可得消効トナセリ然レモビクトリア第三十一年第四章ノ布告ヲ以テ
 代價卑賤ノ一事ニ由テ契約ヲ可得消効トナスヲ得スト改正セリ
 信用ノ地位ヲ占ムル者ニ對シテハ威迫ノ推測アリ英國ニ信託財産ツラストナ
 ルモノアリ則チ甲者財産ヲ乙者ニ與フルニ際シ之ヲ丙者ノ名義トナ
 シ乙者ヲシテ財産ノ利益ヲ專有セシムルコトアリ此場合ニ於テ丙者
 乙者ヨリ其財産ヲ買取スルトキハ威迫アリト推測ス故ニ丙者其賣買
 ナ有効ナラシメントスルニハ其取引ニ付キ脅迫セシコトナク實ニ至
 公至正ノ手續ヲ以テセシコトヲ證明セサルヘカラス
 會社ノ頭取又ハ發起人ハ會社ヘ對シテ信用ノ位地ヲ占ムルモノナリ
 故ニ發起人會社ヲ設立シタル後自ラ廉價ニ買受ケタル財産ヲ高價ニ
 會社ヘ賣却スルトキ若シクハ頭取一己ノ資格ヲ以テ會社ト契約ヲナ
 シ利益ヲ得ルトキ其取引ハ可得消効タルヘシ

父若シクハ父ノ位地ニアル者ハ其子若シクハ其子ノ位地ニアル者ニ對シ信用ノ位地ヲ占ムルモノナリ故ニ幼年ノ婦女其繼父ヨリ金圓ヲ借り抵當ヲ差入レタル并ハ之ヲ威迫サレタルモノト推測ス

第貳編 契約人

第壹章 總論

○契約人ノ員數

一ノ契約ニ二人以上數千人若シクハ數万人ノ人員アルコトアルヘシ然レモ對手ハ双方ヨリ少ナカルヘカラス亦多カルヘカラス例ヘハ甲乙丙ノ三人連帶ニテ丁戌ノ兩人ヨリ金千圓ヲ借受クルコトアリ此時契約人ハ五人ナレモ對手ハ甲乙丙ト丁戌トノ雙方ナリ發行人ノ自身ヘ仕拂フヘキ約束手形ハ對手一方ナルカ故ニ無効ナリ一人ノ者自己ト他人トヘ對シ共帶(以下ニ)ノ契約ヲナシタルトキモ亦同シ

○共帶契約ジョイントコントラクト

爲約者即チ義務者ハ一人以上共ニ契約ヲナシテ義務ヲ共擔スルコト

論 總 人 約 契

アリ又受約者即チ權利者ハ一人以上共ニ契約ヲ受ケテ權利ヲ共有スルコトアリ是等ノ契約ヲ稱シテ共帶契約ト云フ今其效果ヲ二項ニ分ツテ之ヲ説クヘシ

第一 爲約者即チ義務者ノ共帶ナル場合

第二 受約者即チ權利者ノ共帶ナル場合

○爲約者共帶ナル場合

共帶義務者ヲ相手取り出訴スルニハ出訴スヘキ裁判所ノ管轄内ニ現住スル義務者ヲ共ニ被告トセサルヘカラス故ニ權利者出訴スヘキ管轄内ニ現住スル共帶義務者ヲ措テ唯タ其共帶義務者ノ一人ヲ被告トスル片ハ該被告ニ於テ己レ一人履行スヘキノ義務ヲキ丁テ陳述シ以テ原告ノ請求ヲ拒ムヲ得ヘシ然レモ若シ其旨ヲ答辨セス直ニ進ンテ契約ノ有無若シクハ其効力等ニ關スル答辨ヲ爲ス片ハ更ニ翻テ其旨

論 總 人 約 契

ヲ申立テ以テ原告ノ請求ヲ拒ムヲ得ス故ニ共帶義務者ナル甲乙兩人ノ内甲者ノミ訴ヘラレタル片甲者先ツ其契約ノ某理由アリテ無効タルヘキコトヲ述フル片ハ他日其有効ナルコトヲ發見スト雖モ本來其契約ハ乙者ト共帶ナルヲ以テ乙者ト共ニ訴ヘラル、ニアラサレハ原告ノ請求ニ應シ難シト抗辨スルヲ得ス

權利者共帶義務者ノ中一人以上全員未滿ノ者ヲ被告トシテ訴ヘ出テタルトキモ被告ハ他人ト共帶ナル旨答辨スルヲ得然レモ若シ其旨ヲ答辨セサルトキハ被告ノミニテ全員ノ義務ヲ履行セサルヘカラス共帶義務者ノ中ニテ或ハ死込シ或ハ管轄外ニ居住シ或ハ既ニ身代限ヲナシ以テ一切ノ負債ヲ免レ若シクハ訴訟期限ヲ經過シタル者アルトキハ權利者其人ヲ除キ殘員ヲ被告トシテ出訴スヘシ此場合ニ於テ被告ハ他ニ共帶義務者ノ有ルコトヲ以テ口實ト爲スヲ得ス

論 總 人 約 契

共帶義務者ニ對スル原告即チ權利者ノ勝訴トナリタルトキハ被告ノ中一人へ係リ其負債ノ全額ヲ取立ツルコトヲ得ヘシ故ニ共帶義務者ハ到底各自ニ負債ノ全額ヲ負擔セサルヲ得サルナリ

カウンチー、コード、アクトト稱スル布告ハ權利者共帶義務者中ノ一人若シクハ一人以上へ係リ出訴シ其人ニ對シテ裁判執行ヲ求ムルコトヲ得ヘキ改正ヲ爲セリ

共帶義務者中死亾者アルハ生存義務者ニ於テ其負債ノ全額ヲ引キ受ケ死亾者ノ相續人及管財人ハ共ニ其共帶義務ヲ免ルモノトス故ニ共帶義務者漸々死亾スルトキハ最終ノ一人或ハ其相續人若シクハ管財人一人ニテ該負債ノ全額ヲ負擔セサルヘカラス

○受約者共帶ナル場合

受約者即チ權利者共帶ナルトキハ相共ニ原告トナリテ出訴セサルヘ

カラス若シ一人タリトモ欠クルコトアレハ被告ニ於テ其請求ヲ拒ムヲ得ヘシ

共帶權利者中死亾スル者アルトキハ生存權利者ニ於テ其全額ヲ得ヘシ故ニ共帶權利者次第ニ死亾シ唯一人ノミ生存スルトキハ其者一人ニテ全額ヲ得ヘシ又其者死亾スルハ其管財人全額ヲ繼承スヘシ故ニ管財人ノ原告トナリテ出訴スルヲ得ルハ最終ニ死亾シタル權利者ノ管財人ニ限ルヘシ先キニ死亾シタル共帶權利者ノ管財人ハ生存權利者ト共ニ原告トナルヲ得ス此ノ如ク習慣法ニテハ先ニ死亾シタル權利者全ク契約上ノ權利ヲ失却スト雖モ衡平法ハ之ニ反シ生存權利者ヲシテ被告ヨリ得タル利益ヲ先死權利者ノ管財人ニ分タシム

○連帶契約

數人ノ義務者同一ノ義務ヲ共擔スルコトアリ亦之ヲ別擔スルコトアリ

論 總 人 約 契

論 總 人 約 契

リ之ヲ稱シテ連帶義務ト云フ連帶義務者ニ對スル權利者ハ其義務者ノ全員ヲ共訴シテ其義務ヲ盡サシムルモ亦或ハ其幾人ヲ出訴シテ其義務ヲ盡サシムルモ自由タルヘシ故ニ甲乙丙ノ三人連帶ニテ契約ヲナス片權利者ハ三人ヲ共訴シ或ハ一人若シクハ二人ヲ出訴シテ全キ義務ヲ盡サシムルヲ得ヘシ

右ノ如ク義務者ハ連帶ナルヲ得ヘシト雖權利者ハ連帶ナルヲ得ス然レモ判官ロルフ氏ハケイトレイ對ワトソンノ判決ニ於テ此規則ノ不當ヲ論シテ曰ク共帶權利者ハ同一ノ事ニ付キ義務者ト各別ニ契約ヲ結ヒ各別ニ權利ヲ得ルモ妨ナシ然レハ則チ一ノ契約ヲ以テ各別ニ權利ヲ得ヘカラサルノ理由ナシト

○解釋ノ規則

義務者數人アル場合ニ於テ其義務ノ共帶ナリヤ連帶ナリヤ將々各別

論 總 人 約 契

ナリヤハ契約ノ事項ニヨリテ判定スヘシ但シ連帶若シクハ各別ノ契約タルコトヲ掲ケサルトキハ共帶ナリト推測ス

數人ニノ同一契約ノ權利者トナル時其權利ノ共帶ナリヤ各別ナリヤハ權利者ノ其契約ニ關シ利益ヲ共ニスルヤ否ヤニ因テ決スヘシ故ニ權利者其契約ニ關シ利益ヲ共ニスル片ハ共帶ニシテ利益ヲ別ニスル片ハ各別ナリ但シ契約ノ文言明瞭ナル片ハ其文言ニ依テ決定シ此解釋規則ヲ用ヒス今此規則ニ依ルニ一ノ財産ヲ數人ニ讓與スル契約ヲナス片ハ權利者ハ共帶ニシテ數箇ノ財産ヲ數人ニ讓與スル契約ヲナス片ハ則チ各別ナリトス又組合商業人數名ト結ヒタル契約ハ共帶ナリトス然レモ組合商業ノ株ヲ賣買シ賣主ノ出金額ヲ拂フヘキ契約ヲナストキハ共帶ニアラスシテ各別ナリトス

○共帶契約人及各別契約人相互ノ關係

論 總 人 約 契

共帶權利者及各別權利者ト共帶義務者及各別義務者トノ相互關係ハ別ニ契約ヲ以テ之ヲ定ムルヲ得ヘシ例ヘハ數人共同ノ事業ヲ起サンカ爲メ人ヲ雇入レ若シクハ物品ヲ買取リタルトキ其契約ハ共帶ニシテ生存者ノミ權利及ヒ義務ヲ得ルト雖モ亦タ別ニ契約ヲ結ヒ先死權利者ノ管財人ヲシテ權利ヲ分有シ義務ヲ分擔セシムルヲ得ルカ如シ又連帶義務者一人ニテ仕拂ヲナシタルモ契約ニ定タル割合ニ從ヒ之ヲ他ノ義務者ニ分擔セシムルヲ得ヘシ

負債主ノ保證人若クハ受人ハ債主ヘ對シ負債主ト連帶ノ義務ヲ負フ者トス故ニ債主ハ兩人ヲ共訴スルヲ得ヘク亦其一人ノミヲ訴フルヲ得ヘシ然レモ保證人先ツ訴ヘラレテ義務ヲ盡シタルモ其償却ヲ負債主ヨリ受ルヲ得ヘシ故ニ數名ノ保證人中一人ニテ義務ヲ盡スルハ各自負擔スヘキ義務ノ多少ニヨリ他ノ保證人ヨリ其償却ヲ受ルヲ得

ヘシ

論 總 人 約 契

負債主ノ義務ヲ盡シタル保證人及受人ハ負債主ヘ對シ其權利者ノ有スル諸權利ヲ繼承スルヲ得ヘシビクトリア第十九年及第二十年第十九章第五款ニ曰ク他人ノ負債若シクハ義務ヲ保證シ而シテ其負債ヲ仕拂ヒ若クハ其義務ヲ盡シタル者ハ其負債又ハ義務ニ關シ債主ノ有スル抵當權ヲ受領スルヲ得又之ニ由テ生スル損害ハ其償却ヲ負債主又ハ他ノ保證人ヨリ受クルヲ得ヘシト故ニ此布告ニ依テ賣品代價仕拂ノ保證人トナリタル者買主ニ代リテ其仕拂ヲナシタルモ賣主ノ有スル賣品差押權ヲ繼承スルヲ得

右ノ如ク保證人ハ債主ノ負債主ニ對スル權利ヲ繼承スルノ權アルヲ以テ債主故ナク其抵當權或ハ其他ノ權利ヲ失フタルトキハ保證人ニ於テ其抵當權或ハ其他權利ノ價直高ニ關シ辨償ノ義務ヲ免カルモノ

トス

第貳章 契約人ノ能力

第壹款 政治上ノ不能力

○外國人

往古ヨリ外國人ハ内國人ト等シク契約ヲ取結フコトヲ得亦タ携帶財産ヲ處有スルコトヲ得タリト雖モ眞正財産ニ至テハ其所有權ヲ有スルヲ得サリキ然ルニ一千八百七十年ノ歸化令(ヒクトリア第三十三年第十四章第貳款)ヲ以テ内國人ト同シク眞正財産ヲ所有スルノ權ヲ以テ之ヲ外國人ニ與ヘタリ

戰爭中敵國ノ人民ト取結ヒタル契約ハスヘテ無効ナリトス又タ開戦前ニ取結ヒタル契約ハ有効ナリト雖トモ戰爭中ハ之レヲ出訴スルヲ

力能不ノ上治政

得ス

○外國ノ帝王及政府

外國ノ帝王及政府ハ内國人ト契約シ内國人ヲ被告トシテ内國ノ法庭ニ出訴スルヲ得ヘシ然レモ内國人ハ外國政府若シクハ帝王ヲ被告トシテ法庭ヘ出訴スルヲ得ス但シ其帝王若シクハ政府ニ於テ之ヲ許諾スルハ此限ニアラス

○外國公使

外國公使ト契約シタル者ハ其公使ノ許諾ヲ經スシテ内國法庭ヘ出訴スルヲ得ス然レモ公使許諾シテ出庭シタル時ハ既ニ治外法權ヲ放棄シタルモノナルヲ以テ該公使ハ其訴訟ニ關シ始終内國法庭ノ命令ヲ遵奉セサル可カラス但シ裁判執行ニ至テハ之ヲ拒ムノ權アリ公使ノ書記家族等モ亦同シ

力能不ノ上治政

○犯罪人

習慣法ニ依ルニ重罪輕罪ヲ犯シタル者ノ財産及債主權ハスヘテ官ハ
 沒收スルヲ法トス然ルニビクトリア第三十三年第三十四年ノ布告ニ
 至テ其第二十三章ヲ以テ之ヲ改正セリ即チ該章ニ於テ重罪輕罪ヲ犯
 シタル者ノ財産及訴訟權ヲ官ニ沒收スル事ヲ廢シ之ヲ管財人ニ委託
 シ犯罪者ヲシテ自ラ其所有權及ヒ訴權ヲ使用スルコトヲ得サラシム

第貳款 幼年者

○幼年者契約上ノ責任及其契約ノ追認

幼年者ノ結ヒタル契約ハ必要品ニ關スルモノ、外スヘテ可得消効ニ
 シテ丁年ニ達シタル後之ヲ追認スルニ非サレハ有効トスルヲ得ステ
 ンターデン侯ノ布告ニヨルニ追認ハ文書ヲ以テスルノ外其効ナシ然
 レハ衡平法ニ於テハ幼年者丁年ニ達シタル後契約ニヨリ行爲ヲ變シ

タルトキニ限り成文證ナシト雖モ之ヲ追認シタルモノト見做セリ

○幼年者私犯上ノ責任

幼年者ト雖モ契約外ノ民事非行即チ私犯ニ關シテハ責任アルモノト
 ス但シ私犯ノ訴訟ト雖實際契約ニ起因スルモノハ幼年ノ廉ヲ以テ請
 求ヲ拒ムヲ得ヘシ例ヘハ幼年者借品若シクハ預リ品ヲ毀損シ又ハ紛
 失シタル片之レカ爲メニ其私犯訴訟ヲ受クルト雖モ其實ハ借用契約
 又ハ預リ契約ニ根據スルモノナルカ故ニ幼年者ニ於テ原告ノ請求ヲ
 拒ムコトヲ得ルカ如シ
 幼年者ハ丁年ナリト詐リテ契約ヲナシタル片ト雖幼年ノ廉ヲ以テ請
 求ヲ拒ムヲ得ヘシ

幼年者詐欺取財ヲナシ所有主准契約ニヨリ物品ノ返還ヲ請求シタル
 片ハ幼年ノ廉ヲ以テ其請求ヲ拒ムヲ得ス

(六七一)

幼 年 者

○幼年者ノ所有物ニ附屬スル責任
 附屬シタル義務アル物品ヲ所有スルハ幼年者ト雖モ其義務ヲ盡サ
 ルカラス例ハ幼年者地所ヲ借り受ケ居住スルハ其地代ヲ拂ハ
 サルヘカラスルカ如シ
 又會社ノ株券ヲ所有スル幼年者ハ其株券ニ所屬スル責任ヲ負ハサル
 ヘカラス

○必要品ニ關スル幼年者ノ責任

必要品ニ關スル幼年者ノ契約ハ有効ナリトス例ハ食物衣服教育醫
 藥等ニ關スル契約ノ如シ必要品ハ幼年者ノ生活ニ必要ナルモノ、ミ
 ニ限ラス渾テ其身分位地ニ應シテ必要ナルモノヲ云フ故ニ甲者ニ必
 要ニシテ乙者ニ必要ナラサルモノアリ而シテ其必要ナルト必要ナラ
 サルトノ區別ハ陪審官之ヲ判定ス

准

契

約

(七七一)

如何ナル物品ニシテ如何ナル人ニ必要ナルヤハ事實ノ問題ナルカ故ニ
 一定ノ規則ヲ以テ之ヲ定ムヘカラス故ニ左ニ判決ノ例ヲ掲ケ以テ世
 人ノ參考ニ供ス

婢僕馬車時計等モ主人ノ身分ニヨリテ必要トスルコトアリ

必要品ノ代價仕拂ノ爲メニ振出シタル爲換手形ニ關シ幼年者ハ其責
 ニ任セス

幼年者ノ結ヒタル婚姻ノ契約ハ可得消効ナリト雖モ本來幼年者ノ婚
 姻ハ有効ナルヲ以テ其妻子ノ必要品ハ則チ幼年者ノ必需品トス故ニ
 幼年ノ夫其亡妻ノ埋葬ニ費消シタル物品及幼年者ノ妻其亡夫ノ埋葬
 ニ費消シタル物品ハ共ニ必要ノ品ナリトス

學校ノ受業料及ヒ寄宿料ノ如キモ亦必要品ナリトス然レモ其父幼年
 者ヲ入校セシメタルハ幼年者其責任ヲ負ハサルモノトス